GOSAT Data Archive Service 操作マニュアル

https://data2.gosat.nies.go.jp/

2021 年 08 月

(Version 1.7)

変更履歴

版数	日付	改訂頁	改訂内容
1.1	2016.12.27	1	1.2 GUIGサイトとの並行運用期間中の注意事項を削除 1.2 懸念事項を追加
1.1	2016.12.27	9	3.1 画面の構成 変更 ・画面を実画像に修正
1.1	2016.12.27	12	4.1 GDASトップ画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.1	2016.12.27	164～165	10.6 観測要求の依頼方法（特定ユーザのみ） 変更 ・説明を追記 ・画面を実画像に修正
1.1	2016.12.27	180	表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式 変更 ・FTS estimated geolocation データのユーザ区分を全ユーザ区分に変更
1.2	2017.03.18	表紙	表紙の URL を変更 ・https://data2.gosat.nies.go.jp/に変更
1.2	2017.03.18	11	4.1 GDAS トップ画面を変更 ・https://data2.gosat.nies.go.jp/に変更
1.2	2017.03.18	35	6.4 L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布画面変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	38	6.5 L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	41	6.6 L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	44	6.7 FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	47	6.8 FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	50	6.9 全球 NDVI 画像画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.2	2017.03.18	180	表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式 削除 ・TIR 入力データセットを削除

版数	日付	改訂頁	改訂内容
1.2	2017.03.18	183	表 13.5 プロダクト識別文字列 削除 ・TIR 入力データセットを削除
1.3	2017.06.27	24～71	6 プロダクトの画像を閲覧するための手順　変更 ・ギャラリー画面の表示順変更に伴い、画面を実画像に修正、節の順番を変更
1.3	2017.08.28	57,58	6.13 全球気体濃度分布動画画面 変更 ・動画ファイル形式を mp4 に変更
1.3	2017.08.31	28	6.2 L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布画面 変更 ・月平均値分布の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2017.08.31	31	6.3 L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布画面 変更 ・月平均値分布の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2017.08.31	34	6.4 L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布画面 変更 ・月平均値分布の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2017.08.31	37	6.5 FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 変更 ・全球カラム平均濃度分布の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2017.08.31	40	6.6 FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 変更 ・全球カラム平均濃度分布の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2017.08.31	67	6.16 全球 NDVI 画像画面 変更 ・全球 NDVI 画像の一覧に対する横方向のスクロール追加に伴い、画面を修正
1.3	2018.03.19	9	3.1 画面の構成 変更 ・画面を実画像に修正
1.3	2018.03.19	11	4.1 GDAS トップ画面 変更 ・画面を実画像に修正
1.3	2018.03.19	18	5.3 センサーの技術情報画面 変更 ・画面を実画像に修正

版数	日付	改訂頁	改訂内容
1.4	2018.07.18	178	表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式 変更 ・TIR input dataset を追記
1.4	2018.07.18	180	表 13.5 プロダクト識別文字列 変更 ・TIR input dataset を追記
1.4	2019.02.25	72～79	7.2 一般ユーザ登録を完了するまでの手順 変更 ・画面を日本語版に変更
1.4	2019.02.25	82～86	7.3 特定ユーザ申請が完了するまでの手順 変更 ・画面を日本語版に変更
1.4	2019.03.25	110～111	9.1.2 FTSL1B の場合のパス単位アーカイブファイルの提供方法を追記
1.4	2019.03.25	178	表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式 変更 ・FTSL1B の提供単位にパスを追記
1.5	2020.03.25	8	2.2.2 必要なソフトウェア 変更 ・WGET コマンドのバージョンを追記
1.5	2020.03.25	11～13	4.1 GDAS トップ画面を変更 ・重要事項にアカウント登録画面を追記
1.5	2020.03.25	69～71	6.17 全球輝度ブラウズ画像画面変更 ・画面を実画像に修正
1.5	2020.03.25	87～89	8.1 ログイン 変更 ・画面を実画像に修正
1.5	2020.03.25	90～91	8.2 ログアウト 変更 ・画面を実画像に修正
1.5	2020.03.25	97～159	9 プロダクトをダウンロードするときの手順 変更 ・ドキュメント欄を削除 ・画面を実画像に修正
1.5	2020.03.25	178～179	12.4 ツール画面変更 ・画面を実画像に修正
1.6	2020.08.24	6	2.2.1 推奨ブラウザ ・Internet Explorer 11 に OS Windows10 以上推奨と追記
1.6	2021.03.23	28～29	6.2 L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	31～32	6.3 L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布画面 ・画面を実画像に修正

版数	日付	改訂頁	改訂内容
1.6	2021.03.23	34～35	6.4 L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	37～38	6.5 FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	40～41	6.6 FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	68	6.16 全球 NDVI 画像画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	160	10.1 Documents & Information 画面 ・画面を実画像に修正
1.6	2021.03.23	163	10.3 データ欠損の観測期間リスト ・画面を実画像に修正
1.7	2021.04.28	178～179	12.4 ツール画面 ・画面を実画像に修正 ・GOSAT FTS SWIR L2 Drawing Tool を追記
1.7	2021.08.25	181	表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式 変更 ・FTS estimated geolocation データを削除 ・L2 H2O カラム量(TIR)を追記
1.7	2021.08.25	183～184	表 13.5 プロダクト識別文字列 変更 ・FTS estimated geolocation データを削除 ・L2 H2O カラム量(TIR)を追記

目次

1　GOSAT Data Archive Service（GDAS）の概要 1
1.1　GDAS の概要 1
1.2　懸念事項 1
1.3　本マニュアルの見方 2
2　GDAS の利用方法 4
2.1　GDAS の利用の流れ 4
2.2　GDAS の利用条件 6
2.2.1　推奨ブラウザ 6
2.2.2　必要なソフトウェア 8
3　画面構成 9
3.1　画面の構成 9
4　GDAS トップ画面を閲覧するための手順 11
4.1　GDAS トップ画面 11
5　GOSAT プロダクトに関する情報を閲覧するための手順 14
5.1　ドキュメント＆技術情報画面 14
5.2　ドキュメント（プロダクト説明書）画面 16
5.3　センサーの技術情報画面 18
5.4　パスカレンダー画面 20
5.5　GOSAT 標準メッシュ点情報画面 22
6　GOSAT プロダクトの画像を閲覧するための手順 24
6.1　ギャラリー画面 24
6.2　L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布画面 27
6.3　L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布画面 30
6.4　L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布画面 33
6.5　FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 36
6.6　FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面 39
6.7　全球気体吸収排出量分布図画面 42
6.8　全球気体吸収排出量分布図一覧画面 44
6.9　気体吸収排出量時系列図画面 47
6.10　全球気体濃度分布図画面 49
6.11　全球気体濃度分布図一覧画面 52
6.12　気体濃度分布時系列図画面 55
6.13　全球気体濃度分布動画画面 57
6.14　CAI L1B+ブラウズ画像画面 59
6.15　「いぶき」が捉えた地球の様子画面 63

6.16 全球 NDVI 画像画面 66
6.17 全球輝度ブラウズ画像画面 69
7 ユーザ登録するときの手順 72
7.1 ユーザ登録の種別 72
7.2 一般ユーザ登録を完了するまでの手順 72
7.3 特定ユーザ申請が完了するまでの手順 82
8 ログイン・ログアウトするときの手順 87
8.1 ログイン 87
8.2 ログアウト 90
8.3 パスワードを再設定するときの手順 92
9 プロダクトをダウンロードするときの手順 97
9.1 Web サイトを使用したダウンロード 97
9.1.1 パス単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 97
9.1.2 日単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 107
9.1.3 月単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 115
9.1.4 年単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 122
9.2 WGET コマンドを使用したダウンロード 128
9.2.1 パス単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 128
9.2.2 日単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 139
9.2.3 月単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 147
9.2.4 年単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード 153
10 GOSAT プロダクトに関する情報を取得するための手順 160
10.1 Documents & Information 画面 160
10.2 ドキュメント（プロダクト説明書） 162
10.3 データ欠損の観測期間リスト 163
10.4 センサーの技術情報 163
10.5 観測運用状況 164
10.6 観測要求の依頼方法（特定ユーザのみ） 164
10.7 L4A プロダクト補助データ（特定ユーザのみ） 166
11 ユーザ情報を変更するときの手順 167
11.1 メールアドレス（ユーザ ID）の変更 167
11.2 パスワードの変更 170
11.3 通知メールの言語変更 173
12 その他の情報を閲覧するための手順 175
12.1 このサイトの利用手引き画面 175
12.2 データ利用ハンドブック画面 176

12.3 お問い合わせ / FAQ 画面 177
12.4 ツール画面 178
13 その他、注意事項 180
13.1 ユーザ区分 180
13.2 提供プロダクト毎の提供形式 180
13.3 ユーザ区分別の SWIR プロダクトの提供 182
13.4 プロダクトのファイル命名規約 183

1 GOSAT Data Archive Service（GDAS）の概要

1.1 GDAS の概要

GDAS は、GOSAT プロダクトを、あるまとまった提供単位にアーカイブし、提供するサービスです。以下に示す機能を提供しています。

GOSAT 情報閲覧機能	：	GOSAT プロダクトに関連するドキュメントや、GOSAT プロダクトに関する問い合わせ先等の情報を閲覧･取得出来ます。
GOSAT 画像閲覧機能	：	GOSAT プロダクトより生成した画像を閲覧出来ます。
プロダクトダウンロード機能	：	GOSAT プロダクトを取得出来ます。
アカウント登録機能	：	GOSAT プロダクトを取得するためのアカウントを登録出来ます。
ユーザ情報変更機能	：	ユーザ情報の更新、パスワードの再設定が出来ます。

本マニュアルでは、GDAS の操作方法を説明します。

1.2 懸念事項

プロダクトをダウンロードするマシン時刻が 5 分以上ずれている場合、プロダクトをダウンロード出来ない可能性があります。マシン時刻を正しい時刻と同期を取って下さい。

1.3 本マニュアルの見方

本マニュアルにおける画面の説明は以下の形式に従います。

まず、画面へ移動するまでの手順を記載し、その次に画面に対する説明を行います。

(1) 画面への移動

画面へ移動するために行う操作の内容を記載

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のメニューで『ドキュメント&技術情報』をクリックすると、 『ドキュメント&技術情報』画面に移動します。

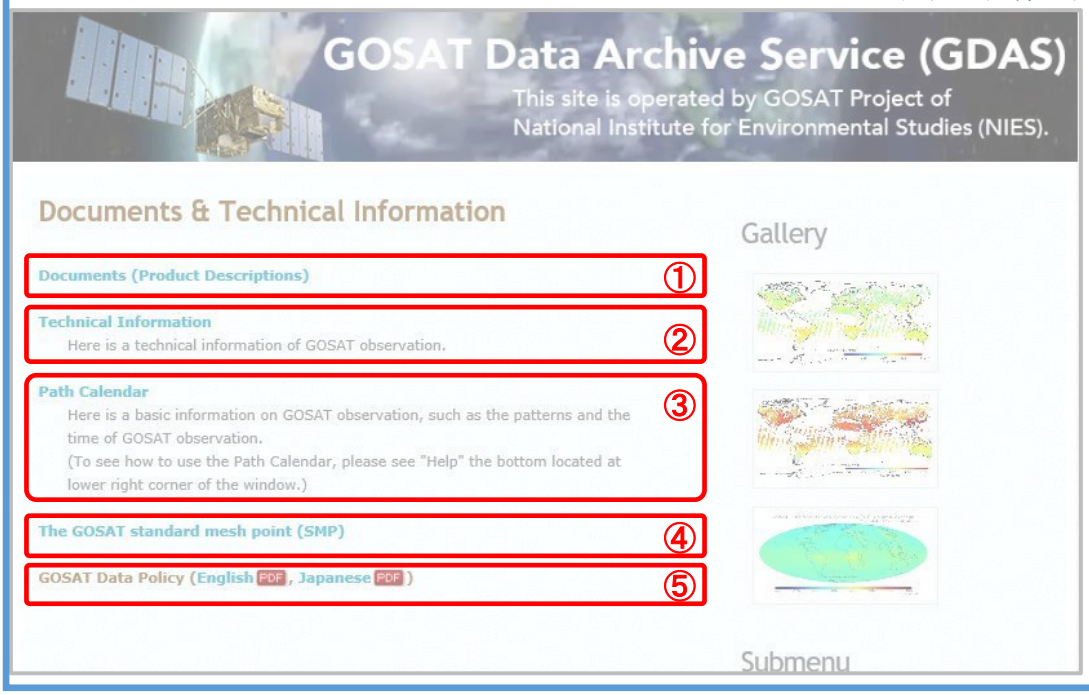
画面へ移動する前の画像を表示

(2) 画面名

画面で行う操作の内容を記載

GOSAT に関連したドキュメントや技術情報が表示されます。また、各ドキュメントへのリンクをクリックすると、ドキュメントの各画面に移動します。

画面の画像を表示



画面に含まれるコンテンツの詳細を記載

①	【Documents (Product Descriptions)】リンク	： プロダクト情報を取得出来る『プロダクト関連情報』画面へのリンクです。
②	【Technical Information】リンク	： センサーの技術情報を取得出来る『センサーの技術情報』画面へのリンクです。
③	【Path Calendar】リンク	： パスカレンダーを取得出来る『パスカレンダー』画面へのリンクです。
④	【The GOSAT standard mesh point (SMP)】リンク	： GOSAT 標準メッシュ点情報を取得出来る『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面へのリンクです。
⑤	GOSAT Data Policy	： GOSAT データポリシー（PDF ファイル）へのリンクです。

必要に応じて、重要事項・補足事項・注意事項を記載

重要事項：大事な内容を記載します。

補足事項：補足する項目を記載します。

注意事項：留意点を記載します。

2　GDAS の利用方法

GDAS を利用するユーザとして、以下の方々を想定しています。

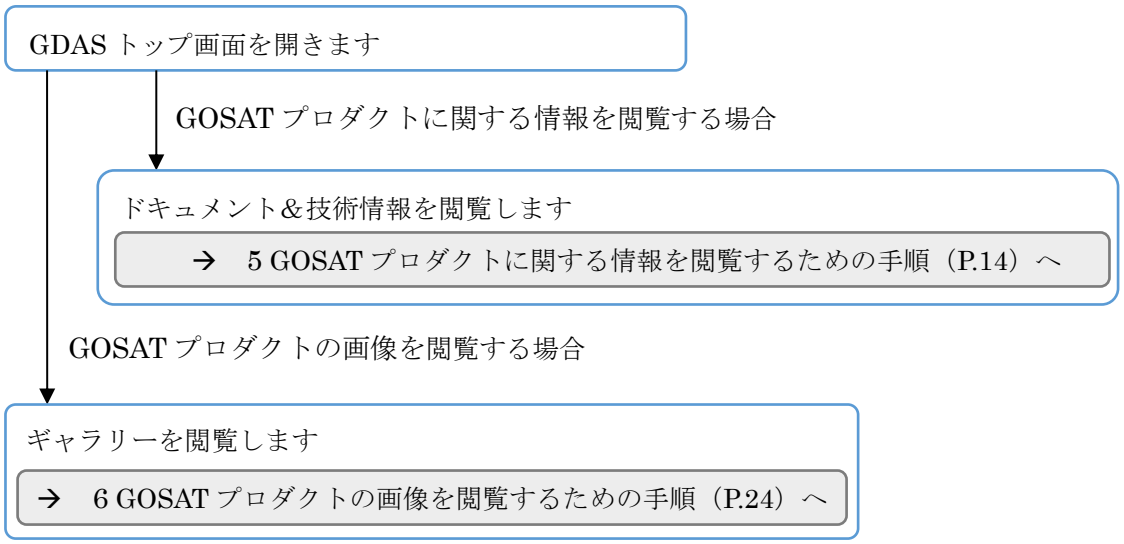
- ログインせずに GOSAT プロダクトの画像や情報を閲覧する方（ゲストユーザ）
- アカウントを取得し、ログイン後に GOSAT プロダクトを取得する方（登録ユーザ）

2.1 GDAS の利用の流れ

各ユーザが GDAS を利用する流れについて、概略の手順を以下に示します。

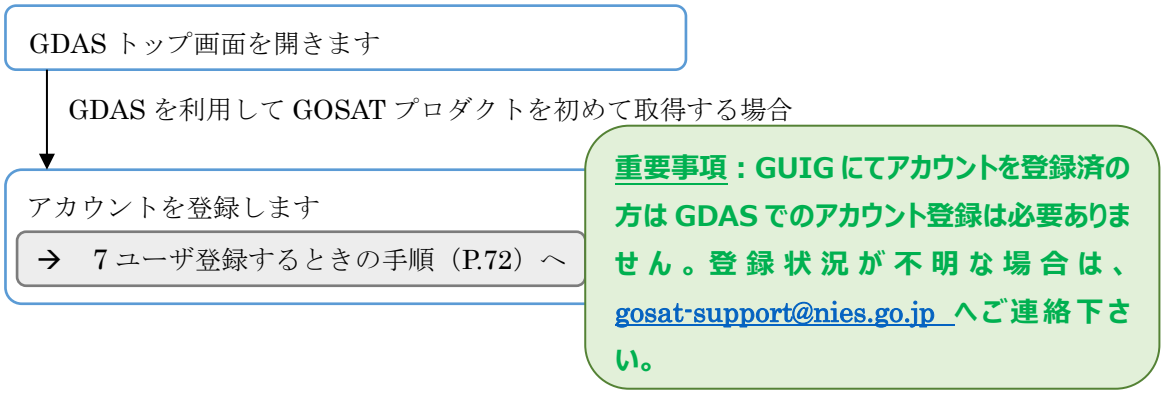
(1) ログインせずに GOSAT プロダクトの画像や情報を閲覧する場合

GOSAT プロダクトの画像や情報を閲覧するために、ゲストユーザが行う手順の概略を以下に示します。



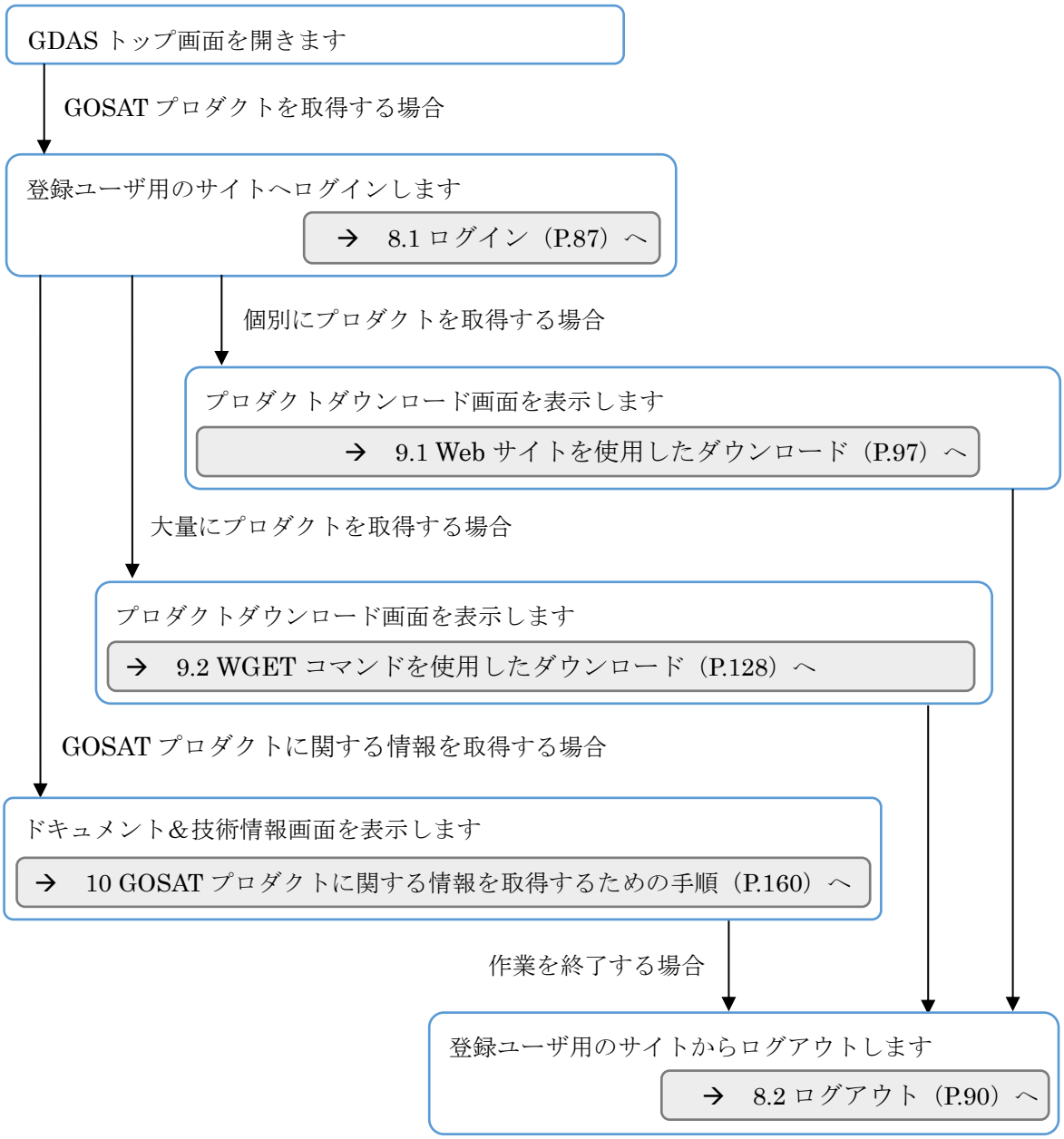
(2) アカウントを登録する場合

GOSAT プロダクトを取得するために、アカウントを登録する手順の概略を以下に示します。



(3) アカウント登録後に GOSAT プロダクトを取得する場合

GOSAT プロダクトを取得するために、登録ユーザが行う手順の概略を以下に示します。



2.2 GDAS の利用条件

GDAS を利用するための条件は以下の通りです。

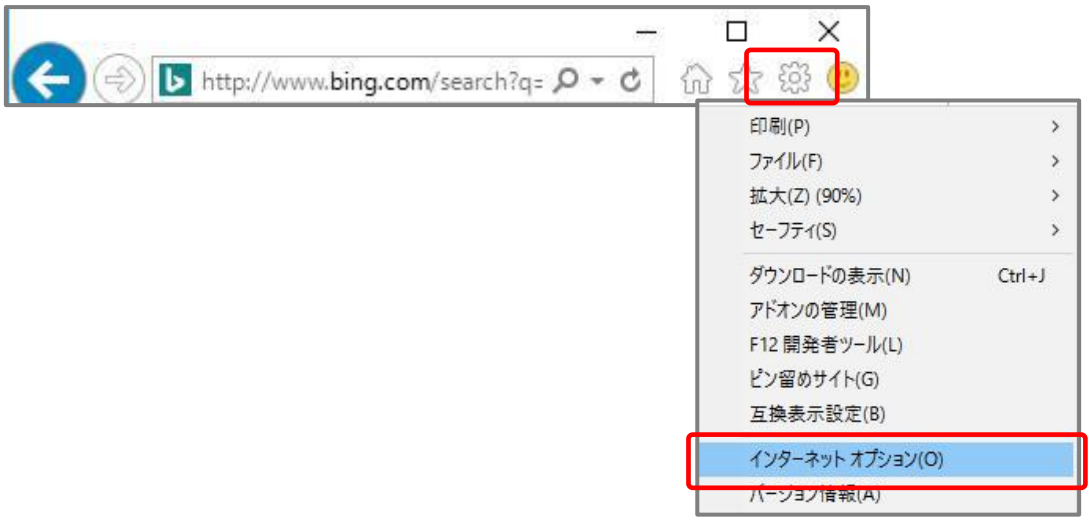
2.2.1 推奨ブラウザ

GDAS を利用するための推奨ブラウザは以下の通りです。

- ✓ Internet Explorer 11（OS Windows10 以上推奨）
- ✓ Mozilla Firefox 49.0
- ✓ Safari 10
- ✓ Chrome 53.0
- ✓ Edge 25

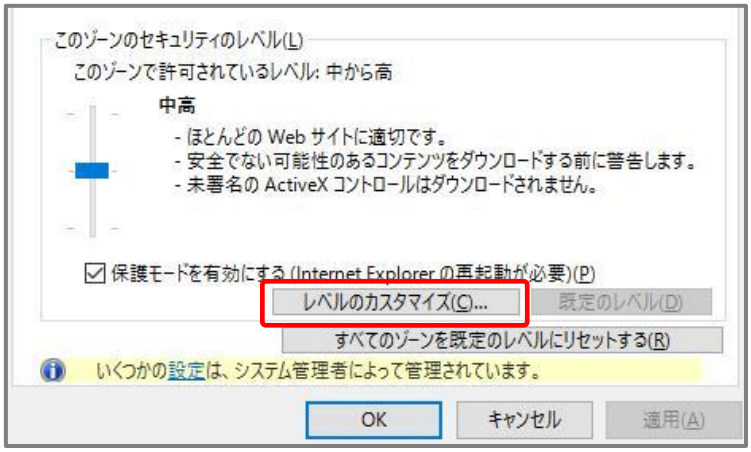
※各ブラウザの設定で、JavaScript を有効にしておく必要があります。
以下に例として、Windows 版 Internet Explorer11 での設定方法を示します。

(1) Web ブラウザのメニューから【ツール】アイコンを右クリックし、【インターネットオプション】をクリックします（『インターネットオプション』画面に移動します。）。

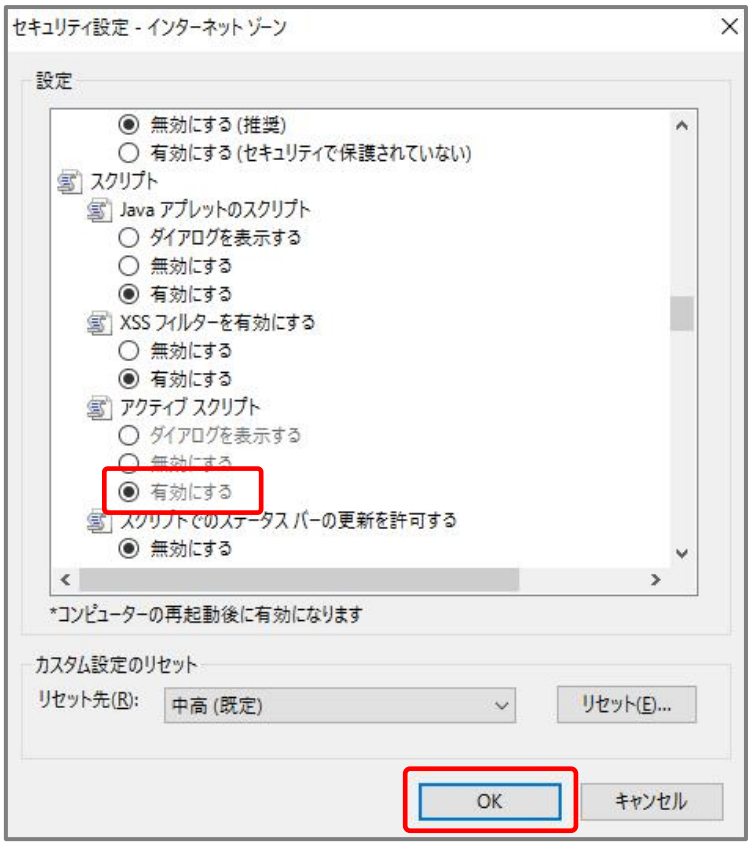


(2) 次に『インターネットオプション』画面で【セキュリティ】タブをクリックします。

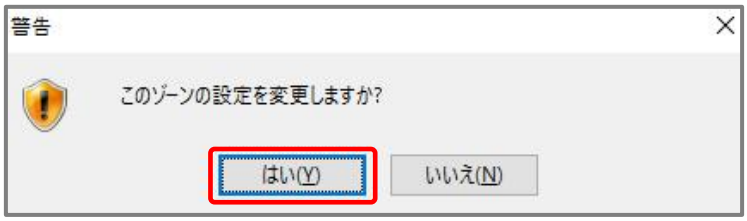
(3) セキュリティタブで【レベルのカスタマイズ】ボタンをクリックします（『セキュリティ設定 - インターネットゾーン』画面に移動します。）。



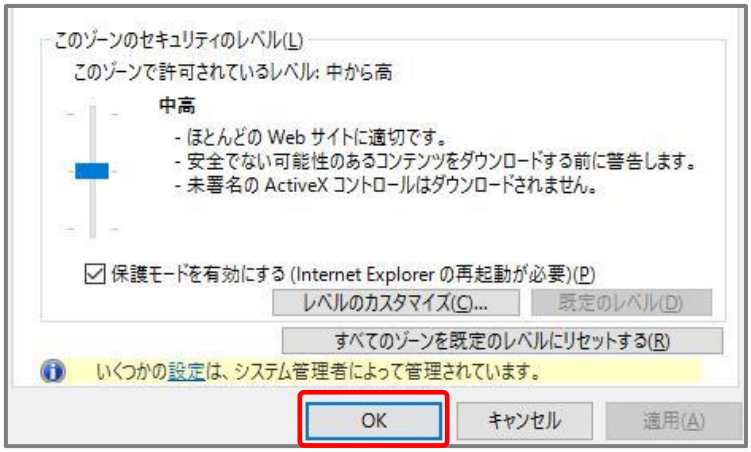
(4) セキュリティ設定 - インターネットゾーンのスクリプトの【アクティブスクリプト】を有効にします。変更後に【OK】ボタンをクリックすると『警告』ポップアップが表示されます。



(5) 『警告』ポップアップ画面の【はい】ボタンをクリックし、ポップアップ画面を閉じます。



(6) 『インターネットオプション』画面で【OK】ボタンをクリックし、『インターネットオプション』画面を閉じます。



(7) Web ブラウザのメニューで【最新の情報に更新】アイコンをクリックし、Web ページを再読み込みします。この作業により Javascript が有効になります。

2.2.2 必要なソフトウェア

GDAS では、プロダクトを tar 形式、tar.gz 形式でアーカイブして提供しています。そのため、tar 形式、tar.gz 形式を展開・解凍するためのツールをご準備下さい。

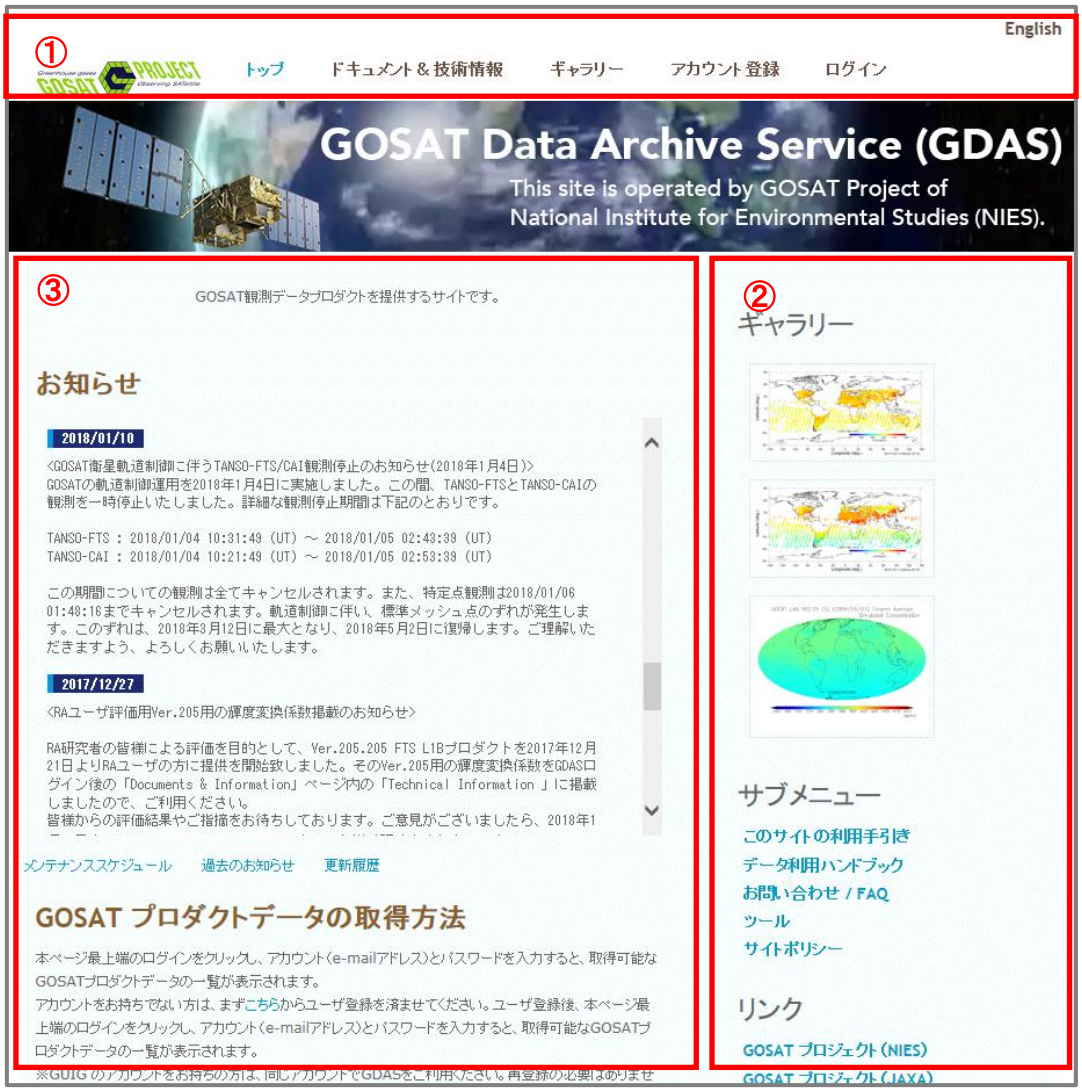
WGET コマンドを使用してプロダクトをダウンロードする場合は、バージョン 1.6.1 以降の WGET を使用して下さい。

プロダクトを確認するためのソフトウェアは、「12.4 ツール画面」を参照して下さい。

3 画面構成

3.1 画面の構成

GDAS で表示される画面は以下のような構成になっています。



① メニュー　：　各画面へのリンク（アカウント登録、ログイン等）を表示するエリアです。ログイン後の画面では、ログイン情報も表示します。

② サイドメニュー　：　GOSAT プロダクトに関する情報（問合せやツール等）や GOSAT に関連する Web 画面へのリンクを表示するエリアです。また、ログイン後のダウンロード画面では、ダウンロード対象プロダクト以外のプロダクトへのリンクを表示します。

③ メイン画面　：　GDAS ユーザ向けの各種の情報を表示するエリアです。

補足事項：ログイン後のドキュメント＆技術情報画面や、ユーザ情報変更画面にはサイドメニューは表示されません。

補足事項：リンクの右側に「PDF」や「Zip」、「Excel」等の表示がある場合は、リンク先が各フォーマット形式で保存したファイルになります。

例）上図②の動作環境をクリックすると、PDF 形式のファイルがダウンロード出来ます。

4 GDAS トップ画面を閲覧するための手順

この章では、GDAS トップ画面を閲覧するための手順を説明します。

4.1 GDAS トップ画面

(1) 『GDAS トップ』画面への移動

ブラウザを立ち上げ 「https://data2.gosat.nies.go.jp/」にアクセスし、 『GDAS トップ』画面を表示します。

(2) 『GDAS トップ』画面

GDAS サイトに関する最新の情報が表示されます。また、各画面へのリンクをクリックすると、GDAS サイト内の各画面に移動します。

①	【ドキュメント＆技術情報】リンク	:	ドキュメントや技術情報等の一覧を表示する『ドキュメント＆技術情報』画面へのリンクです。

②	【ギャラリー】リンク	:	GOSAT プロダクト別のギャラリーの一覧を表示する『ギャラリー』画面へのリンクです。
③	【アカウント登録】リンク	:	アカウントの新規登録を行う『アカウント登録』画面へのリンクです。
④	【ログイン】リンク	:	登録ユーザが GDAS にログインするための『ログイン』画面へのリンクです。
⑤	【English】リンク	:	『トップ』画面を英語表記にするためのリンクです。
⑥	直近のメンテナンス情報	:	直近で実施される予定のメンテナンスに関する情報を表示します。
⑦	GDAS からのお知らせ	:	GDAS からのお知らせを表示します。
⑧	ギャラリー	:	GOSAT プロダクトのギャラリーへのリンクです。
⑨	サブメニュー	:	GDAS を利用するために必要な情報へのリンクです。 ・このサイトの利用手引き ・データ利用ハンドブック ・お問い合わせ／FAQ ・ツール ・サイトポリシー
⑩	リンク	:	GOSAT に関連するプロジェクトや研究機関へのリンクです。

重要事項：トップ画面、アカウント登録画面以外の全ての画面は英語表記となっています。

5 GOSAT プロダクトに関する情報を閲覧するための手順

この章では、GOSAT プロダクトに関する情報を閲覧・取得する手順について説明します。

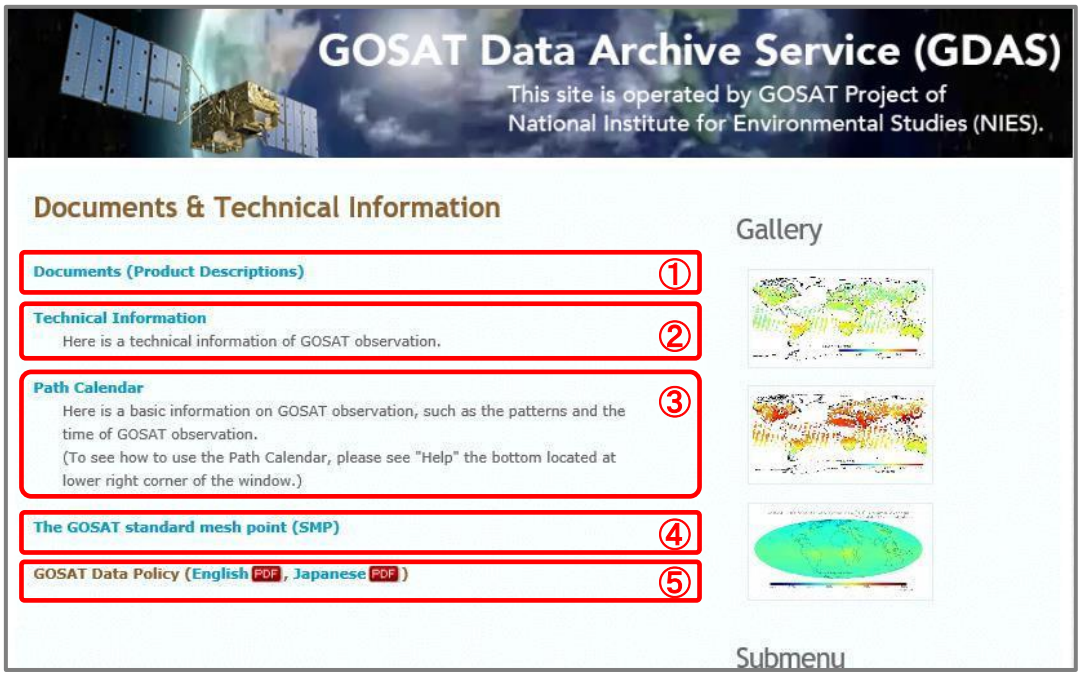
5.1 ドキュメント＆技術情報画面

(1) 『ドキュメント＆技術情報』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のメニューで『ドキュメント＆技術情報』をクリックすると、『ドキュメント＆技術情報』画面に移動します。

(2) 『ドキュメント&技術情報』画面

GOSAT に関連したドキュメントや技術情報が表示されます。また、各ドキュメントへのリンクをクリックすると、ドキュメントの各画面に移動します。

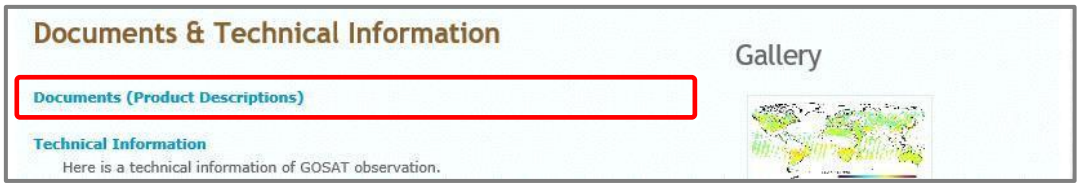


①	【Documents (Product Descriptions)】リンク	：	プロダクト情報を取得出来る『プロダクト関連情報』画面へのリンクです。
②	【Technical Information】リンク	：	センサーの技術情報を取得出来る『センサーの技術情報』画面へのリンクです。
③	【Path Calendar】リンク	：	パスカレンダーを取得出来る『パスカレンダー』画面へのリンクです。
④	【The GOSAT standard mesh point (SMP)】リンク	：	GOSAT 標準メッシュ点情報を取得出来る『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面へのリンクです。
⑤	GOSAT Data Policy	：	GOSAT データポリシー（PDF ファイル）へのリンクです。

5.2 ドキュメント（プロダクト説明書）画面

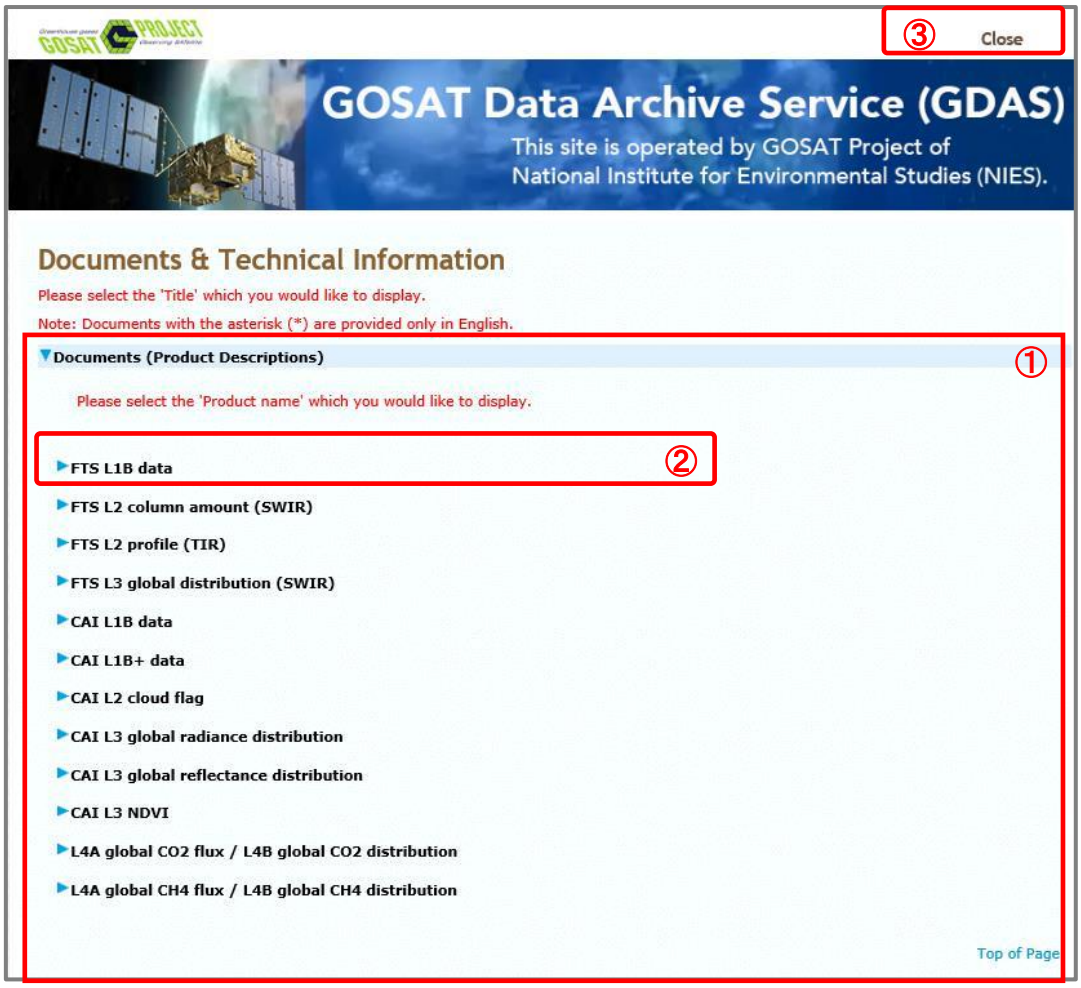
(1) 『ドキュメント（プロダクト説明書)』画面への移動

『ドキュメント&技術情報』画面（5.1 節参照）で【Documents (Product Descriptions)】をクリックすると、『ドキュメント（プロダクト説明書)』画面（新規画面）に移動します。



(2) 『ドキュメント（プロダクト説明書)』画面

GOSAT プロダクトに関する情報（アルゴリズム記述書、プロダクトフォーマット説明書、リリースノート）が表示されます（下図①)。また各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。



① Documents (Product Descriptions) ： ドキュメントが取得出来るプロダクトの一覧を表示します。

② プロダクト名（FTS L1B data 等） ： プロダクト毎のドキュメントの一覧を表示します。

③ 【Close】リンク ： 『ドキュメント（プロダクト説明書）』画面を閉じるためのリンクです。

重要事項：プロダクト名をクリックすると、以下のような表が表示されます。

▼FTS L1B data

*Geolocation Error in FTS L1B and its countermeasure (English PDF)

Important Caveats for FTS Level 1B Product Band 4 (This was corrected at the version-up of V160160.) (English PDF, Japanese PDF)

Version	Obs. Periods (YYYY/MM/DD)	ATBD	Product Format Descriptions	Important Notes at Releasing
V201.202	2016/03/26-present	N/A	*V201.20x (English PDF)	V201.202 (Release Notes for Product) (English PDF, Japanese PDF)
V161.161	2015/02/01-present		V161.160-V161.161 (English PDF, Japanese PDF)	V161.161 (Release Notes for Product) (English PDF, Japanese PDF)
V161.160	2009/04/23-2014/12/14			V161.160 (Release Notes for Product) (English PDF, Japanese PDF)

補足事項：『ドキュメント＆技術情報』の一覧に表示されていた『センサーの技術情報』『パスカレンダー』『GOSAT 標準メッシュ点情報』についてもこの画面から表示出来ます。

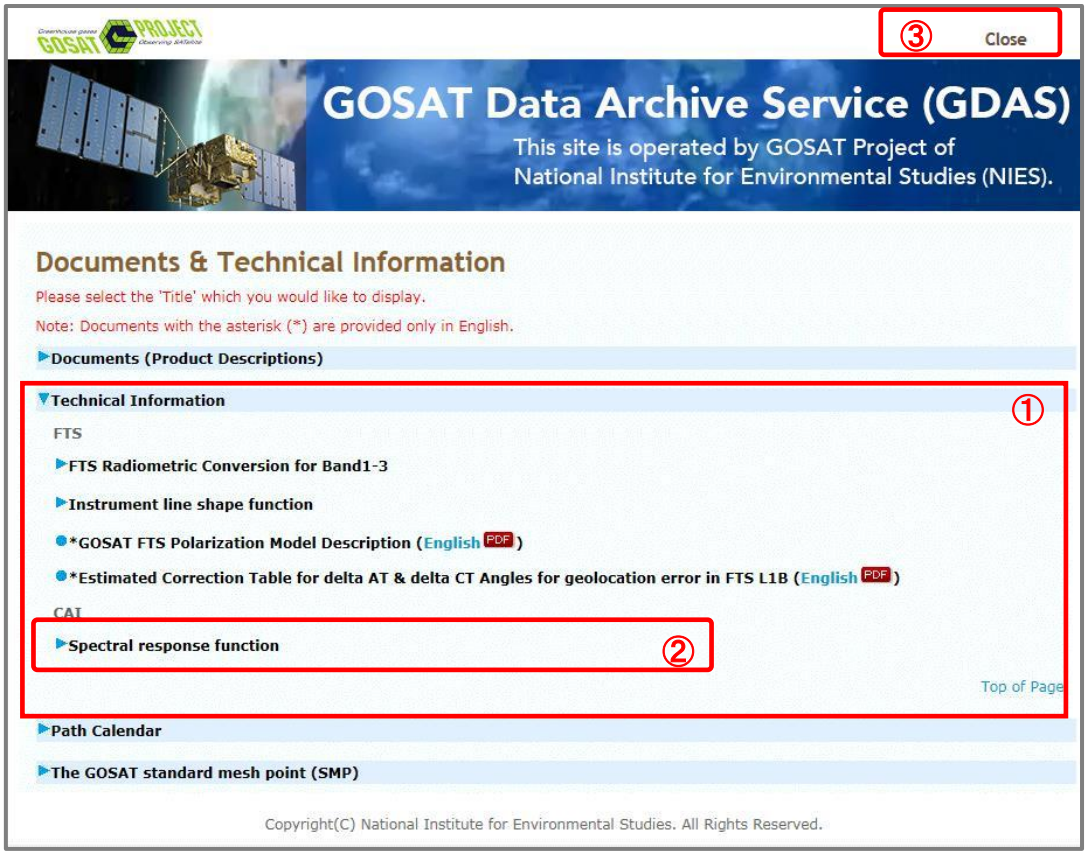
5.3 センサーの技術情報画面

(1) 『センサーの技術情報』画面への移動

『ドキュメント&技術情報』画面（5.1 節参照）で 【Technical Information】をクリックすると、『センサーの技術情報』画面（新規画面）に移動します。

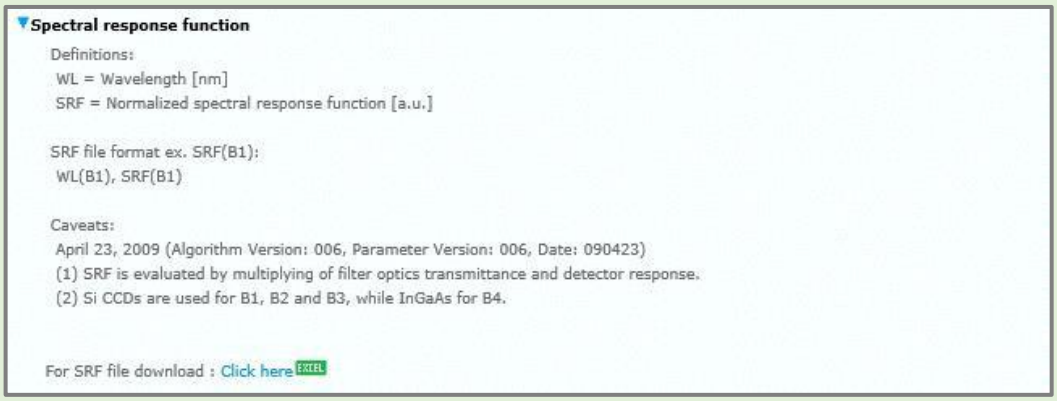
(2) 『センサーの技術情報』画面

GOSAT の FTS センサーや CAI センサーに関する情報が表示されます（下図①）。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。



① Technical Information ： 各センサーの技術情報の一覧を表示します。
② 技術情報 ： センサーの個別の技術情報を表示します。
③ 【Close】リンク ： 『センサーの技術情報』画面を閉じるためのリンクです。

重要事項：技術情報のタイトルをクリックすると、以下のような詳細情報が表示されます。

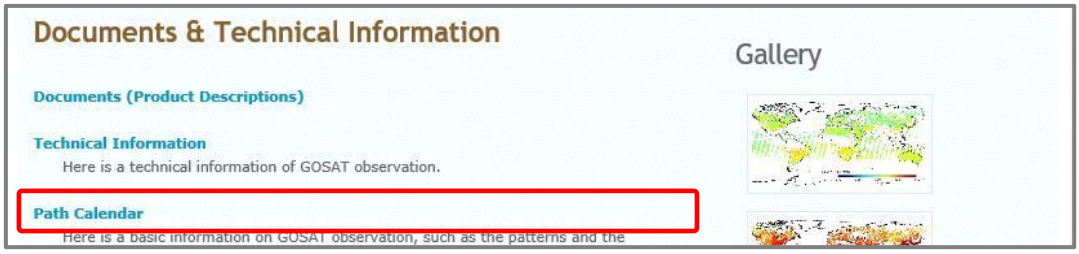


補足事項：『ドキュメント＆技術情報』の一覧に表示されていた『ドキュメント（プロダクト説明書）』『パスカレンダー』『GOSAT 標準メッシュ点情報』についてもこの画面から表示出来ます。

5.4 パスカレンダー画面

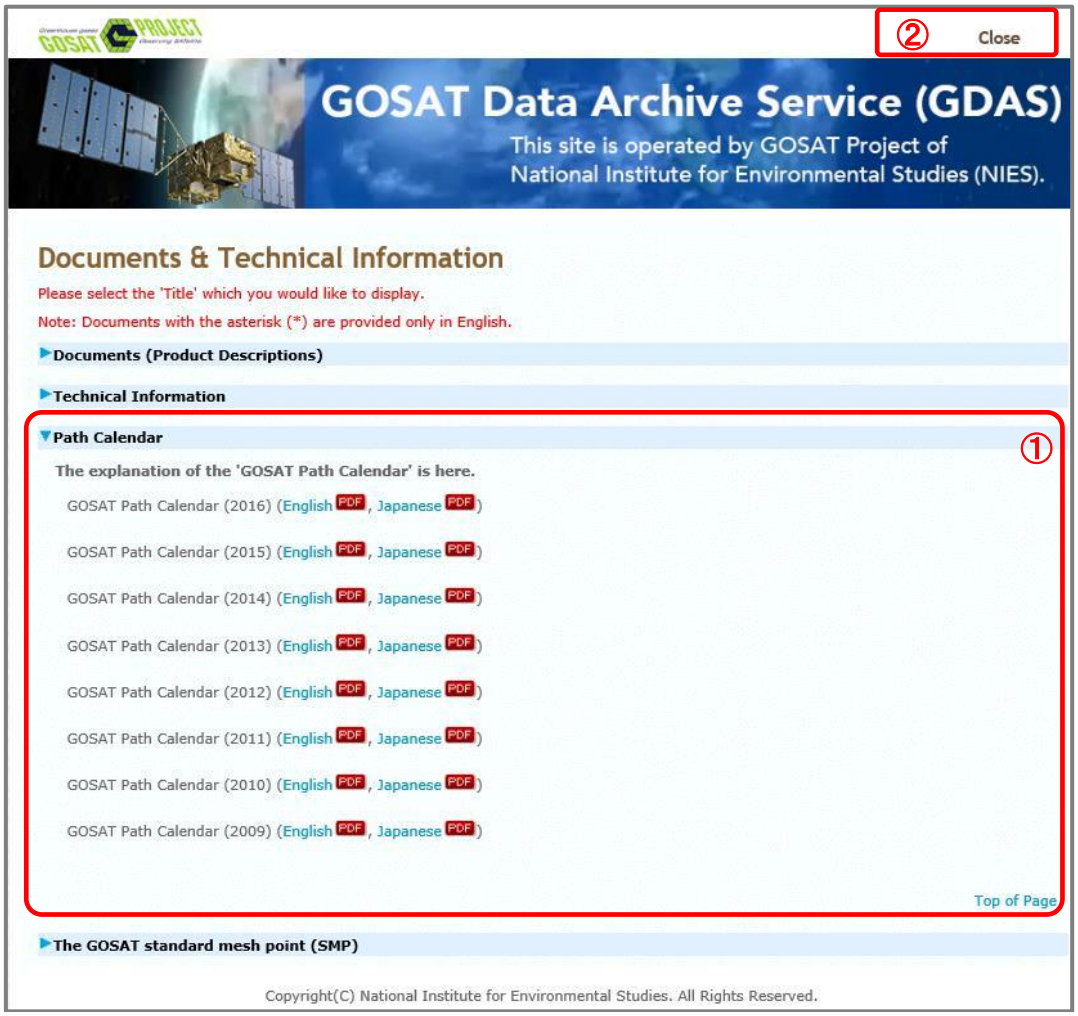
(1) 『パスカレンダー』画面への移動

『ドキュメント&技術情報』画面（5.1 節参照）で【Path Calendar】をクリックすると、『パスカレンダー』画面（新規画面）に移動します。



(2) 『パスカレンダー』画面

GOSAT プロダクトの観測パス情報が表示されます（下図①）。また、各リンクをクリックすると、パスカレンダーをダウンロードします。



① GOSAT パスカレンダー　：　GOSAT パスカレンダー　（PDF ファイル）へのリンクです。

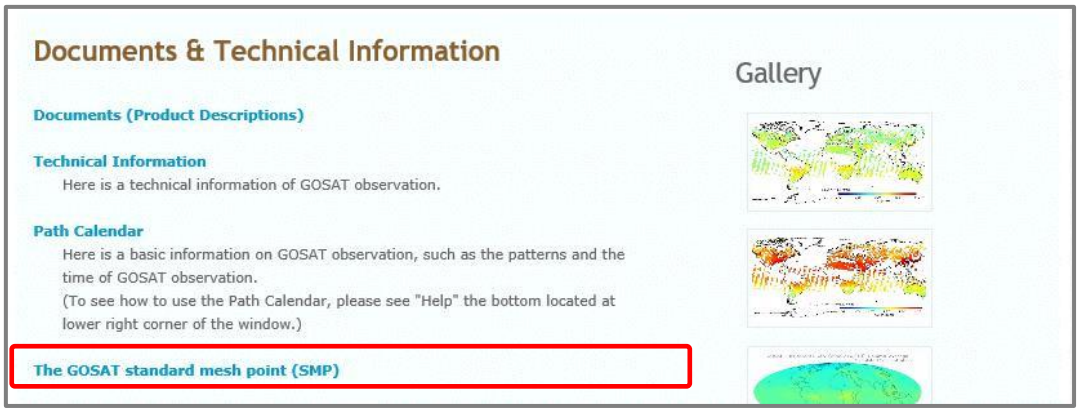
② 【Close】リンク　：　『パスカレンダー』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：『ドキュメント＆技術情報』の一覧に表示されていた『ドキュメント（プロダクト説明書）』『センサーの技術情報』『GOSAT 標準メッシュ点情報』についてもこの画面から表示出来ます。

5.5 GOSAT 標準メッシュ点情報画面

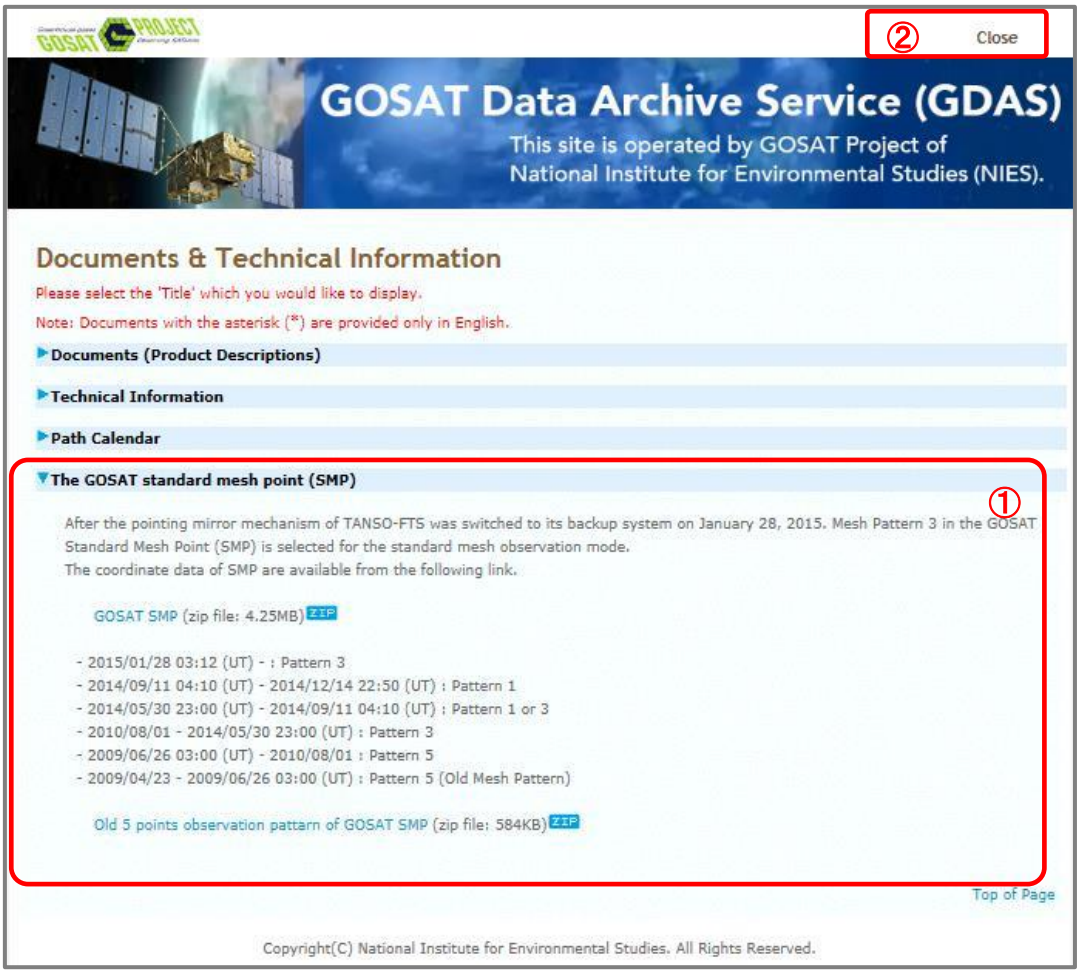
(1) 『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面への移動

『ドキュメント＆技術情報』画面（5.1 節参照）で【The GOSAT standard mesh point (SMP)】をクリックすると、『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面（新規画面）に移動します。



⑵ 『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面

GOSAT 標準メッシュ点に関する情報が表示されます（下図①）。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。



① GOSAT 標準メッシュ点情報 ： GOSAT 標準メッシュ点情報を表示します。

② 【Close】リンク ： 『GOSAT 標準メッシュ点情報』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：『ドキュメント＆技術情報』の一覧に表示されていた『ドキュメント（プロダクト説明書）』『センサーの技術情報』『パスカレンダー』についてもこの画面から表示出来ます。

6 GOSAT プロダクトの画像を閲覧するための手順

この章では、GOSAT プロダクトの画像データを閲覧する手順について説明します。

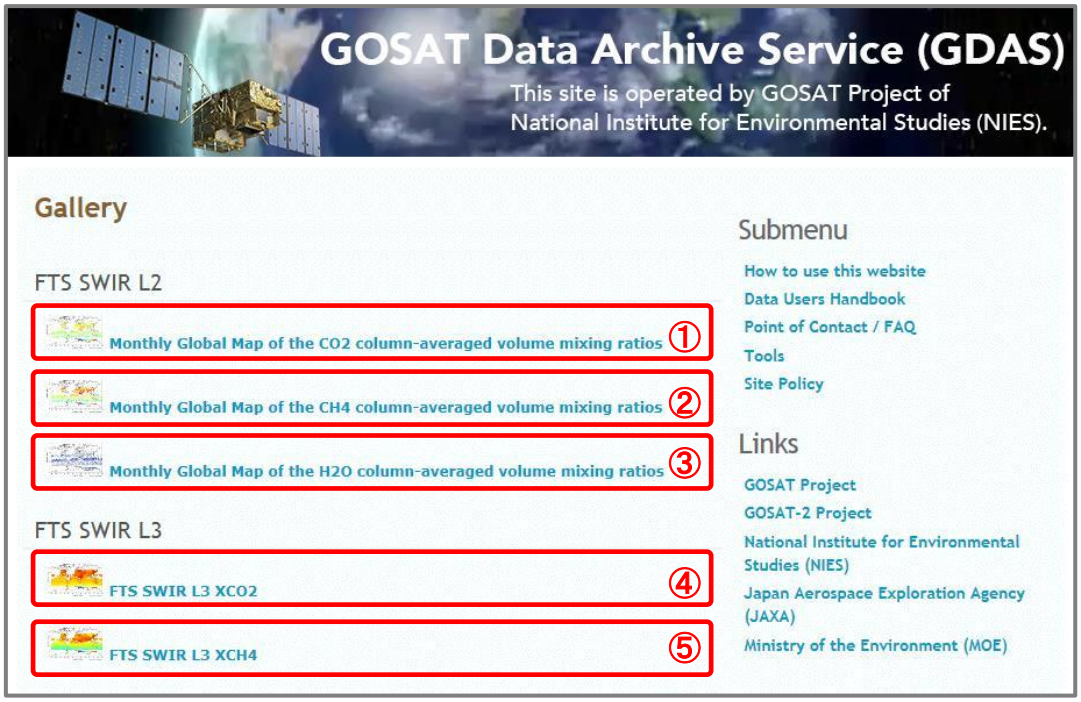
6.1 ギャラリー画面

(1) 『ギャラリー』画面への移動

『GDAS トップ』画面 (4.1 節参照) のメニューから『ギャラリー』をクリックすると、『ギャラリー』画面に移動します。

(2) 『ギャラリー』画面

GOSAT プロダクトのギャラリーの一覧を表示します。各プロダクトのリンクをクリックすると、各ギャラリー画面に移動します。



①	【Monthly Global Map of the CO2 column-averaged volume mixing ratios】リンク	:	『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』画面へのリンクです。
②	【Monthly Global Map of the CH4 column-averaged volume mixing ratios】リンク	:	『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』画面へのリンクです。
③	【Monthly Global Map of the H2O column-averaged volume mixing ratios】リンク	:	『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』画面へのリンクです。
④	【FTS SWIR L3 XCO2】リンク	:	『FTS L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面へのリンクです。
⑤	【FTS SWIR L3 XCH4】リンク	:	『FTS L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面へのリンクです。
⑥	【Global Gas Flux Maps】リンク	:	『全球気体吸収排出量分布図』画面へのリンクです。

⑦	【Global Gas Flux Maps (View Format)】リンク	:	『全球気体吸収排出量分布図一覧』画面へのリンクです。
⑧	【Gas Flux Time Series】リンク	:	『気体吸収排出量時系列図』画面へのリンクです。
⑨	【Global Gas Concentration Maps】リンク	:	『全球気体濃度分布図』画面へのリンクです。
⑩	【Global Gas Concentration Maps (View Format)】リンク	:	『全球気体濃度分布図一覧』画面へのリンクです。
⑪	【Gas Concentration Time Series】リンク	:	『気体濃度分布時系列図』画面へのリンクです。
⑫	【Global Gas Concentration Animations】リンク	:	『全球気体濃度分布動画』画面へのリンクです。
⑬	【CAI L1B+ Browse Image】リンク	:	『CAI L1B+ブラウズ画像』画面へのリンクです。
⑭	【Images of the Earth captured by "IBUKI"】リンク	:	『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面へのリンクです。
⑮	【Global NDVI Map】リンク	:	『全球 NDVI 画像』画面へのリンクです。
⑯	【Browse images of the global radiance distribution】リンク	:	『全球輝度ブラウズ画像』画面へのリンクです。

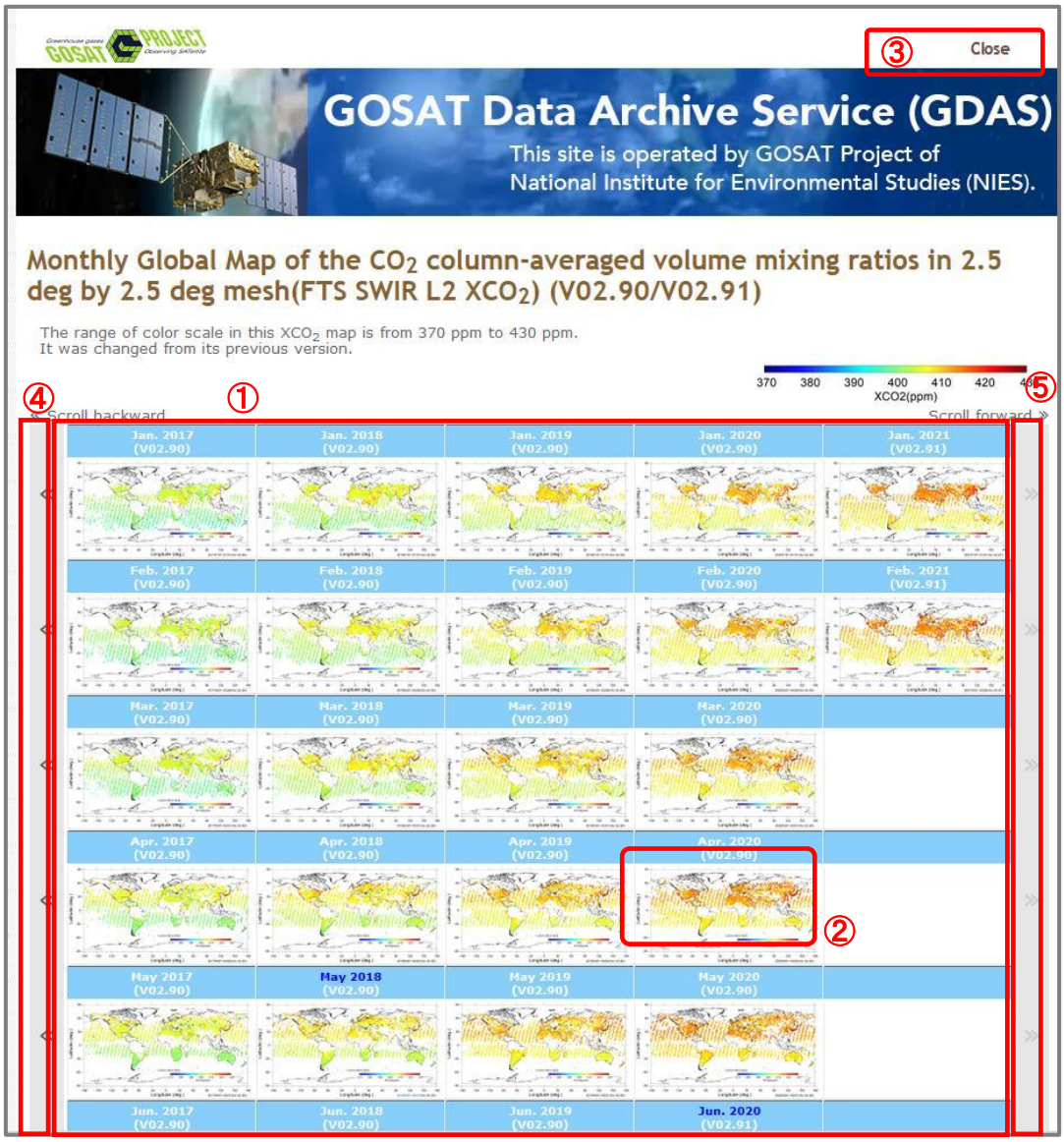
6.2 L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布画面

(1) 『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Monthly Global Map of the CO2 column-averaged volume mixing ratios】をクリックすると、『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』画面

L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布のサムネイル画像一覧を表示します（下図①）。また、各画像（下図②）をクリックすると、『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面（新規画面）に移動します。



① 月平均値分布一覧　：　月平均値分布の一覧を表示します。

② サムネイル画像　：　対象年月の『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面へのリンクです。

③ 【Close】リンク　：　『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』画面を閉じるためのリンクです。

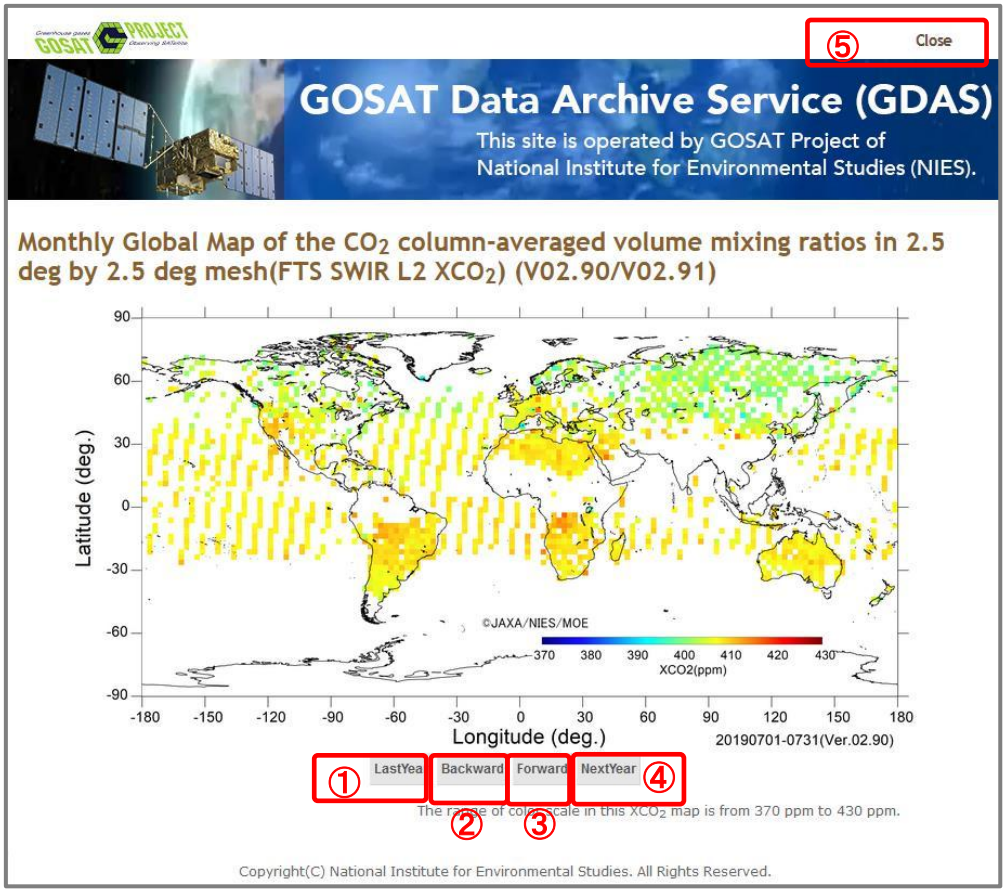
④ 【《】ボタン　：　表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

⑤ 【》】ボタン　：　表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

補足事項：青字の日付は、1 ヶ月分のデータが揃っていないことを示します。

(3) 『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面

L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図③）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

⑤ 【Close】リンク ： 『L2 二酸化炭素カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面を閉じるためのリンクです。

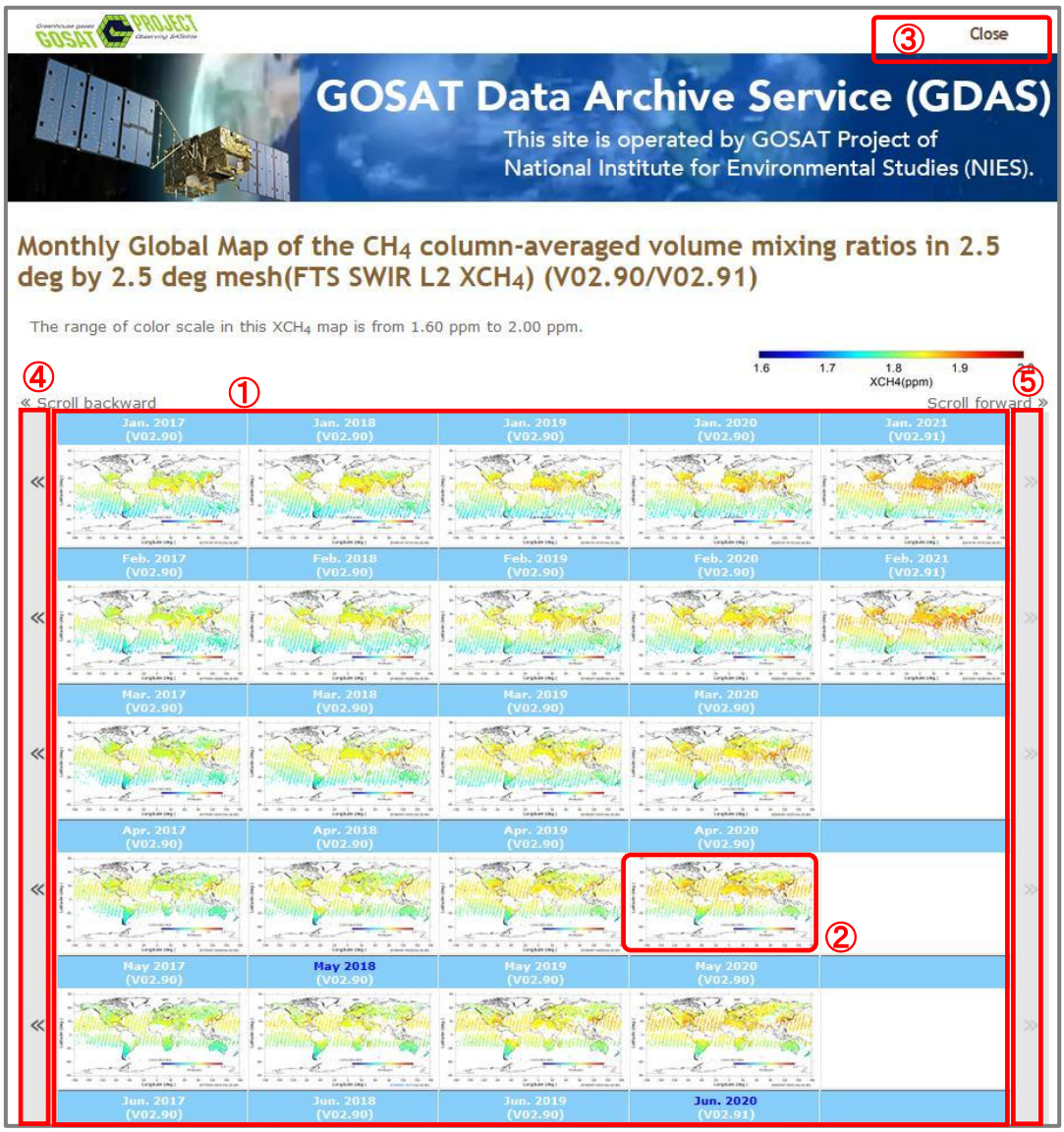
6.3 L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布画面

(1) 『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で 【Monthly Global Map of the CH4 column-averaged volume mixing ratios】をクリックすると、『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』画面

L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布のサムネイル画像一覧を表示します（下図①）。また、各画像（下図②）をクリックすると、『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面（新規画面）に移動します。



① 月平均値分布一覧 ： 月平均値分布の一覧を表示します。

② サムネイル画像 ： 対象年月の『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面へのリンクです。

③ 【Close】リンク ： 『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』画面を閉じるためのリンクです。

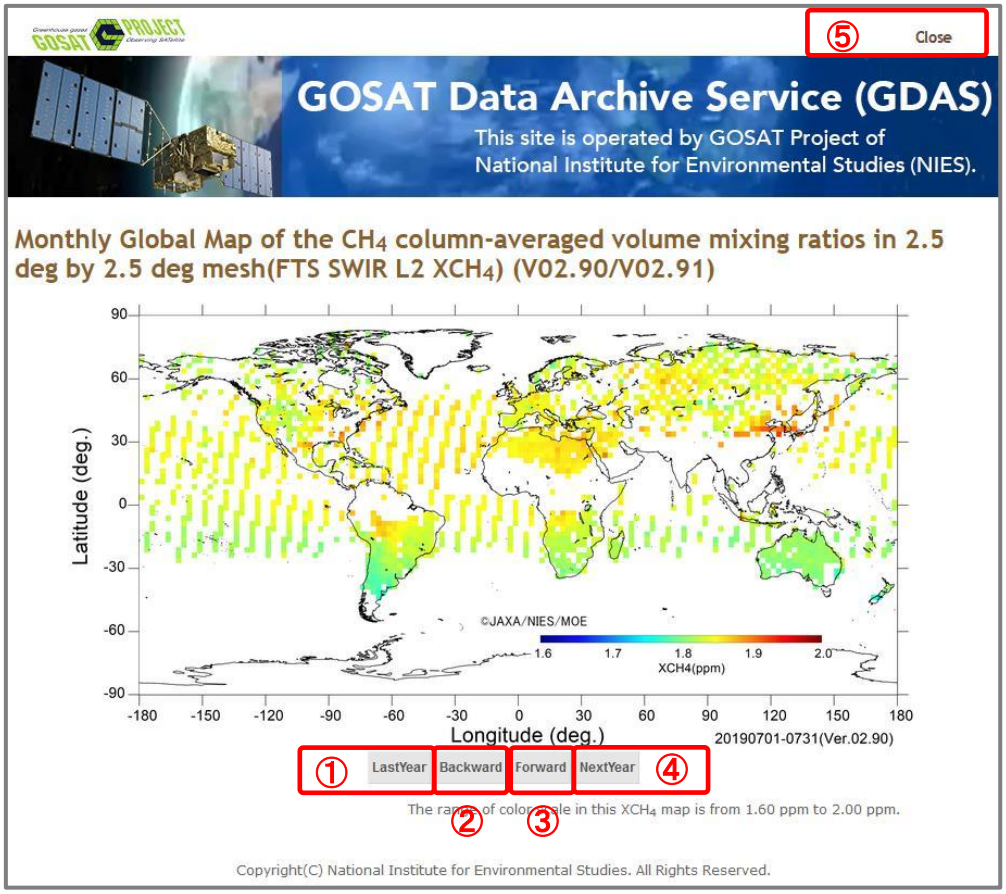
④ 【《】ボタン ： 表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

⑤ 【》】ボタン ： 表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

補足事項：青字の日付は、1 ヶ月分のデータが揃っていないことを示します。

(3) 『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面

L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図②）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

⑤ 【Close】リンク ： 『L2 メタンカラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面を閉じるためのリンクです。

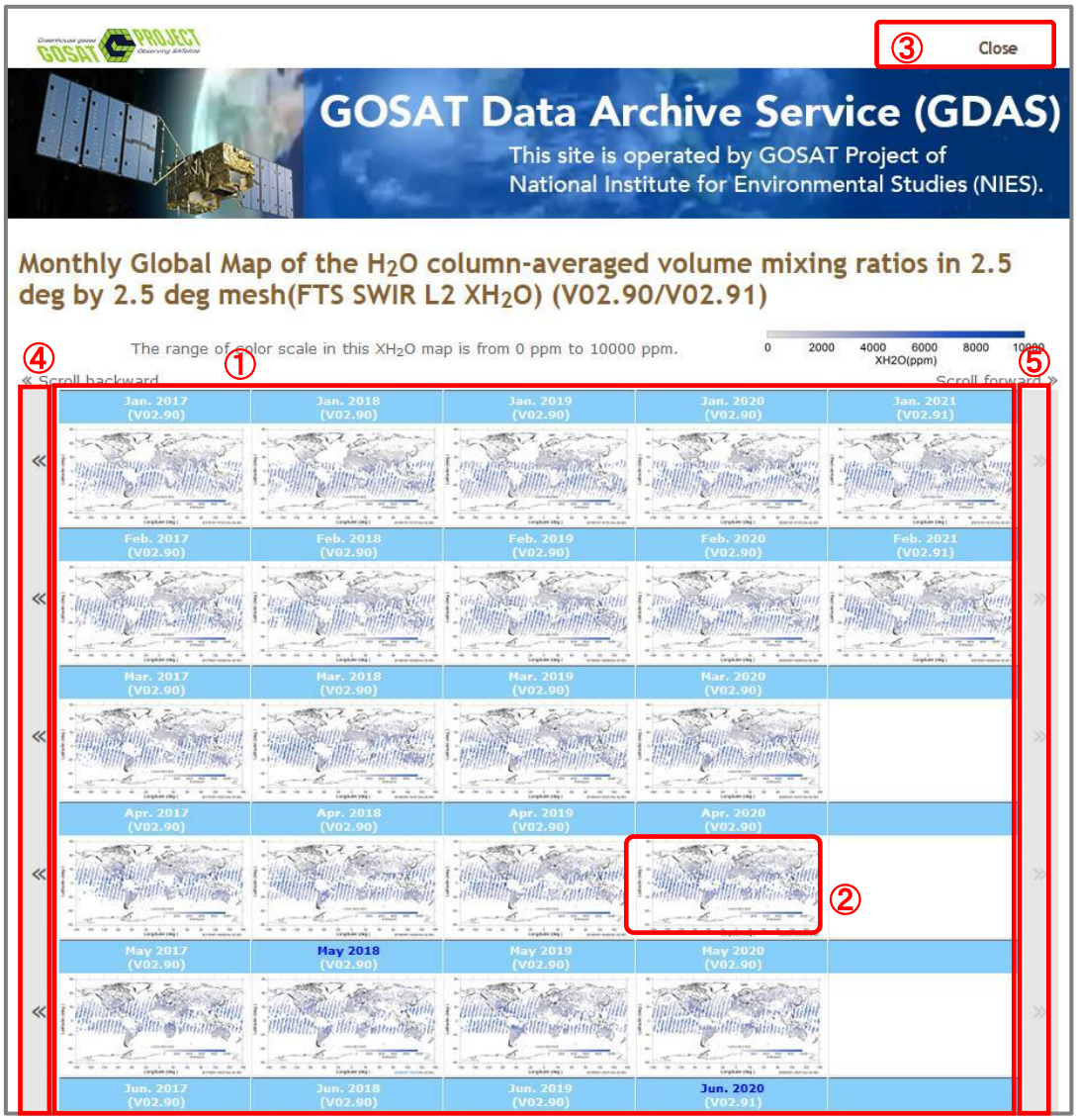
6.4 L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布画面

(1) 『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』画面

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で 【Monthly Global Map of the H2O column-averaged volume mixing ratios】をクリックすると、『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』画面

L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布のサムネイル画像一覧を表示します（下図①）。また、各画像（下図②）をクリックすると、『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面（新規画面）に移動します。



① 月平均値分布一覧 ： 月平均値分布の一覧を表示します。

② サムネイル画像 ： 対象年月の『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面へのリンクです。

③ 【Close】リンク ： 『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』画面を閉じるためのリンクです。

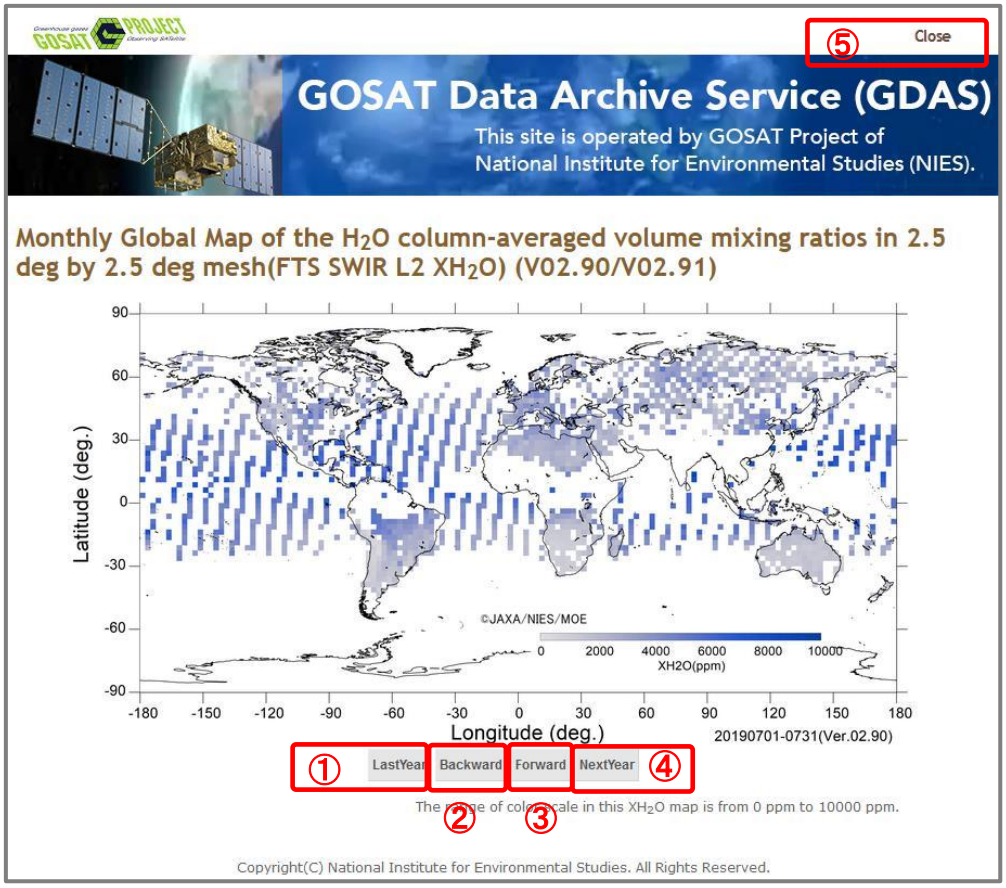
④ 【《】ボタン ： 表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

⑤ 【》】ボタン ： 表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

補足事項：青字の日付は、1 ヶ月分のデータが揃っていないことを示します。

(3) 『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面

L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図③）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

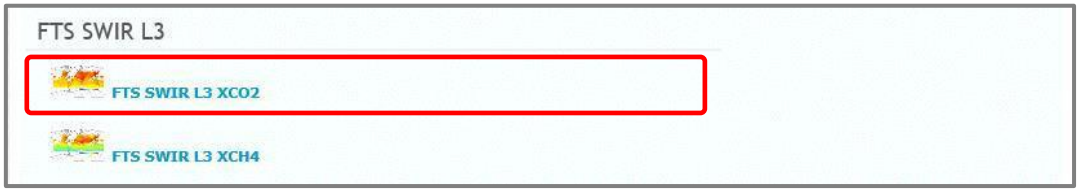
③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

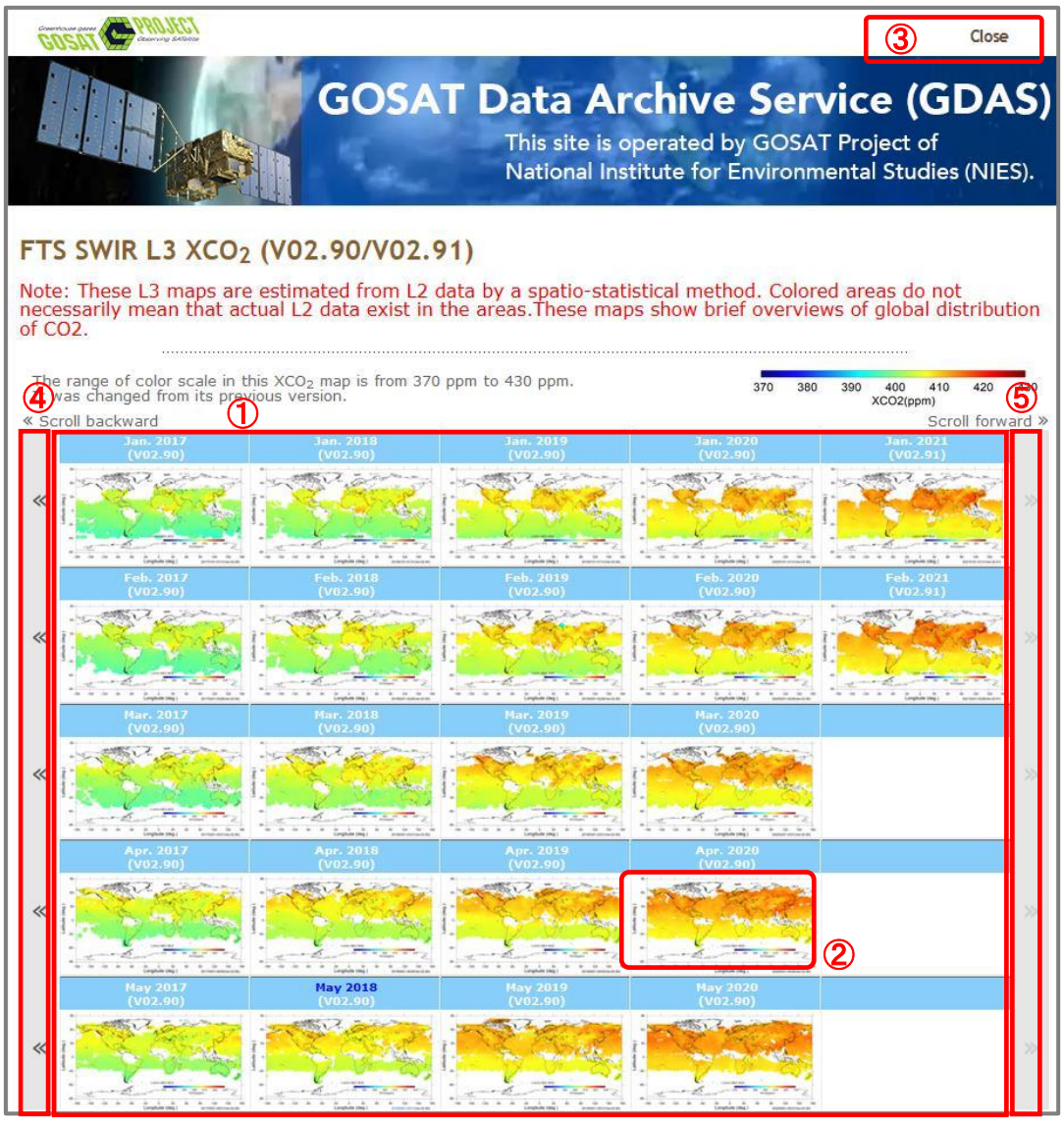
⑤ 【Close】リンク ： 『L2 水蒸気カラム平均濃度の月平均値分布』拡大画面を閉じるためのリンクです。

6.5 FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面

(1) 『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面への移動
『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【FTS SWIR L3 XCO2】をクリックすると、『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面（新規画面）に移動します。



(2) 『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面
FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布のサムネイル画像一覧を表示します（下図①）。また、各画像（下図②）をクリックすると、『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面（新規画面）に移動します。

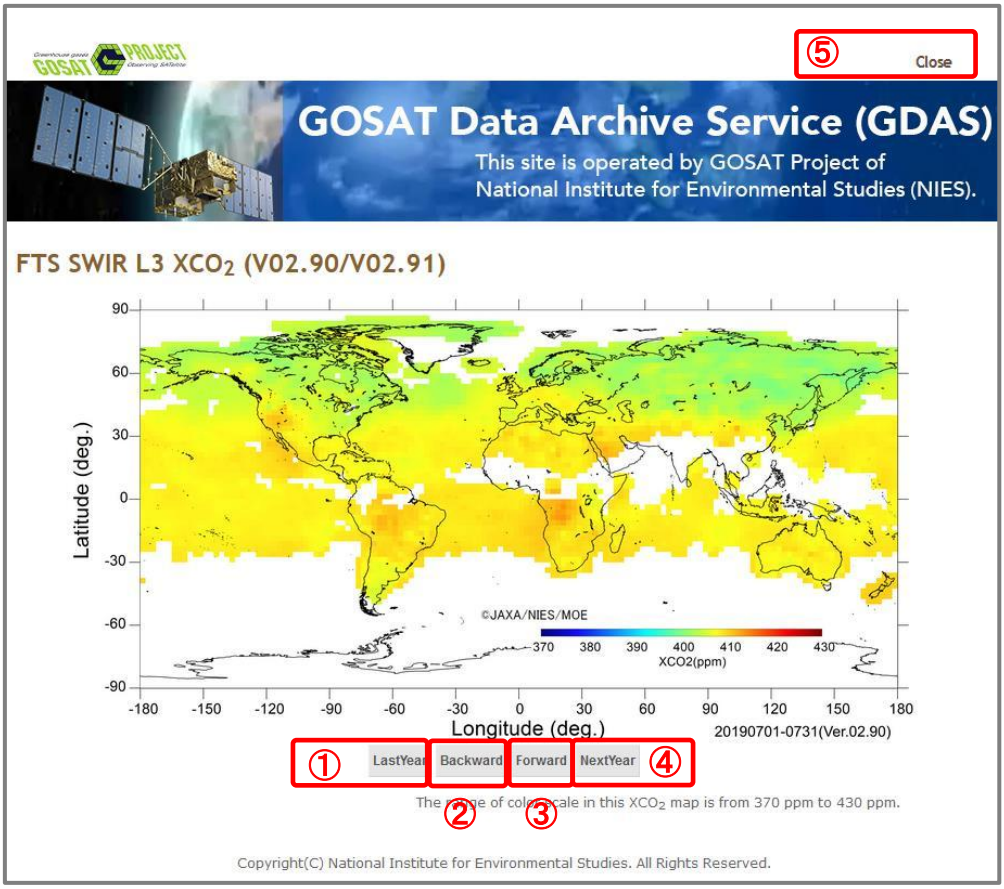


①	全球カラム平均濃度分布一覧	：	全球カラム平均濃度分布の一覧を表示します。
②	サムネイル画像	：	対象年月の『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面へのリンクです。
③	【Close】リンク	：	『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面を閉じるためのリンクです。
④	【《】ボタン	：	表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。
⑤	【》】ボタン	：	表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

補足事項：青字の日付は、1 ヶ月分のデータが揃っていないことを示します。

(3) 『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面

FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図③）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

⑤ 【Close】リンク ： 『FTS SWIR L3 CO2 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面を閉じるためのリンクです。

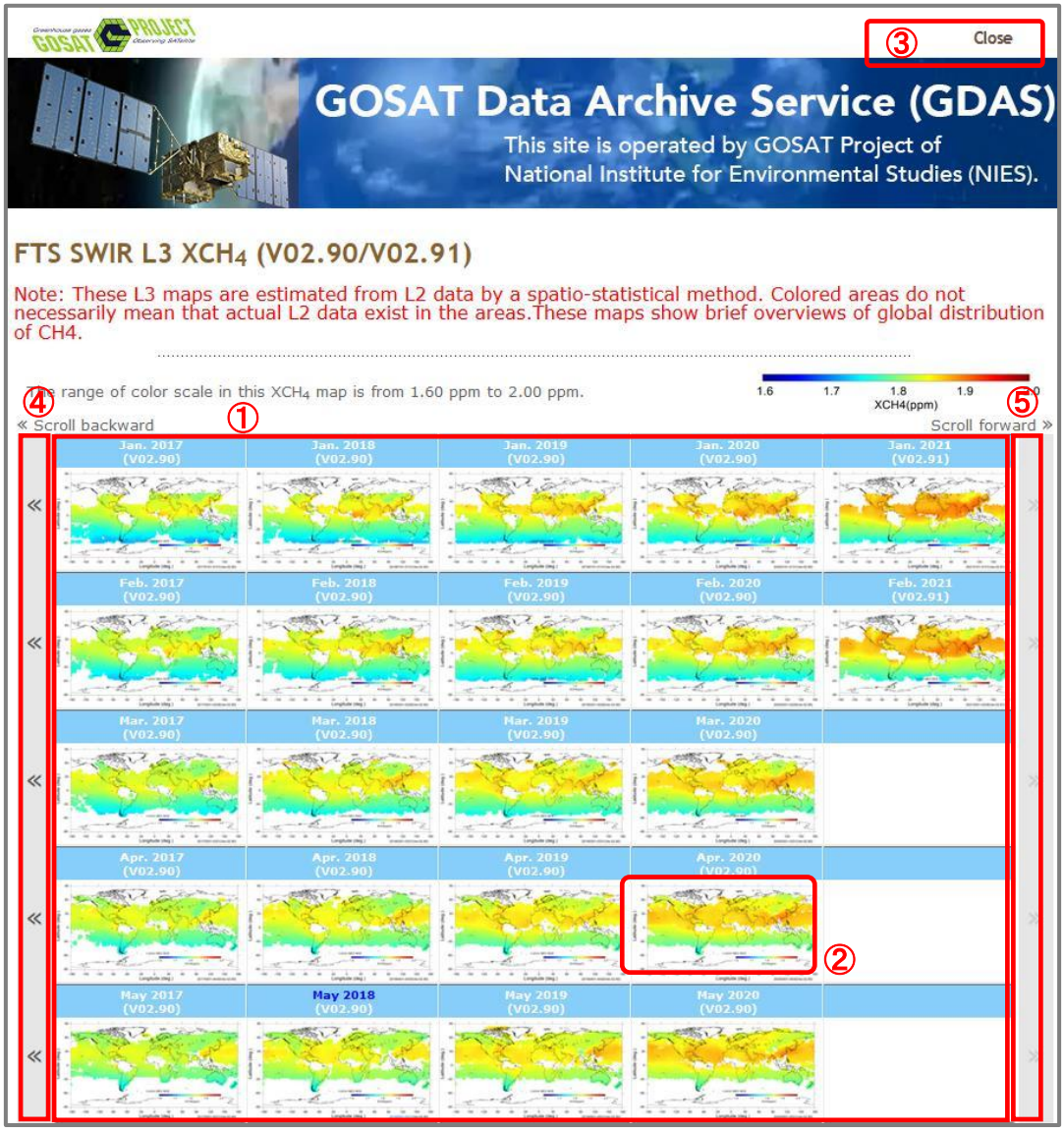
6.6 FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布画面

(1) 『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面への移動

『ギャラリー』画面 (6.1 節参照) で【FTS SWIR L3 XCH4】をクリックすると、『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面

FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布のサムネイル画像一覧を表示します（下図①)。また、各画像（下図②）をクリックすると、『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面（新規画面）に移動します。



① 全球カラム平均濃度分布一覧 ： 全球カラム平均濃度分布の一覧を表示します。

② サムネイル画像 ： 対象年月の『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面へのリンクです。

③ 【Close】リンク ： 『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』画面を閉じるためのリンクです。

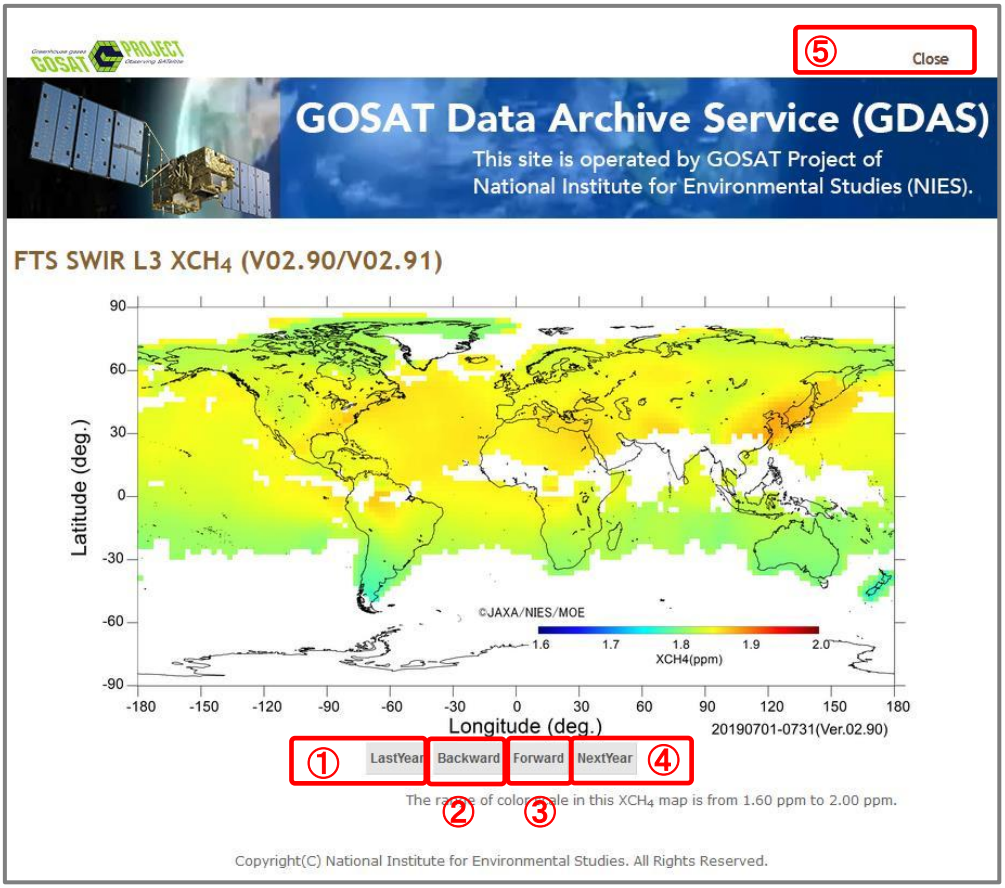
④ 【《】ボタン ： 表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

⑤ 【》】ボタン ： 表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

補足事項：青字の日付は、1 ヶ月分のデータが揃っていないことを示します。

(3) 『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面

FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図③）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

⑤ 【Close】リンク ： 『FTS SWIR L3 CH4 プロダクトの全球カラム平均濃度分布』拡大画面を閉じるためのリンクです。

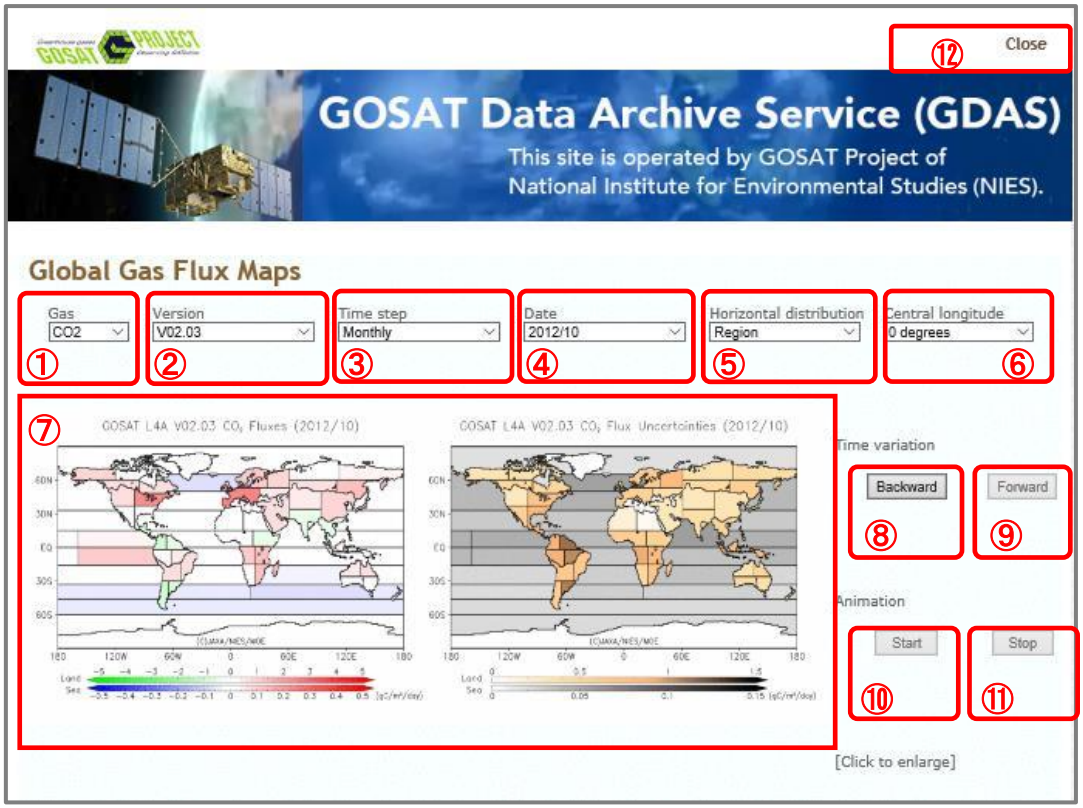
6.7 全球気体吸収排出量分布図画面

(1) 『全球気体吸収排出量分布図』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Global Gas Flux Maps (L4A)】をクリックすると、『全球気体吸収排出量分布図』画面（新規画面）に移動します。

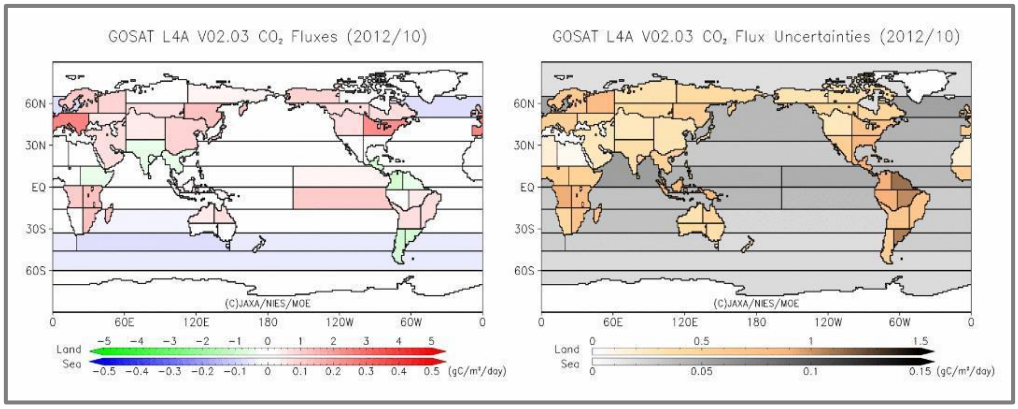
(2) 『全球気体吸収排出量分布図』画面

【気体種】【バージョン】【時間間隔】【年月】【水平分布】【中心経度】（下図①～⑥）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した全球気体吸収排出量分布図を表示します。また、【Backward】ボタン（下図⑧）、【Forward】ボタン（下図⑨）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【Gas】プルダウン : 【気体種】を選択するためのプルダウンです。
② 【Version】プルダウン : 【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③ 【Time step】プルダウン : 【時間間隔】を選択するためのプルダウンです。（monthly で固定）
④ 【Date】プルダウン : 【年月】を選択するためのプルダウンです。
⑤ 【Horizontal distribution】プルダウン : 【水平分布】を選択するためのプルダウンです。（region で固定）
⑥ 【Central longitude】プルダウン : 【中心経度】を選択するためのプルダウンです。
⑦ メイン画面 : ①から⑥の条件で選択された画像を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像（※）を表示します。
⑧ 【Backward】ボタン : 前の月の画像を表示するためのボタンです。
⑨ 【Forward】ボタン : 次の月の画像を表示するためのボタンです。
⑩ 【Start】ボタン : 画像の自動再生を開始するためのボタンです。
⑪ 【Stop】ボタン : 画像の自動再生を中止するためのボタンです。
⑫ 【Close】リンク : 『全球気体吸収排出量分布図』画面を閉じるためのリンクです。

※拡大した画像の一例



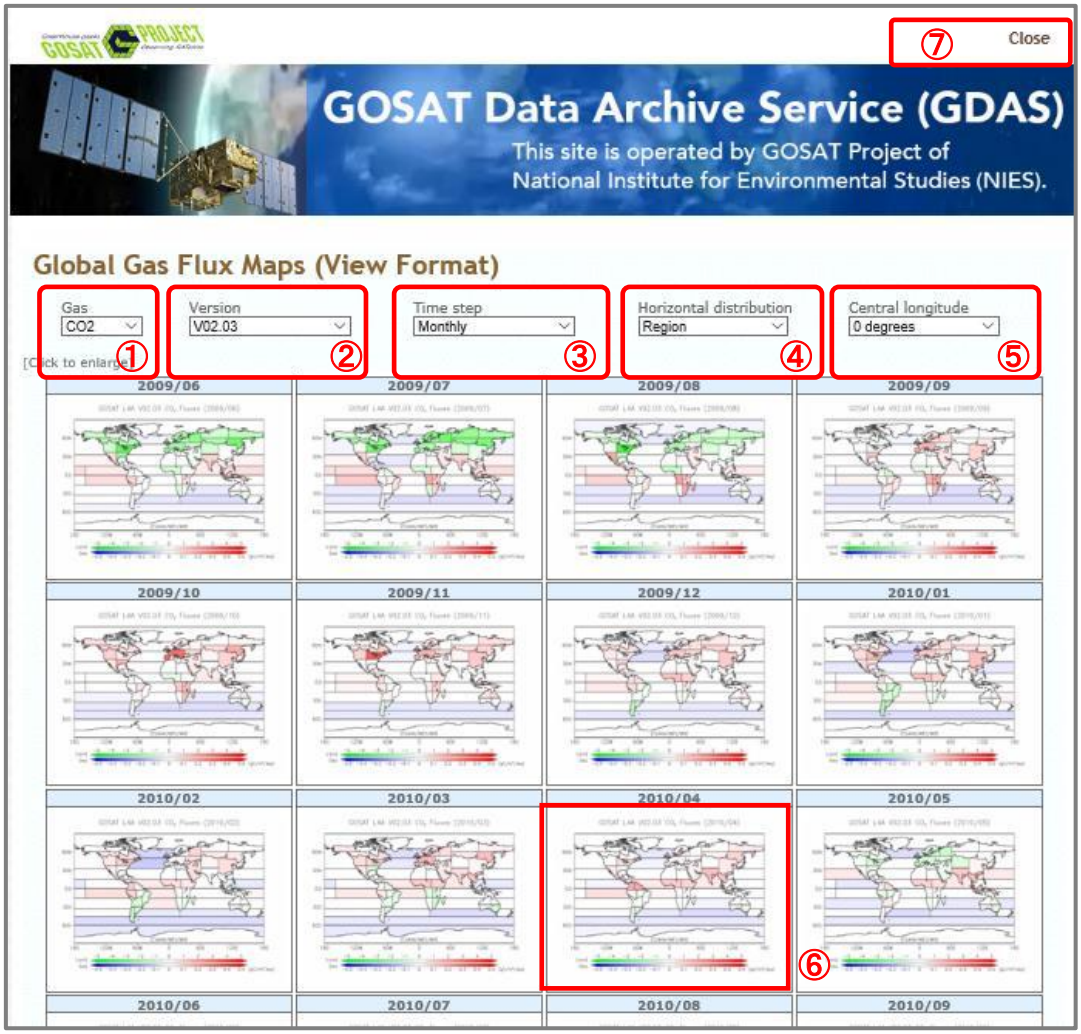
6.8 全球気体吸収排出量分布図一覧画面

(1) 『全球気体吸収排出量分布図一覧』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Global Gas Flux Maps (View Format) (L4A)】をクリックすると、『全球気体吸収排出量分布図一覧』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『全球気体吸収排出量分布図一覧』画面

【気体種】【バージョン】【時間間隔】【水平分布】【中心経度】（下図①～⑤）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した全球気体吸収排出量分布図一覧を表示します。また、各画像（下図⑥）をクリックすると、拡大画像を表示します。



① 【Gas】プルダウン : 【気体種】を選択するためのプルダウンです。

② 【Version】プルダウン : 【バージョン】を選択するためのプルダウンです。

③ 【Time step】プルダウン : 【時間間隔】を選択するためのプルダウンです。（monthly で固定）

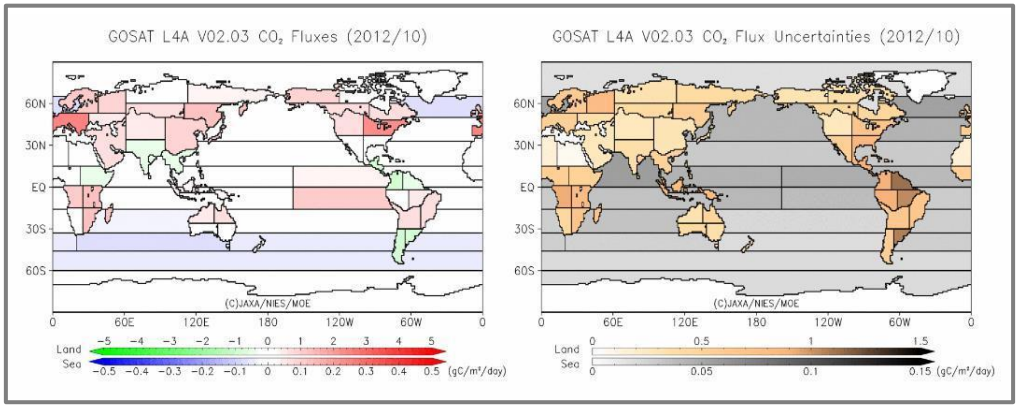
④ 【Horizontal distribution】プルダウン : 【水平分布】を選択するためのプルダウンです。（region で固定）

⑤ 【Central longitude】プルダウン : 【中心経度】を選択するためのプルダウンです。

⑥ 画像一覧 : ①から⑤の条件で選択された画像を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像 （※）を表示します。

⑦ 【Close】リンク　　：『全球気体吸収排出量分布図』画面を閉じるためのリンクです。

※拡大した画像の一例



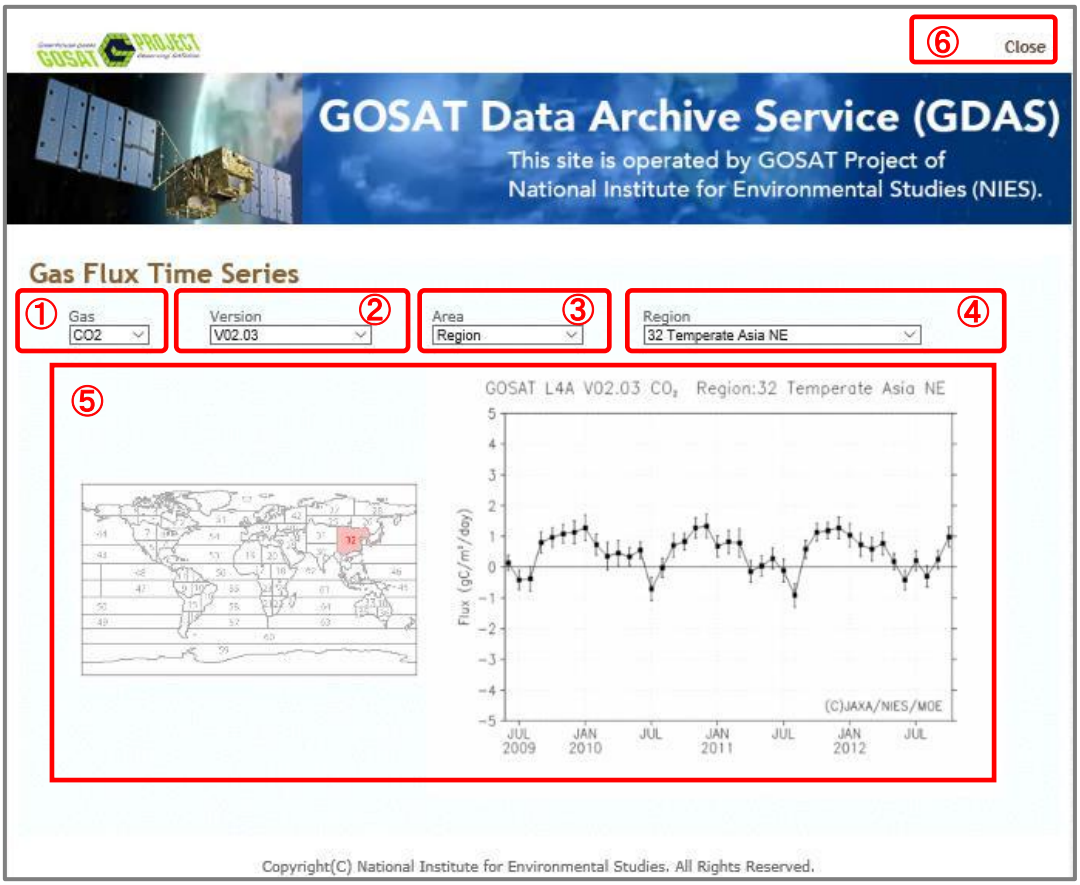
6.9 気体吸収排出量時系列図画面

(1) 『気体吸収排出量時系列図』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Gas Flux Time Series (L4A)】をクリックすると、『気体吸収排出量時系列図』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『気体吸収排出量時系列図』画面

【気体種】【バージョン】【場所】【地域】（下図①～④）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した気体吸収排出量時系列図を表示します（下図⑤）。



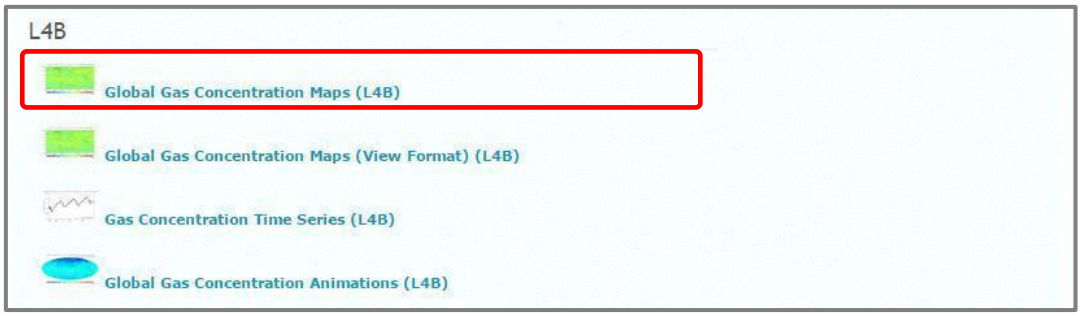
① 【Gas】プルダウン　：　【気体種】を選択するためのプルダウンです。
② 【Version】プルダウン　：　【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③ 【Area】プルダウン　：　【場所】を選択するためのプルダウンです。（region で固定）
④ 【Region】プルダウン　：　【地域】を選択するためのプルダウンです。
⑤ メイン画面　：　①から④の条件で選択された画像を表示します。
⑥ 【Close】リンク　：　『気体吸収排出量時系列図』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：二酸化炭素の地域は 64 地域、メタンの地域は 43 地域となっています。

6.10　全球気体濃度分布図画面

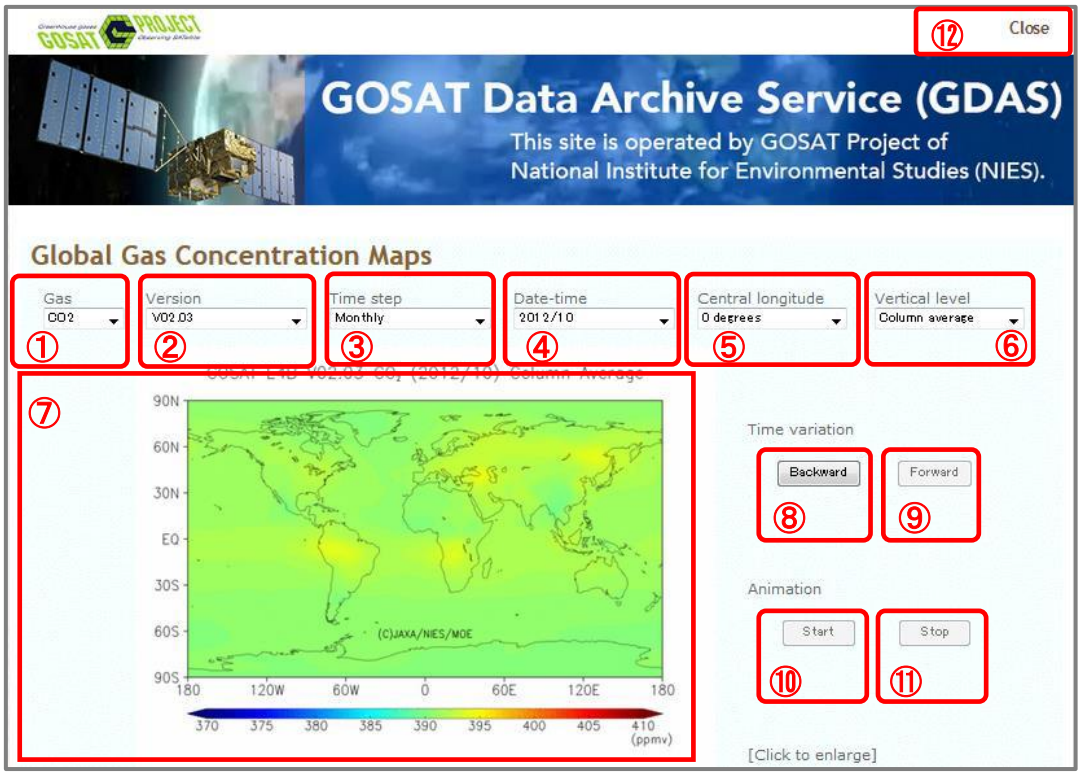
(1) 『全球気体濃度分布図』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Global Gas Concentration Maps (L4B)】をクリックすると、『全球気体濃度分布図』画面（新規画面）に移動します。



⑵ 『全球気体濃度分布図』画面

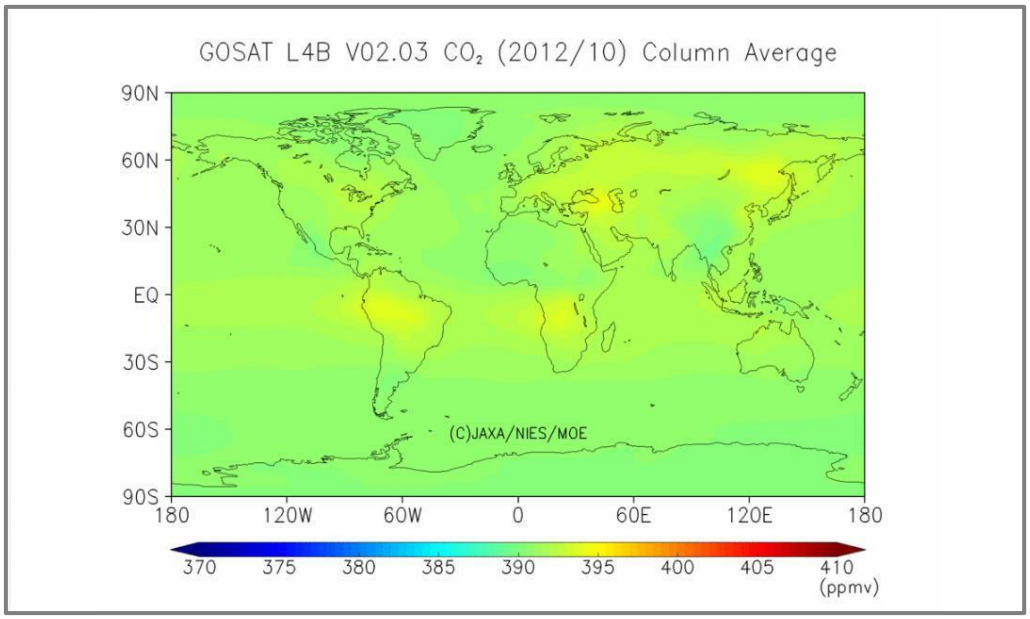
【気体種】【バージョン】【時間間隔】【年月日・時刻】【中心経度】【鉛直層】（下図①～⑥）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した全球気体濃度分布図を表示します。また、【Backward】ボタン（下図⑧）、【Forward】ボタン（下図⑨）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。さらに、画像をクリックすると、拡大画像を表示します。



①	【Gas】プルダウン	：	【気体種】を選択するためのプルダウンです。
②	【Version】プルダウン	：	【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③	【Time step】プルダウン	：	【時間間隔】を選択するためのプルダウンです。
④	【Date-time】プルダウン	：	【年月日・時刻】を選択するためのプルダウンです。
⑤	【Central longitude】プルダウン	：	【中心経度】を選択するためのプルダウンです。
⑥	【Vertical level】プルダウン	：	【鉛直層】を選択するためのプルダウンです。
⑦	メイン画面	：	①から⑥の条件で選択された画像を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像（※）を表示します。
⑧	【Backward】ボタン	：	前の月の画像を表示するためのボタンです。
⑨	【Forward】ボタン	：	次の月の画像を表示するためのボタンです。
⑩	【Start】ボタン	：	画像の自動再生を開始するためのボタンです。
⑪	【Stop】ボタン	：	画像の自動再生を中止するためのボタンです。
⑫	【Close】リンク	：	『全球気体濃度分布図』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：時間間隔は 3 種類 （6 時間毎 / 日平均 / 月平均）となっています。

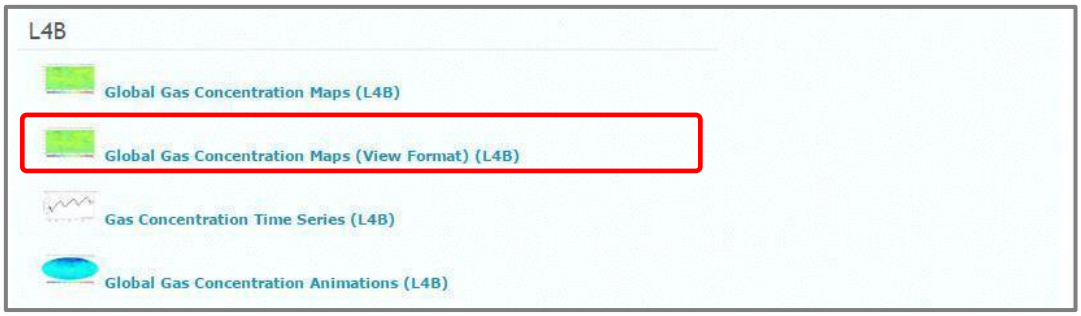
※拡大した画像の一例



6.11　全球気体濃度分布図一覧画面

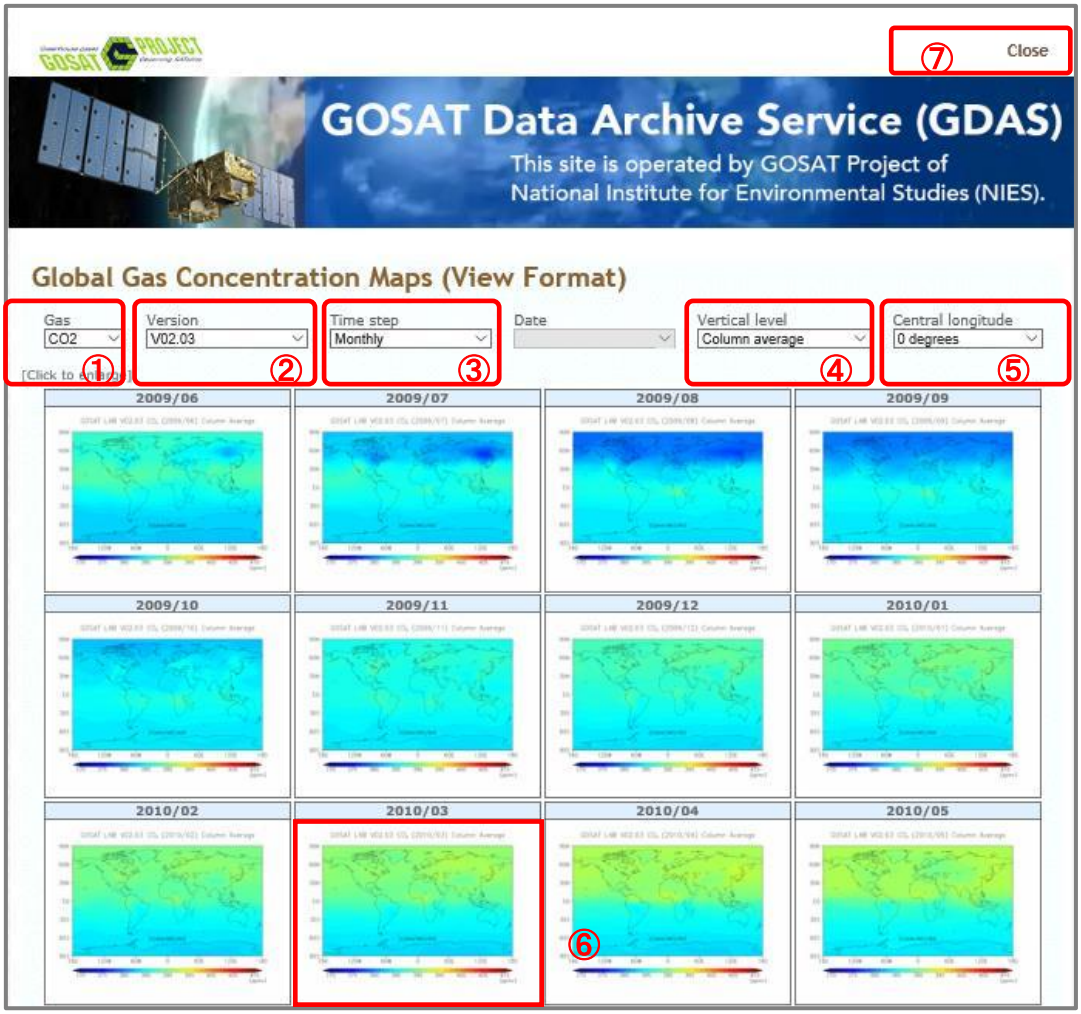
(1) 『全球気体濃度分布図一覧』画面への移動

『ギャラリー』画面(6.1節参照)で【Global Gas Concentration Maps (View Format) (L4B)】をクリックすると、『全球気体濃度分布図一覧』画面（新規画面）に移動します。



⑵ 『全球気体濃度分布図一覧』画面

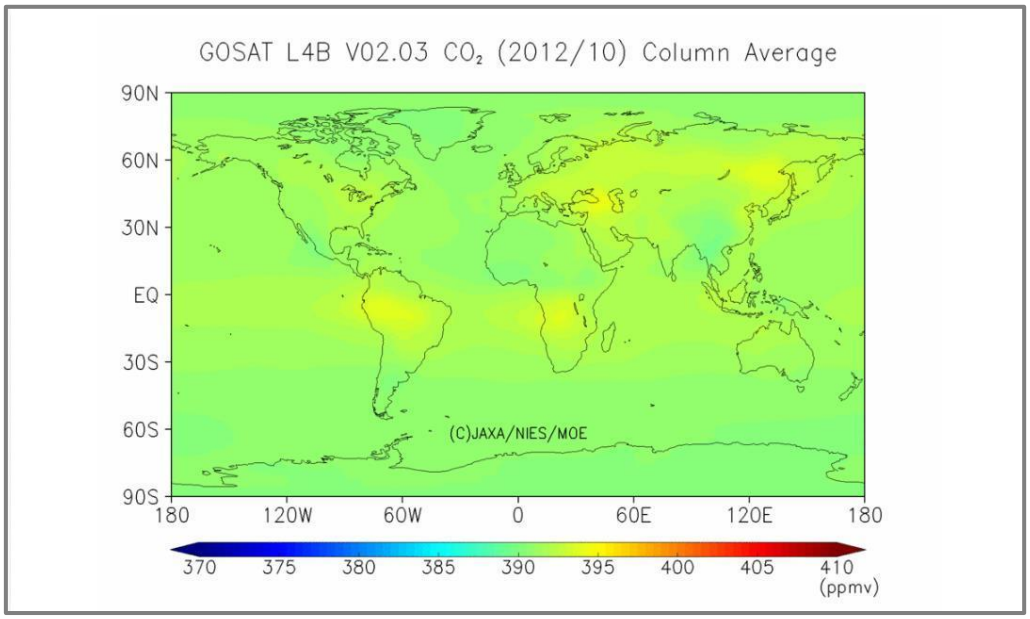
【気体種】【バージョン】【時間間隔】【鉛直層】【中心経度】（下図①～⑤）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した全球気体濃度分布図一覧を表示します。また、各画像（下図⑥）をクリックすると、拡大画像を表示します。



①	【Gas】プルダウン	：	【気体種】を選択するためのプルダウンです。
②	【Version】プルダウン	：	【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③	【Time step】プルダウン	：	【時間間隔】を選択するためのプルダウンです。
④	【Vertical level】プルダウン	：	【鉛直層】を選択するためのプルダウンです。
⑤	【Central longitude】プルダウン	：	【中心経度】を選択するためのプルダウンです。
⑥	画像一覧	：	①から⑤の条件で選択された画像を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像（※）を表示します。
⑦	【Close】リンク	：	『全球気体濃度分布図一覧』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：時間間隔は 3 種類 （6 時間毎 / 日平均 / 月平均）となっています。

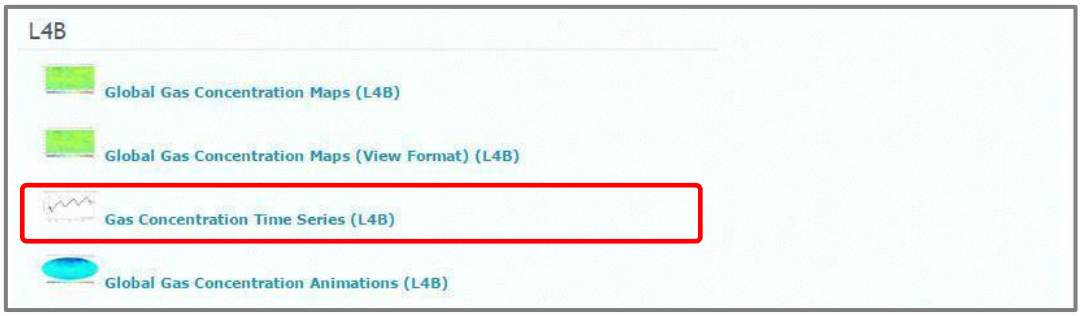
※拡大した画像の一例


GOSAT L4B V02.03 CO2 (2012/10) Column Average
90N
60N
30N
EQ
30S
60S
90S
180
120W
60W
0
60E
120E
180
(C)JAXA/NIES/MOE
370
375
380
385
390
395
400
405
410
(ppmv)

6.12　気体濃度分布時系列図画面

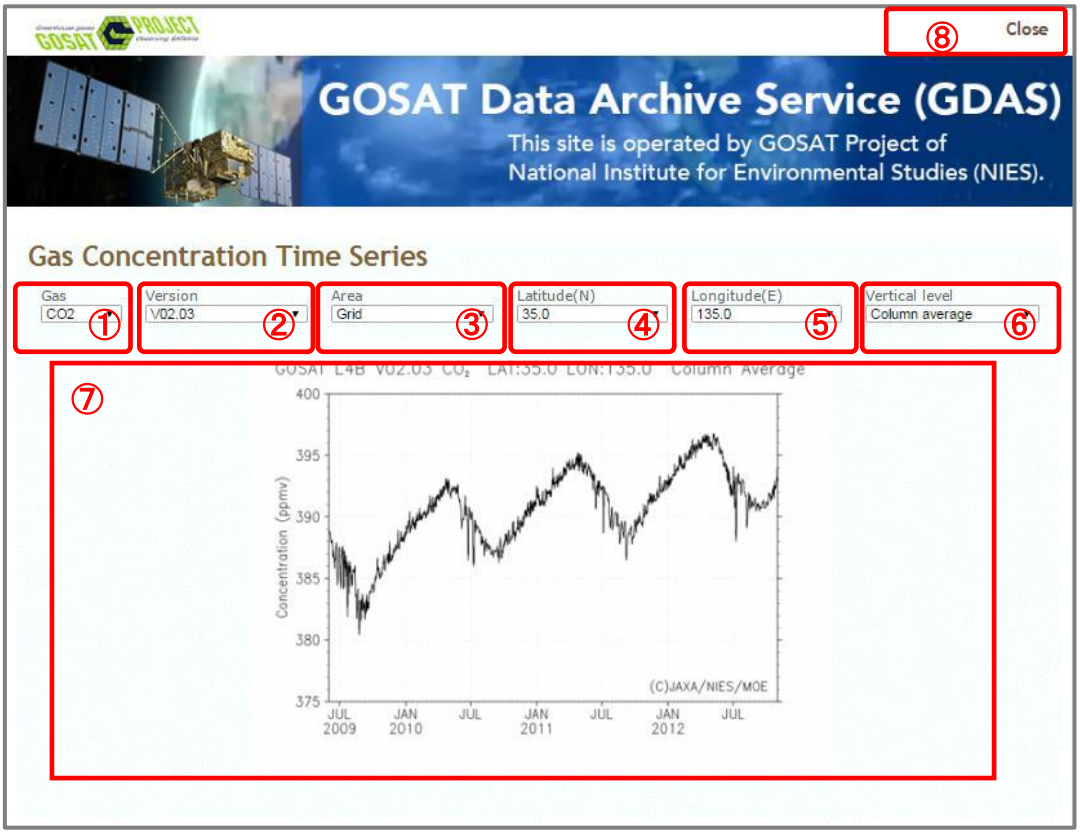
(1) 『気体濃度分布時系列図』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Gas Concentration Time Series (L4B)】をクリックすると、『気体濃度分布時系列図』画面（新規画面）に移動します。



⑵ 『気体濃度分布時系列図』画面

【気体種】【バージョン】【場所】【北緯】【東経】【鉛直層】（下図①～⑥）の値をプルダウンから選択し、これらの設定条件で作成した気体濃度分布時系列図を表示します（下図⑦）。



①	【Gas】プルダウン	：	【気体種】を選択するためのプルダウンです。
②	【Version】プルダウン	：	【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③	【Area】プルダウン	：	【場所】を選択するためのプルダウンです。
④	【Latitude】プルダウン	：	【北緯】を選択するためのプルダウンです。(2.5 度刻み)
⑤	【Longitude】プルダウン	：	【東経】を選択するためのプルダウンです。(2.5 度刻み)
⑥	【Vertical level】プルダウン	：	【鉛直層】を選択するためのプルダウンです。
⑦	メイン画面	：	①から⑥の条件で選択された画像を表示します。
⑧	【Close】リンク	：	『気体濃度分布時系列図』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：場所は 2 カ所 （格子点 / 全球平均）となっています。
全球平均を選択した場合、【北緯】【東経】のプルダウンは選択出来ません。

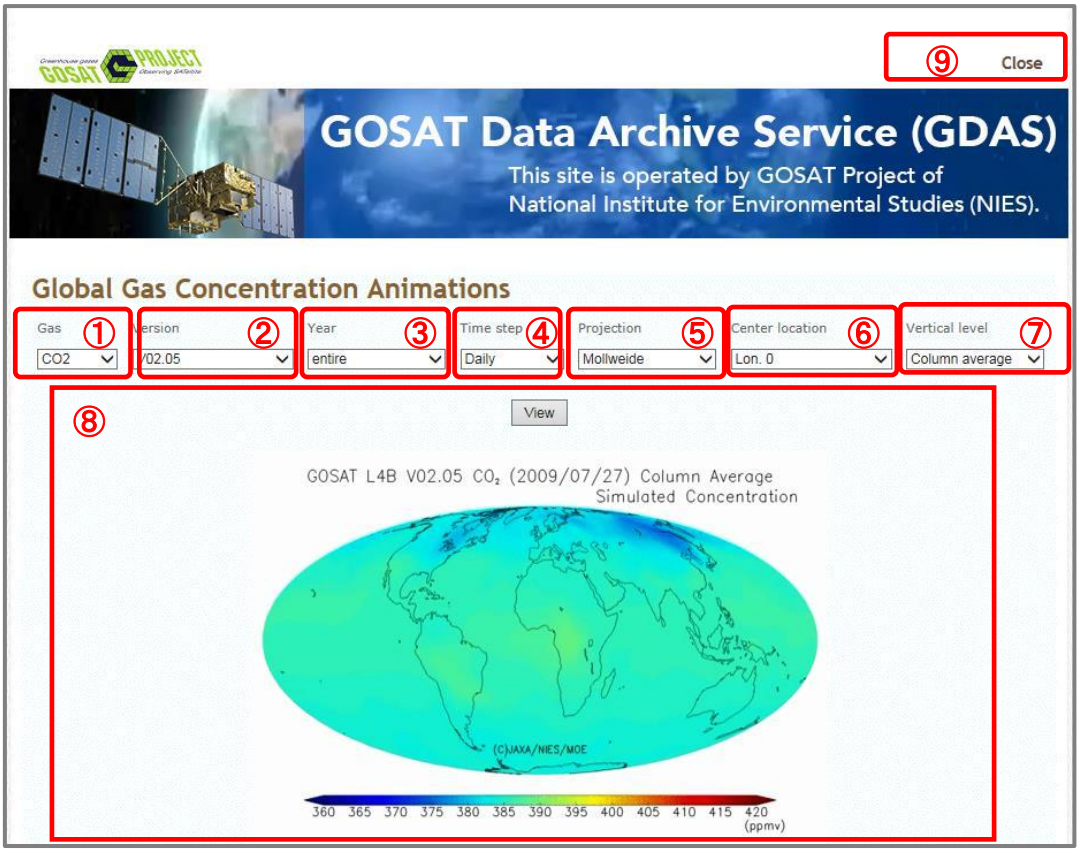
6.13　全球気体濃度分布動画画面

(1) 『全球気体濃度分布動画』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Global Gas Concentration Animations (L4B)】をクリックすると、『全球気体濃度分布動画』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『全球気体濃度分布動画』画面

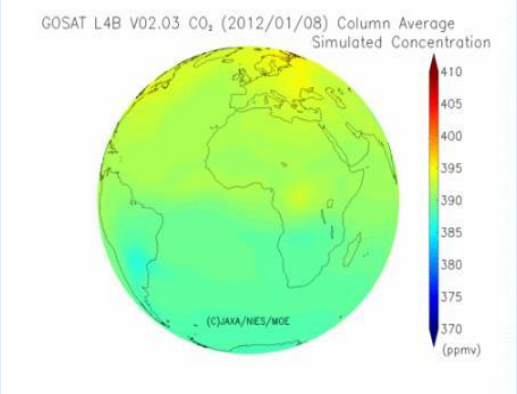
【気体種】【バージョン】【観測年】【時間間隔】【投影法】【中心位置】【鉛直層】（下図①～⑦）の値をプルダウンから選択後に【View】ボタンをクリックすると、これらの設定条件で作成した全球気体濃度分布動画を表示します（下図⑧）。



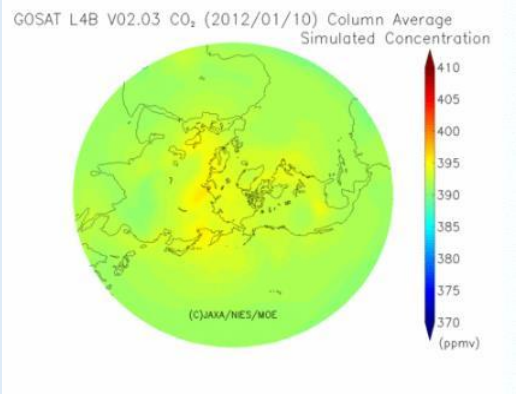
① 【Gas】プルダウン　：【気体種】を選択するためのプルダウンです。
② 【Version】プルダウン　：【バージョン】を選択するためのプルダウンです。
③ 【Year】プルダウン　：【観測年】を選択するためのプルダウンです。
④ 【Time Step】プルダウン　：【時間間隔】を選択するためのプルダウンです。
⑤ 【Projection】プルダウン　：【投影法】を選択するためのプルダウンです。
⑥ 【Center Location】プルダウン　【中心位置】を選択するためのプルダウンです。
⑦ 【Vertical level】プルダウン　：【鉛直層】を選択するためのプルダウンです。
⑧ 【View】ボタン　：①から⑦の条件で選択された動画を表示します。
⑨ 【Close】リンク　：『全球気体濃度分布動画』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：投影法は 3 種類（平面 / 赤道域球面/ 極域球面）となっています。

赤道域球面



極域球面



投影法によって、【中心位置】は異なります。
【平面】投影法の中心位置は 2 種類（経度 0 度 / 経度 180 度）となっています。
【赤道域球面】投影法の中心位置は 4 種類（経度 0 度 / 経度 180 度 / 東経 90 度 / 西経 90 度）となっています。
【極域球面】投影法の中心位置は 2 種類（北極 / 南極）となっています。

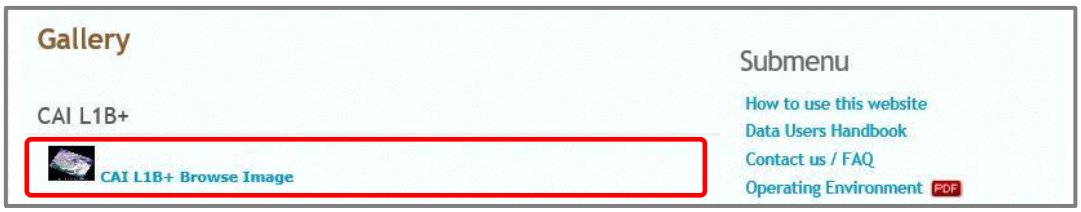
補足事項：時間間隔は 2 種類 （6 時間毎 / 日平均）となっています。

補足事項：動画ファイル形式は mp4 となっています。動画ファイルをコントロールパネルで操作することも可能となっています。

6.14　CAI L1B+ブラウズ画像画面

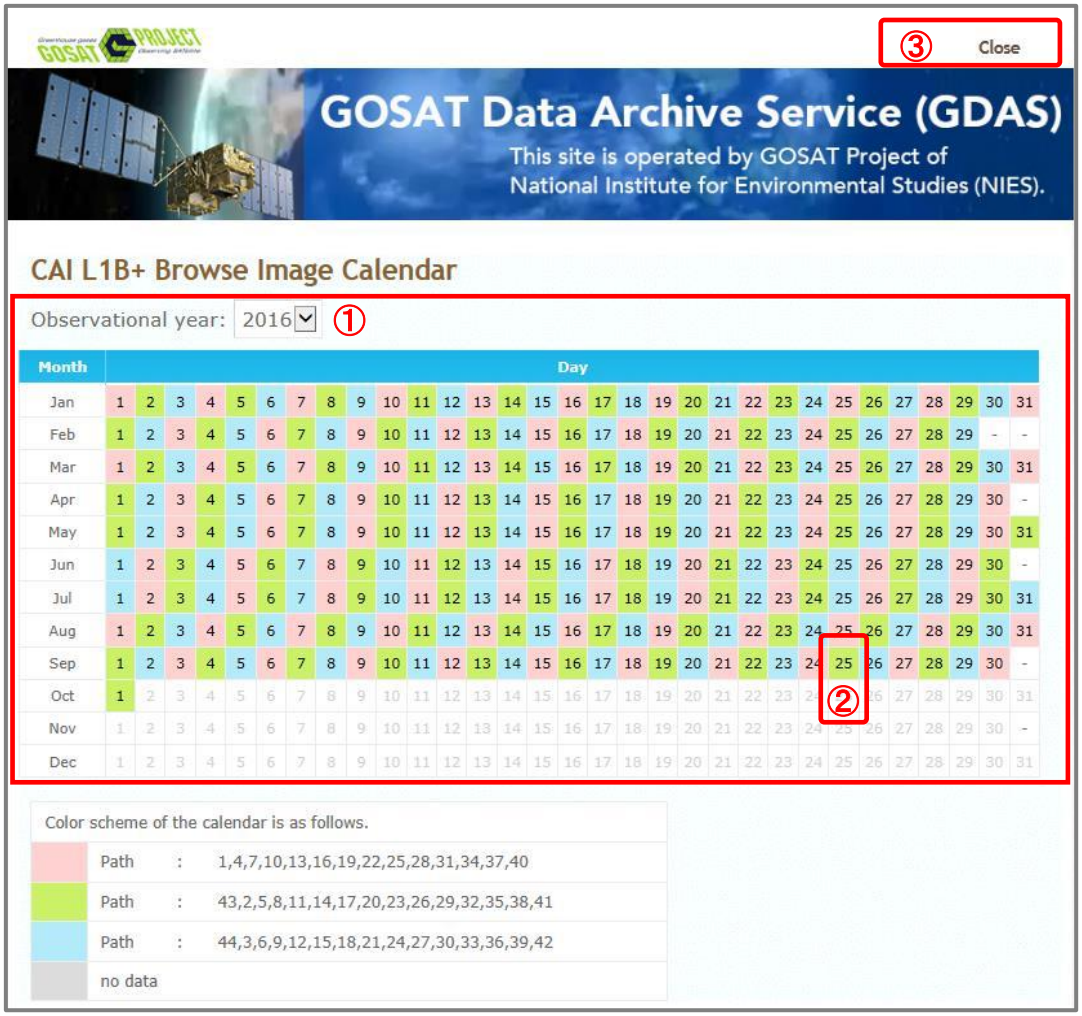
(1) 『CAI L1B+ブラウズ画像』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で 【CAI L1B+ Browse Image】をクリックすると、『CAI L1B+ブラウズ画像』画面（新規画面）に移動します。



⑵ 『CAI L1B+ブラウズ画像』画面

『CAI L1B+ブラウズ画像』で【観測年】（下図①）をプルダウンから選択後に、【日付】（下図②）をクリックすると、選択した観測日の『CAI L1B+ブラウズ画像表示』画面に移動します。



① Observational year ： 表示したい観測年を選択します。 (デフォルトは最新年を表示)

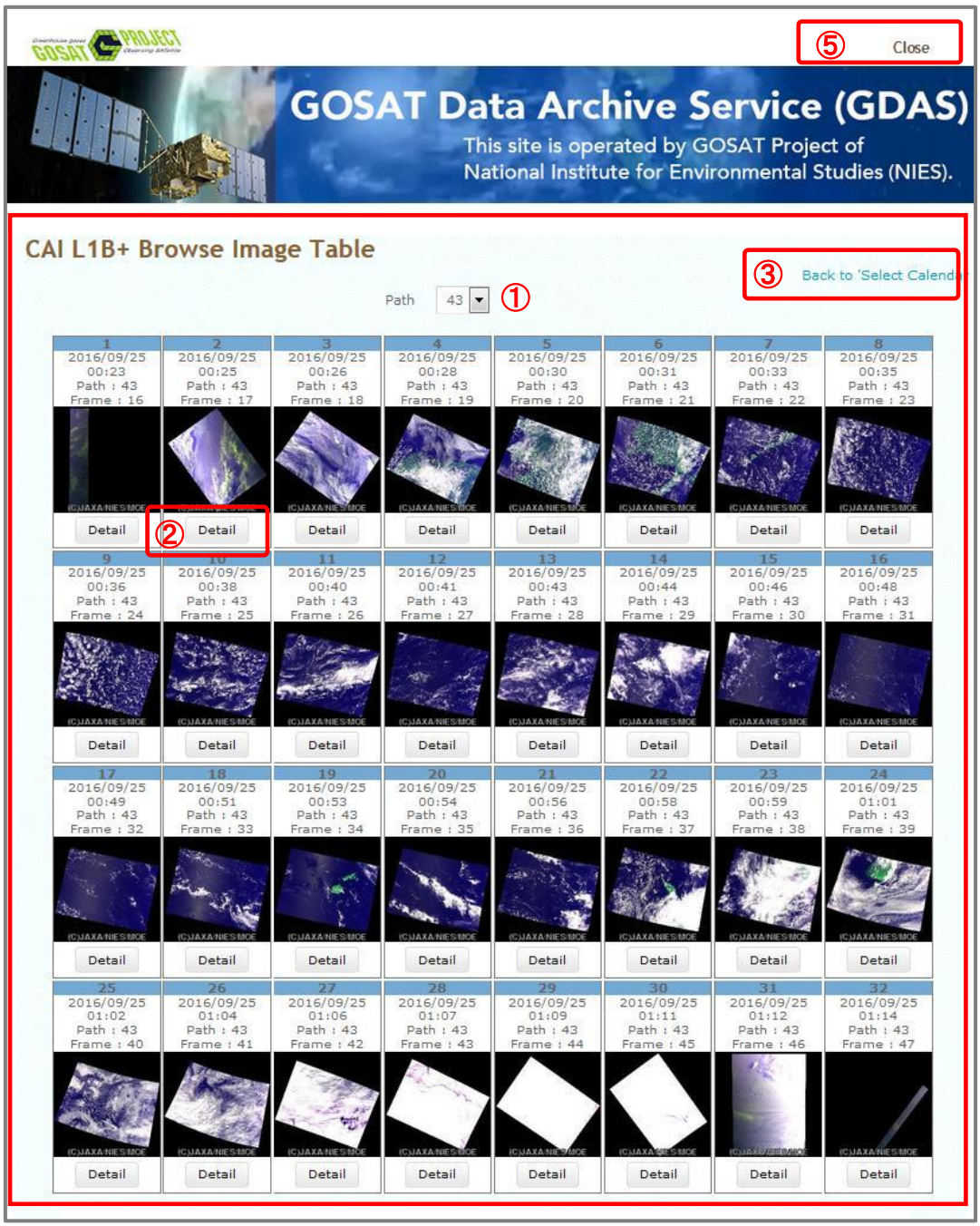
② 日付 ： 観測日毎の『CAI L1B+ブラウズ画像表示』画面へのリンクです。

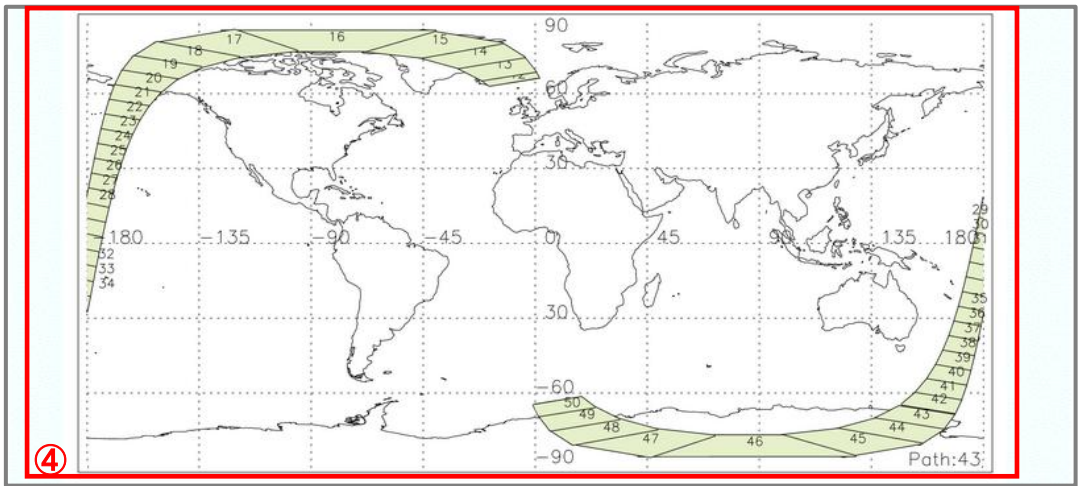
③ 【Close】リンク ： 『CAI L1B+ブラウズ画像』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：カレンダーの背景色は、GOSATの観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

(3) 『CAI L1B+ブラウズ画像表示』画面

観測日のパス単位で CAI L1B+ブラウズ画像の一覧を表示します。 また、拡大表示したいフレーム番号の【Detail】ボタン（下図②）をクリックすると、『CAI L1B+ブラウズ画像の拡大図』画面（新規画面）に移動します。

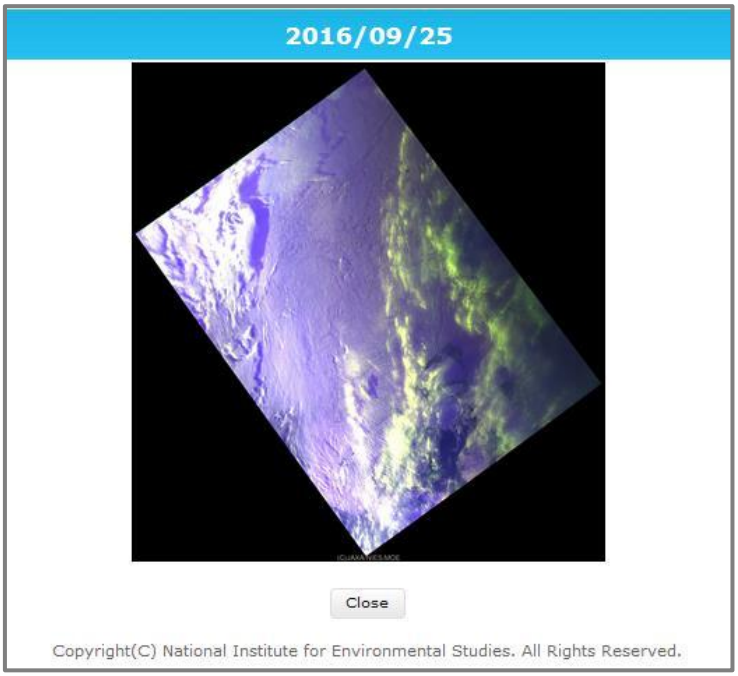




①	Path	：	サムネイル画像の一覧を表示するパス番号です。 (デフォルトは観測日の最初のパス番号を表示)
②	【Detail】ボタン	：	対象フレームの拡大した画面を表示します。
③	【Back to 'Select Calendar'】リンク	：	『CAI L1B+ブラウズ画像』画面に戻るためのリンクです。
④	CAI 観測範囲	：	表示しているパスにおける CAI の最大観測範囲を示した図です。
⑤	【Close】リンク	：	『CAI L1B+ブラウズ画像表示』画面を閉じるためのリンクです。

(4) 『CAI L1B+ブラウズ画像の拡大図』画面

CAI L1B+ブラウズ画像の拡大図を表示します。



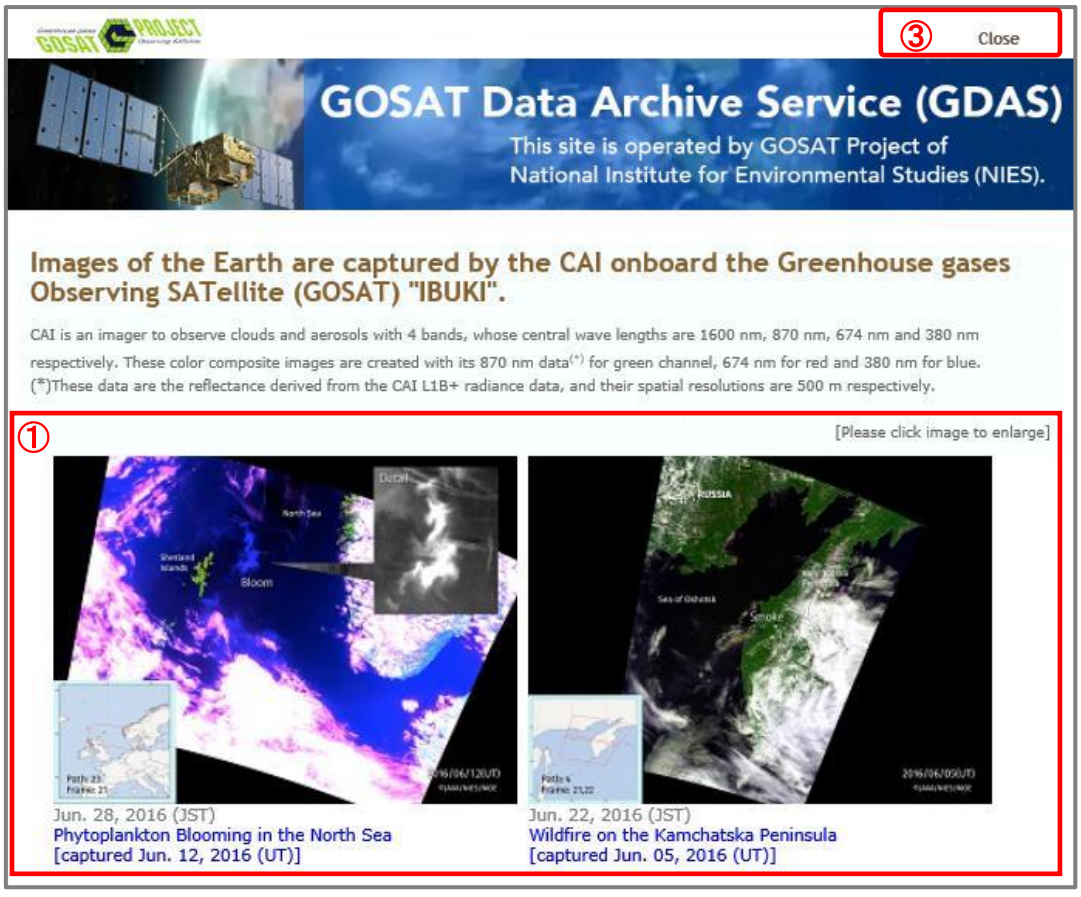
6.15　「いぶき」が捉えた地球の様子画面

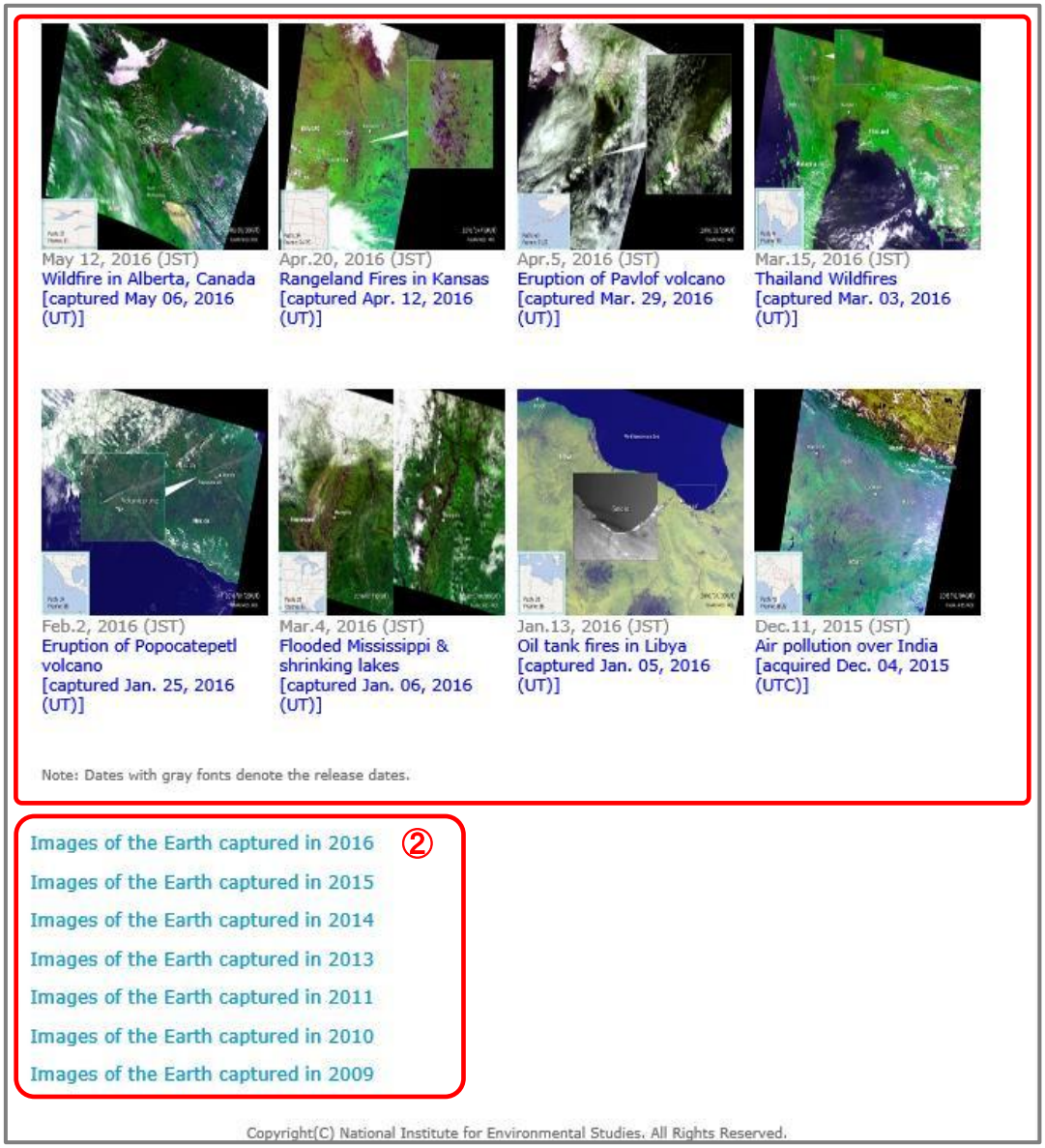
(1) 『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面への移動

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で 【Images of the Earth captured by "IBUKI"】をクリックすると、『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面

「いぶき」が捉えた地球の様子の最新のサムネイル画像を表示します（下図①）。また、【Images of the Earth captured in YYYY】（YYYY は西暦を表します。）（下図②）を、『Images of the Earth captured in YYYY』画面（新規画面）に移動します。



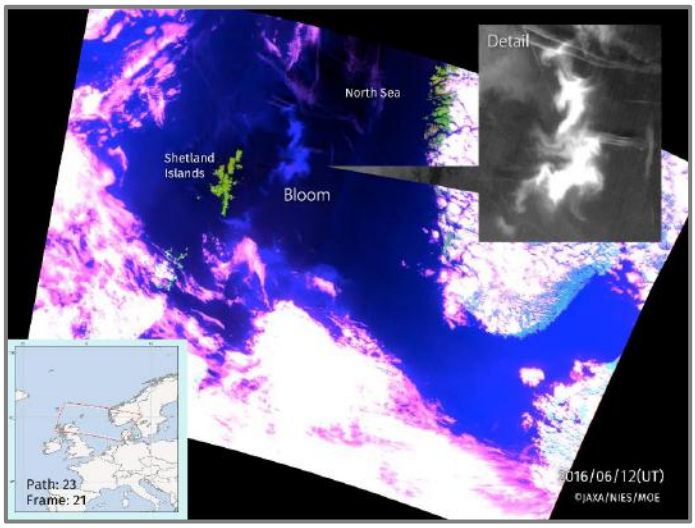


① いぶきの画像 ： 「いぶき」が捉えた最新の画像（10 枚）を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像を表示します（※）。

② 【Images of the Earth captured in YYYY】リンク ： 観測年毎の『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面へのリンクです（YYYY は西暦を表します。）。

③ 【Close】リンク ： 『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面を閉じるためのリンクです。

※拡大した画像の一例



(3) 観測年毎の『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面

クリックした観測年の『「いぶき」が捉えた地球の様子』のサムネイル画像の一覧を表示します。また、各画像（下図①）をクリックすると、拡大画像を表示します。

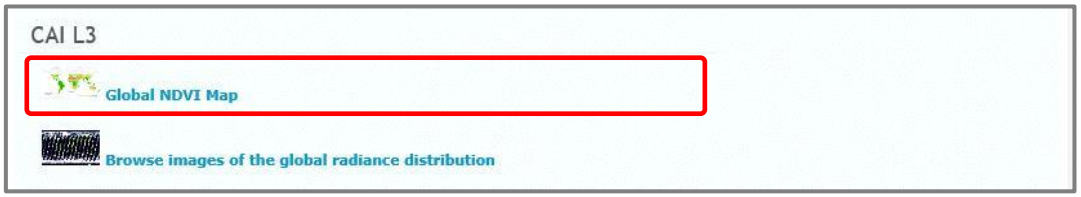
① いぶきの画像　：観測年毎の「いぶき」が捉えた画像を表示します。画像をクリックすると、拡大した画像を表示します。

② 【Close】リンク　：観測年毎の『「いぶき」が捉えた地球の様子』画面を閉じるためのリンクです。

6.16　全球 NDVI 画像画面

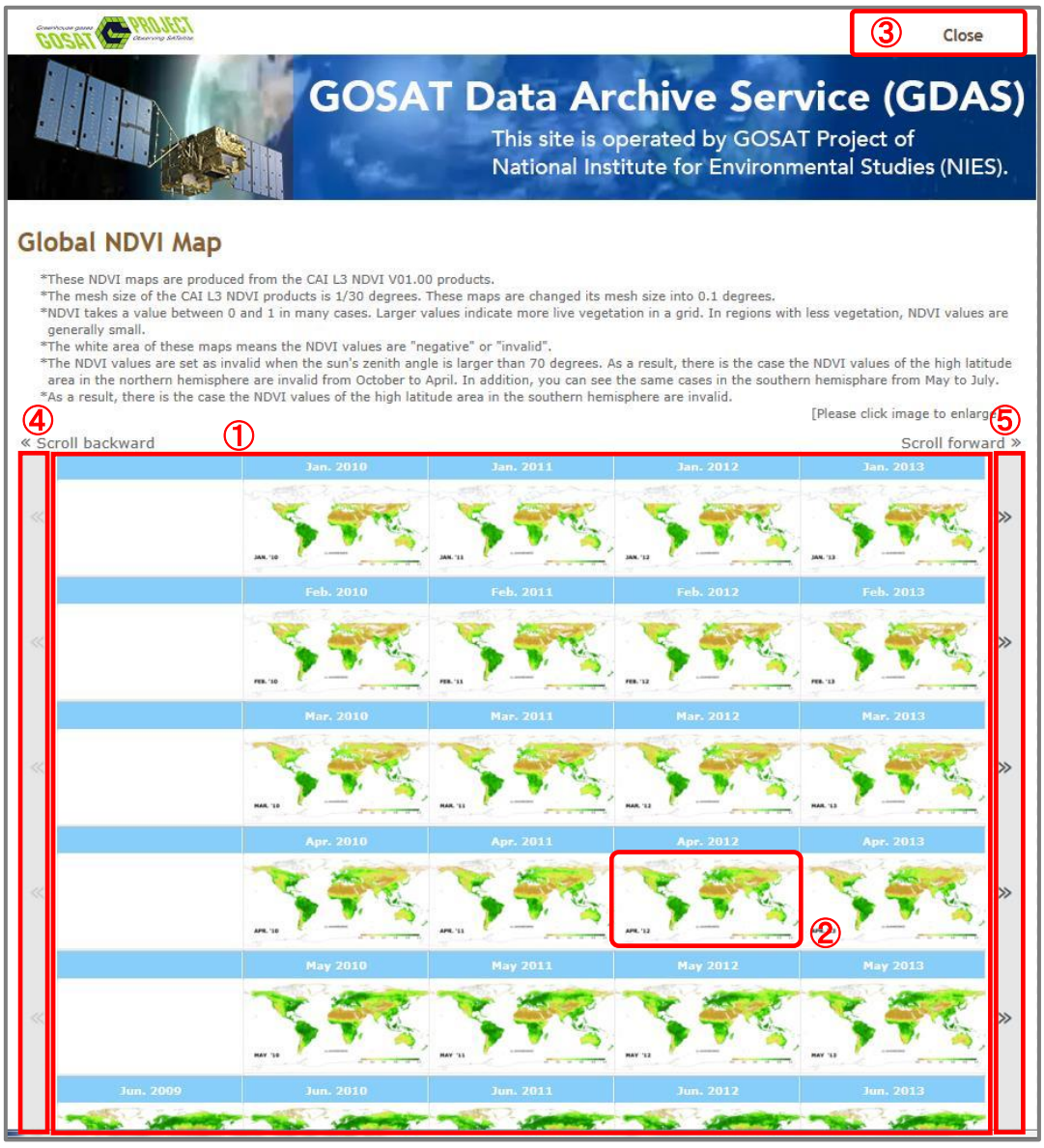
(1) 『全球 NDVI 画像』画面

『ギャラリー』画面（6.1 節参照）で【Global NDVI Map】をクリックすると、『全球 NDVI 画像』画面（新規画面）に移動します。



(2) 『全球 NDVI 画像』画面

全球 NDVI のサムネイル画像一覧を表示します（下図①）。また、各画像（下図②）をクリックすると、『全球 NDVI 画像』拡大画面（新規画面）に移動します。



① 全球 NDVI 画像一覧 ： 全球 NDVI 画像の一覧を表示します。

② サムネイル画像 ： 対象年月の『全球 NDVI 画像』拡大画面へのリンクです。

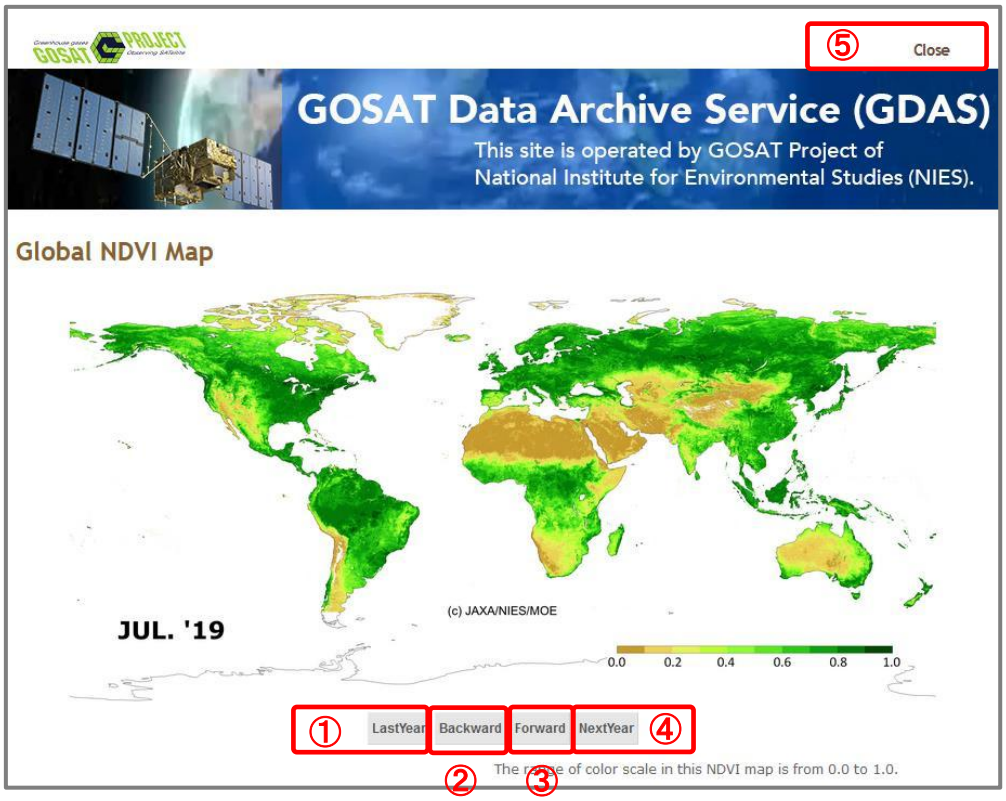
③ 【Close】リンク ： 『全球 NDVI 画像』画面を閉じるためのリンクです。

④ 【《】ボタン ： 表示された画像を、左方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

⑤ 【》】ボタン ： 表示された画像を、右方向に 1 年分横にスクロールするためのボタンです。

(3) 『全球 NDVI 画像』拡大画面

全球 NDVI 画像の拡大図を表示します。【Backward】ボタン（下図②）、【Forward】ボタン（下図③）をクリックすると、前月の画像や翌月の画像を表示します。



① 【LastYear】 ： 前の年の画像を表示するためのボタンです。

② 【Backward】ボタン ： 前の月の画像を表示するためのボタンです。

③ 【Forward】ボタン ： 次の月の画像を表示するためのボタンです。

④ 【NextYear】ボタン ： 次の年の画像を表示するためのボタンです。

⑤ 【Close】リンク ： 『全球 NDVI 画像』拡大画面を閉じるためのリンクです。

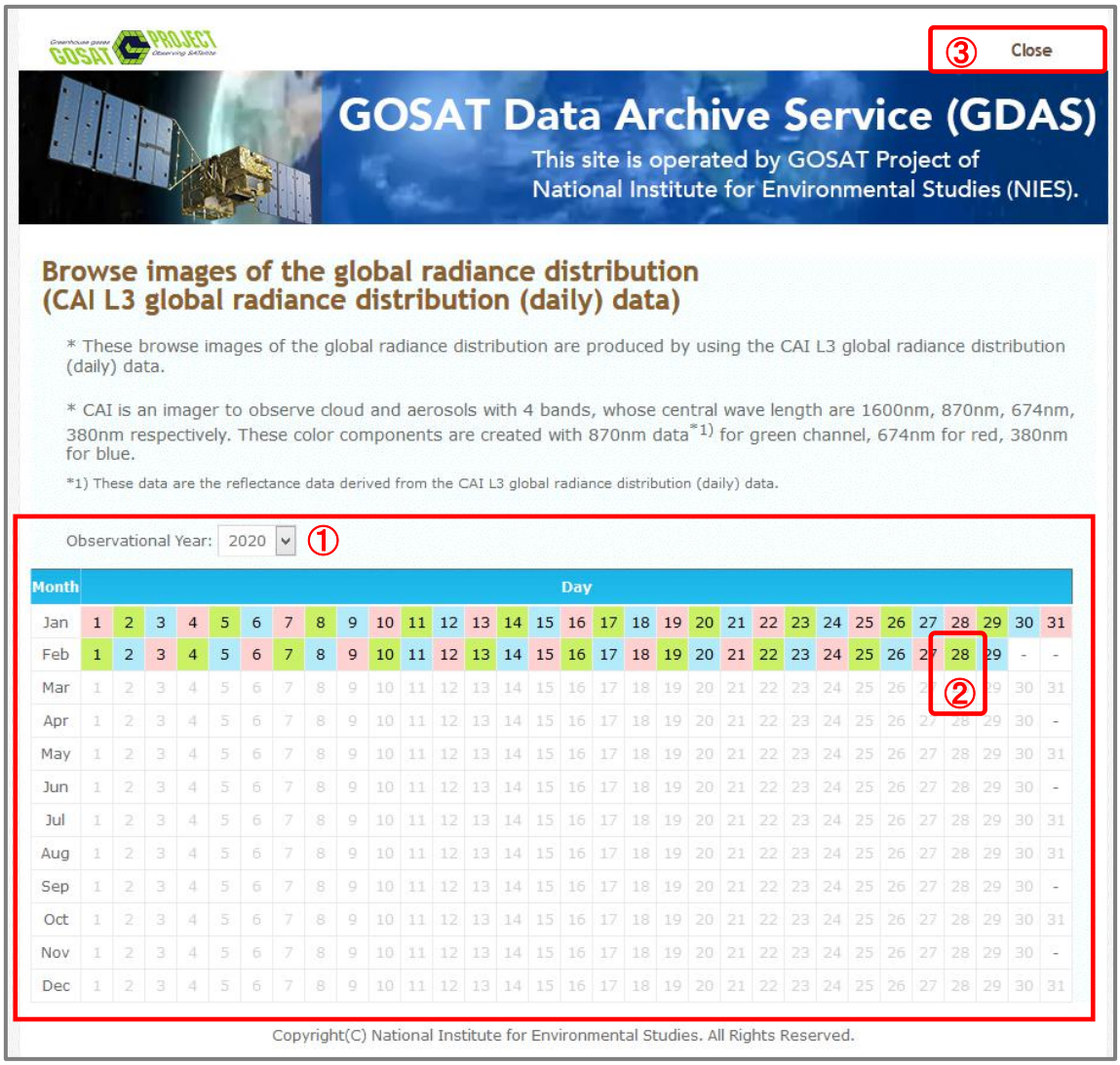
6.17　全球輝度ブラウズ画像画面

(1) 『全球輝度ブラウズ画像』画面

『ギャラリー』画面 (6.1 節参照) で【Browse images of the global radiance distribution】をクリックすると、『全球輝度ブラウズ画像』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『全球輝度ブラウズ画像』画面

『全球輝度ブラウズ画像』画面で【観測年】（下図①）をプルダウンから選択後に、【日付】（下図②）をクリックすると、選択した観測日の 『全球輝度ブラウズ画像表示』画面に移動します。



① Observational year ： 表示したい観測年を選択します。 (デフォルトは最新年を表示)

② 日付 ： 観測日毎の『全球輝度ブラウズ画像表示』画面へのリンクです。

③ 【Close】リンク ： 『全球輝度ブラウズ画像』画面を閉じるためのリンクです。

補足事項：カレンダーの背景色は、GOSAT の観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

(3) 『全球輝度ブラウズ画像表示』画面

全球輝度ブラウズ画像の拡大図を表示します。【Backward】（下図①）、【Forward】（下図②）をクリックすると、前日の画像や翌日の画像を表示します。

① 【Backward】リンク　：　前日の画像を表示するためのリンクです。

② 【Forward】リンク　：　翌日の画像を表示するためのリンクです。

③ 【Close】リンク　：　『全球輝度ブラウズ画像表示』画面を閉じるためのリンクです。

7 ユーザ登録するときの手順

GOSAT プロダクトを取得するためには、最初にユーザ登録を行う必要があります。この章では、ユーザ登録を行うための手順をご説明します。

7.1 ユーザ登録の種別

ユーザ登録の方法には、一般ユーザ登録と特定ユーザ申請の 2 種類があります。
ここで、特定ユーザは GOSAT 研究公募に採択された研究者や研究機関、サイエンスチームおよび協力機関に所属するユーザを指しています。一般ユーザは特定ユーザや NIES 内部利用者を除く、一般のデータユーザを指しています。ユーザ区分については、「13.1 ユーザ区分」を参照して下さい。また、GUIG アカウントを所有している方はユーザ登録の必要はありません。

7.2 一般ユーザ登録を完了するまでの手順

この節では、一般ユーザに対するユーザ登録を行う手順をご説明します。

(1) 『アカウント登録』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のメニューから 『アカウント登録』をクリックすると、『アカウント登録』画面（新規画面）に移動します。

⑵ 『アカウント登録』画面

一般ユーザ向けアカウントの登録方法を表示します。一般ユーザ向けの【利用規約へ】ボタン（下図①）をクリックすると、一般ユーザ向けの『利用規約』画面に移動します。

① 【利用規約へ】ボタン　：　一般ユーザ向けの『利用規約』画面に移動するためのボタンです。

② 【閉じる】ボタン　：　『アカウント登録』画面を閉じるためのボタンです。

(3) 一般ユーザ向けの『利用規約』画面

一般ユーザ向けの利用規約（下図①）が表示されます。GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱を確認する場合は、【個人情報の取扱について】（下図④）をクリックすると、『個人情報の取扱について』画面（新規画面）に移動します（(4)の手順へ）。

次に【同意する】ボタン（下図②）をクリックすると、『一般ユーザ新規登録』画面に移動します（(6)の手順へ）。

① 利用規約 ： GDAS の利用規約を表示します。

② 【同意する】ボタン ： GDAS の利用規約に同意したことを示すボタンです。『一般ユーザ新規登録』画面に移動するためのボタンです。

③ 【同意しない】ボタン ： GDAS の利用規約に同意出来ないことを示すボタンです。

④ 【個人情報の取扱について】リンク ： 『個人情報の取扱について』画面へのリンクです。

(4) 『個人情報の取扱について』画面

GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱に関する情報（下図①）が表示されます。国立環境研究所のプライバシーポリシーを確認する場合は、【国立環境研究所のプライバシーポリシー】（下図③）をクリックすると、『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面（新規画面）に移動します（(5)の手順へ）。

①	個人情報の取扱	： GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱を表示します。
②	【閉じる】リンク	： 個人情報の取扱の内容を確認した場合にクリックすると、『個人情報の取扱について』画面を閉じます。
③	【国立環境研究所のプライバシーポリシー】リンク	： 国立環境研究所の個人情報の取扱を確認する場合にクリックすると、新規画面として開きます。

(5) 『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面

国立環境研究所の個人情報の取扱に関する情報が表示されます。確認後に、Web ブラウザの閉じるボタンで画面を閉じます。

Web ブラウザの閉じるボタン　：　国立環境研究所の個人情報の取扱に関する情報を確認したら、『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面を閉じます。

(6) 『一般ユーザ新規登録』画面

一般ユーザの新規登録用入力フォームに登録情報を記入します。記入完了後に、【登録】ボタン（下図②）をクリックすると、『一般ユーザ新規登録確認』画面に移動します。

①	一般ユーザ登録フォーム	： 一般ユーザ登録に必要な全ての項目を記入します。
②	【登録】ボタン	： アカウント登録を行うためのボタンです。
③	【ユーザ登録に戻る】ボタン	： 『アカウント登録』画面に戻るためのボタンです。
④	エラーメッセージ	： 入力項目のエラー内容を表示します。

重要事項：一般ユーザの新規登録を行う場合、すべての項目を記入する必要があります。

(7) 『一般ユーザ新規登録確認』画面

一般ユーザの新規登録用入力フォームに記入した内容が表示されます。内容確認後に、【登録】ボタン（下図②）をクリックすると、『一般ユーザ新規登録完了』画面に移動します。

① 登録内容　　：アカウント登録内容を表示します。

② 【登録】ボタン　　：アカウント登録を実行するためのボタンです。

③ 【戻る】ボタン　　：『一般ユーザ新規登録』画面に戻るためのボタンです。

補足事項：入力事項に誤りがあることが分かった場合には、上図③の【戻る】ボタンで『一般ユーザ新規登録』画面に戻り、登録内容を修正して下さい。

(8) 『一般ユーザ新規登録完了』画面

一般ユーザ新規登録が完了し、仮パスワードが記述されたメールを送付したことを表示します。

① 登録完了　　：アカウント登録完了を表示します。

② 【閉じる】ボタン　　：『一般ユーザ新規登録完了』画面を閉じるためのボタンです。

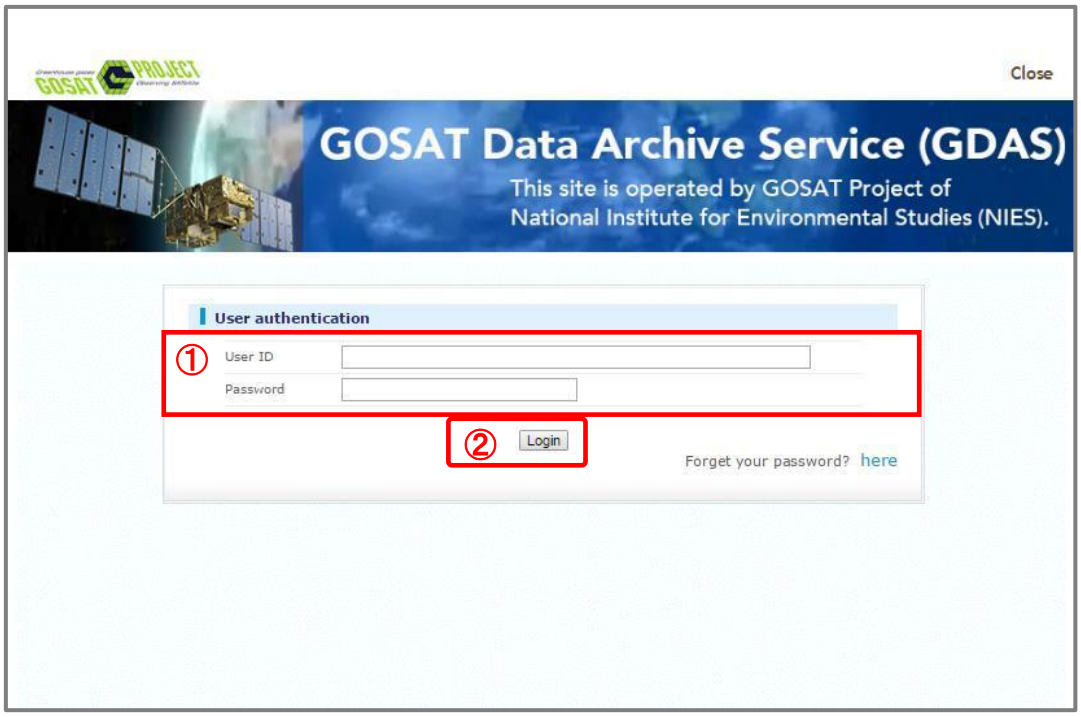
重要事項：一般ユーザ登録後に、仮パスワードを記述した下記のメールが送付されます。

```
このたびは、GOSAT Data Archive Service(GDAS) に
ご登録いただきありがとうございました。
GOSAT Data Archive Service(GDAS) サービスをご利用いただく上で
必要なユーザＩＤと仮パスワードをお知らせいたします。

ただいま、一般ユーザとして仮登録を行っております。
お手数ですが、以下のユーザIDと仮パスワードで、パスワードの
変更手続きを行って下さい。なお、本メール発行後、7日以内に本パス
ワードの発行を行っていただかないと、ユーザIDは無効となりますので、
必ず、7日以内にログインを行ってください。

ログインページ　　：
ユーザID　　：
仮パスワード　　：

**********************************************************************
このメッセージは、自動的に送信されています。
このメールに直接返信してもお問い合わせいただくことはできません。
ご了承ください。
**********************************************************************

【重要】
 このメールの内容に覚えがない場合や、システムに関するお問い合わせは、
 その旨をお書き添えの上、　　までご返信ください。
```

仮パスワードを記述されたメールを受領後、メールに記載されたログインページに移動します（(9)の手順へ）。

(9) 『ログイン』画面

ログインフォーム(下図①)にメールに記載されたユーザ ID と仮パスワードを記入します。記入完了後に【Login】ボタンをクリックすると、『初期パスワード変更』画面に移動します。



① ログインフォーム : アカウント登録済のユーザ ID と仮パスワードを入力します。

② 【Login】ボタン : ログインするためのボタンです。

補足事項：入力ミスがあった場合には、修正箇所を赤色で表示します。

(10)　　『初期パスワード変更』画面

新しいパスワードの登録フォームに新しいパスワードを記入します。記入完了後に、【Update】ボタンをクリックすると、9.1 Webサイトを使用したダウンロードに移動します。

① パスワード変更フォーム　：新しいパスワードを入力します。

② 【Update】ボタン　：パスワード変更を実行するボタンです。

③ 【Logout】ボタン　：『初期パスワード変更』画面を終了するためのボタンです。
（パスワード変更は実行されません）

重要事項：パスワードは、少なくとも以下の２つの条件を満たす必要があります。

①大文字（A～Z）

②小文字（a～z）

③数字（0～9）

④特殊文字（!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~）

※スペースは使用出来ません。

7.3 特定ユーザ申請が完了するまでの手順

この節では、特定ユーザに対する申請を行う手順をご説明します。

(1) 『アカウント登録』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のメニューから 『アカウント登録』をクリックすると、『アカウント登録』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『アカウント登録』画面

特定ユーザ向けアカウントの登録方法を表示します。特定ユーザ向けの【利用規約へ】ボタン（下図②）をクリックすると、特定ユーザ向けの『利用規約』画面に移動します。

① 【利用規約へ】ボタン　：　特定ユーザ向けの『利用規約』画面に移動するためのボタンです。

② 【閉じる】ボタン　：　『アカウント登録』画面を閉じるためのボタンです。

(3) 特定ユーザ向けの『利用規約』画面

特定ユーザ向けの利用規約（下図①）が表示されます。GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱を確認する場合は、【個人情報の取扱について】（下図④）をクリックすると、『個人情報の取扱について』画面（新規画面）に移動します（(4)の手順へ）。

次に【同意する】ボタン（下図②）をクリックすると、『特定ユーザ利用申請』画面に移動します（(6)の手順へ）。

① 利用規約 ： GDAS の利用規約を表示します。

② 【同意する】ボタン ： 『特定ユーザ新規登録』画面に移動するためのボタンです。

③ 【同意しない】ボタン ： 『アカウント登録』画面に戻るためのボタンです。

④ 【個人情報の取扱について】リンク ： 『個人情報の取扱について』画面へのリンクです。

(4) 『個人情報の取扱について』画面

GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱に関する情報（下図①）が表示されます。国立環境研究所のプライバシーポリシーを確認する場合は、【国立環境研究所のプライバシーポリシー】（下図③）をクリックすると、『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面（新規画面）に移動します（(5)の手順へ）。

① 個人情報の取扱 ： GOSAT プロジェクトの個人情報の取扱を表示します。

② 【閉じる】リンク ： 個人情報の取扱の内容を確認した場合にクリックすると、『個人情報の取扱について』画面を閉じます。

③ 【国立環境研究所のプライバシーポリシー】リンク ： 国立環境研究所の個人情報の取扱を確認する場合にクリックすると、新規画面として開きます。

(5) 『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面

国立環境研究所の個人情報の取扱に関する情報が表示されます。確認後に、Web ブラウザの閉じるボタンで画面を閉じます。

Web ブラウザの閉じるボタン　：　国立環境研究所の個人情報の取扱に関する情報を確認したら、『国立環境研究所のプライバシーポリシー』画面を閉じます。

(6) 『特定ユーザ利用申請』画面

特定ユーザ利用申請の方法が表示されます。【申請書ダウンロード】（下図②）をクリックすると、特定ユーザ利用申請書をダウンロードします。

① 申請方法についての説明	： 申請方法についての説明を表示します。
② 【申請書ダウンロード】ボタン	： 「特定ユーザ利用申請書」をダウンロードするためのボタンです。
③ 【ユーザ登録に戻る】ボタン	： 『アカウント登録』画面に戻るためのボタンです。

ダウンロードした「特定ユーザ利用申請書」に必要事項を記入の上、特定ユーザ利用申請書送付先メールアドレス「gosat-apply@nies.go.jp」に送付下さい。

GOSATプロジェクトにて特定ユーザの確認が行われ、その結果が通知されます。

8　ログイン・ログアウトするときの手順

この章では、GDAS の登録ユーザ用サイトにログインするための手順、GDAS の登録ユーザ用サイトからログアウトするための手順、および、GDAS ログイン用のパスワードを再設定するときの手順をご説明します。

8.1 ログイン

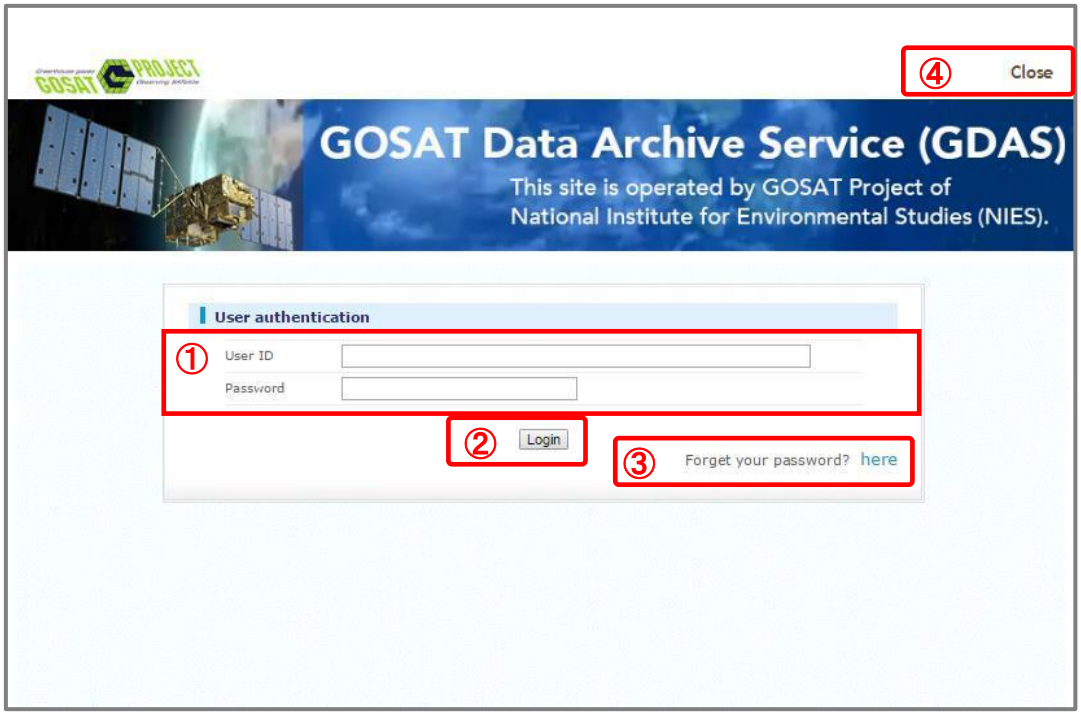
この節では、GDAS の登録ユーザ用サイトにログインするための手順をご説明します。

(1) 『ログイン』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のメニューから『ログイン』をクリックすると、『ログイン』画面（新規画面）に移動します。

(2) 『ログイン』画面

ログインフォーム（下図①）にログイン情報を記入します。記入完了後に【Login】ボタンをクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

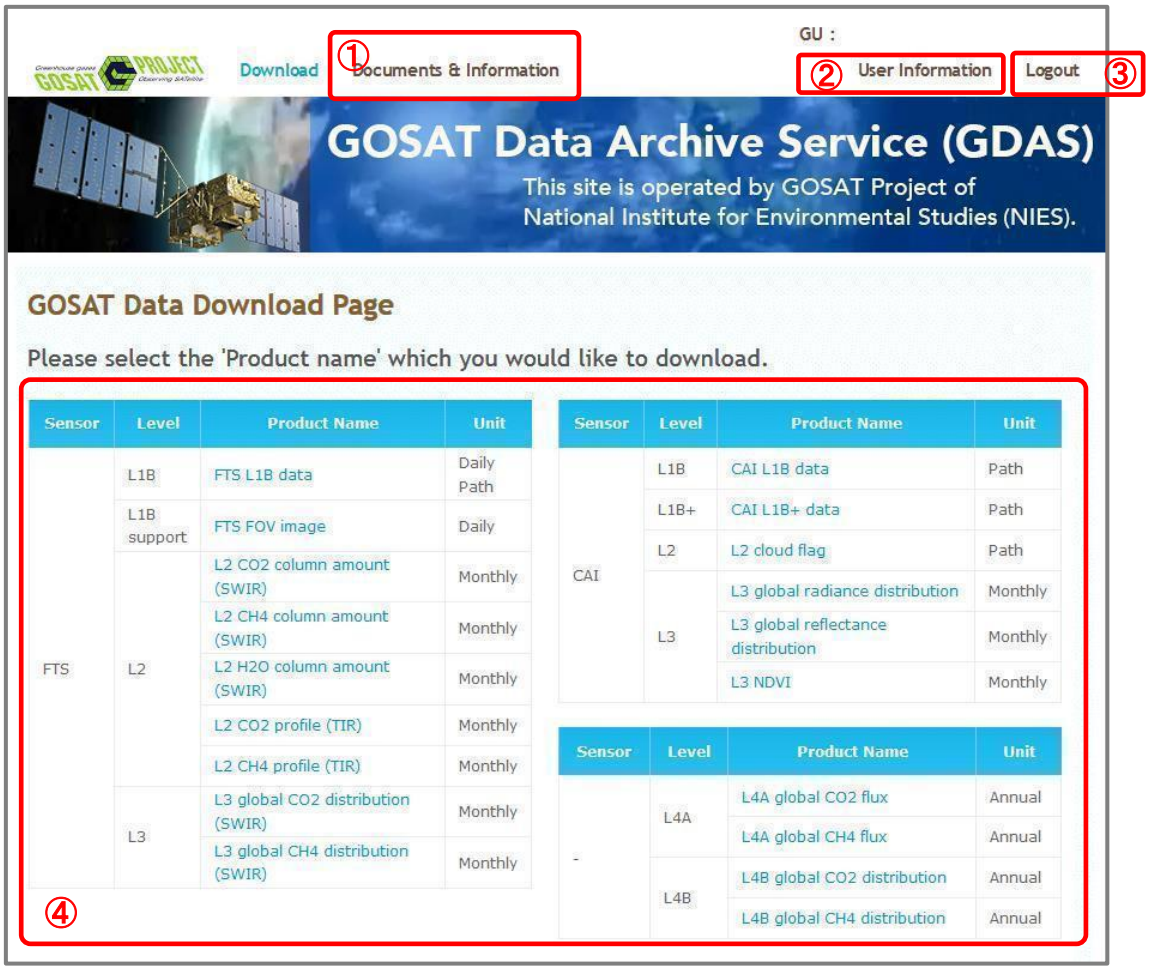


① ログインフォーム　：　アカウント登録済のユーザ ID とパスワードを入力します。
② 【Login】ボタン　：　ログインするためのボタンです。
③ 【here】ボタン　：　『パスワード再設定』画面へのリンクです。
④ 【Close】ボタン　：　『ログイン』画面を閉じるためのボタンです。

補足事項：入力ミスがあった場合には、修正箇所を赤色で表示します。

(3) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します（下図④）。各プロダクト名をクリックすると、ダウンロード画面に移動します（詳細は 9.1 節参照）。



Sensor	Level	Product Name	Unit
FTS	L1B	FTS L1B data	Daily Path
	L1B support	FTS FOV image	Daily
	L2	L2 CO2 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CH4 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 H2O column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CO2 profile (TIR)	Monthly
		L2 CH4 profile (TIR)	Monthly
	L3	L3 global CO2 distribution (SWIR)	Monthly
		L3 global CH4 distribution (SWIR)	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
CAI	L1B	CAI L1B data	Path
	L1B+	CAI L1B+ data	Path
	L2	L2 cloud flag	Path
	L3	L3 global radiance distribution	Monthly
		L3 global reflectance distribution	Monthly
		L3 NDVI	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
-	L4A	L4A global CO2 flux	Annual
		L4A global CH4 flux	Annual
	L4B	L4B global CO2 distribution	Annual
		L4B global CH4 distribution	Annual

① 【Documents & Information】リンク ： ログインユーザのユーザ区分に合わせて、ドキュメントや技術情報等の一覧を表示する『ドキュメント＆技術情報』画面へのリンクです。

② 【User Information】リンク ： ログインユーザ情報を変更するための『ユーザ登録変更』画面へのリンクです。

③ 【Logout】リンク ： ポップアップ画面を表示し、ログアウトするためのリンクです。

④ メイン画面 ： ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得出来るプロダクトの一覧を表示します。

重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

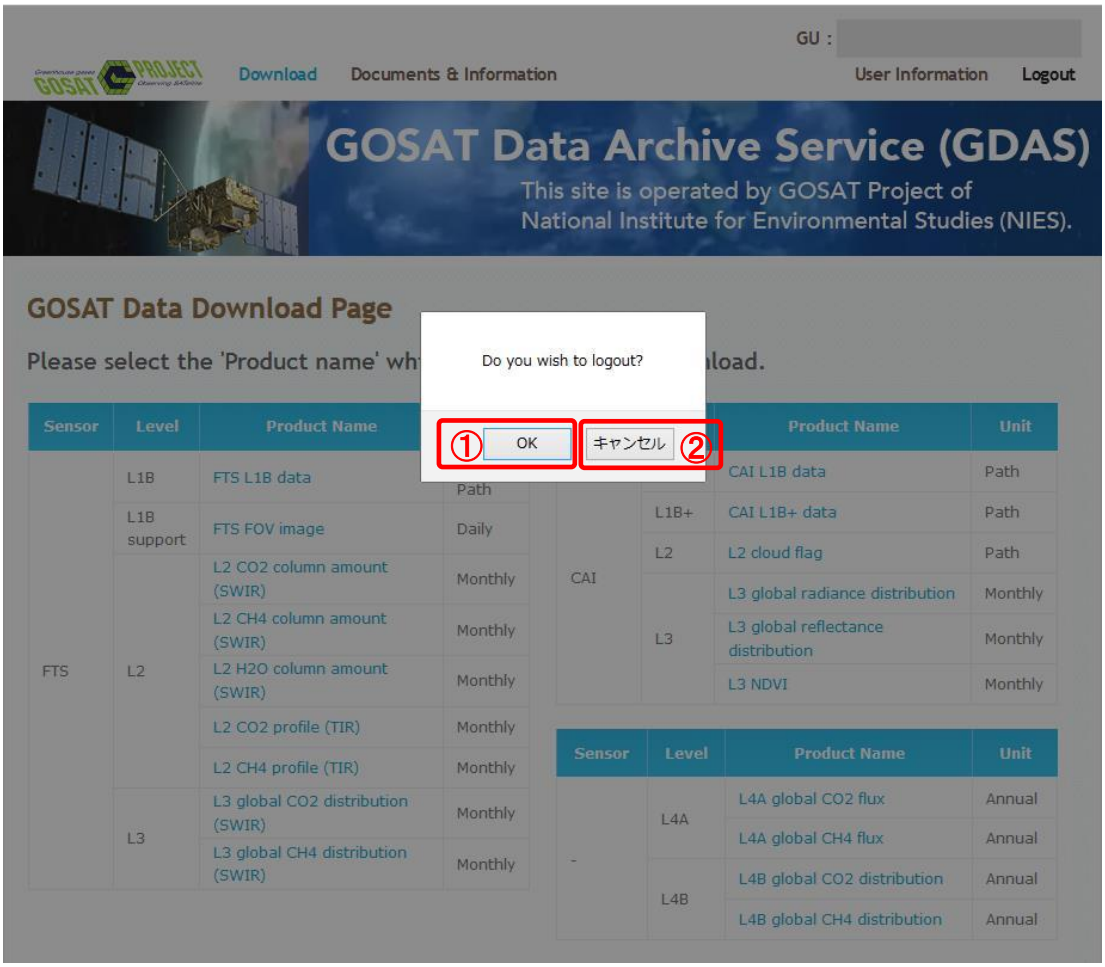
8.2 ログアウト

この節では、GDAS の登録ユーザ用サイトからログアウトするための手順をご説明します。

(1) 『ログアウト』操作

『ダウンロード』画面（8.1 節(3)参照）のメニューで 『Logout』をクリックすると、ポップアップ画面を表示します。

ログアウトを行う場合は【OK】ボタン（下図①）をクリックします（クリック後、『ログアウト』画面に移動します。）。

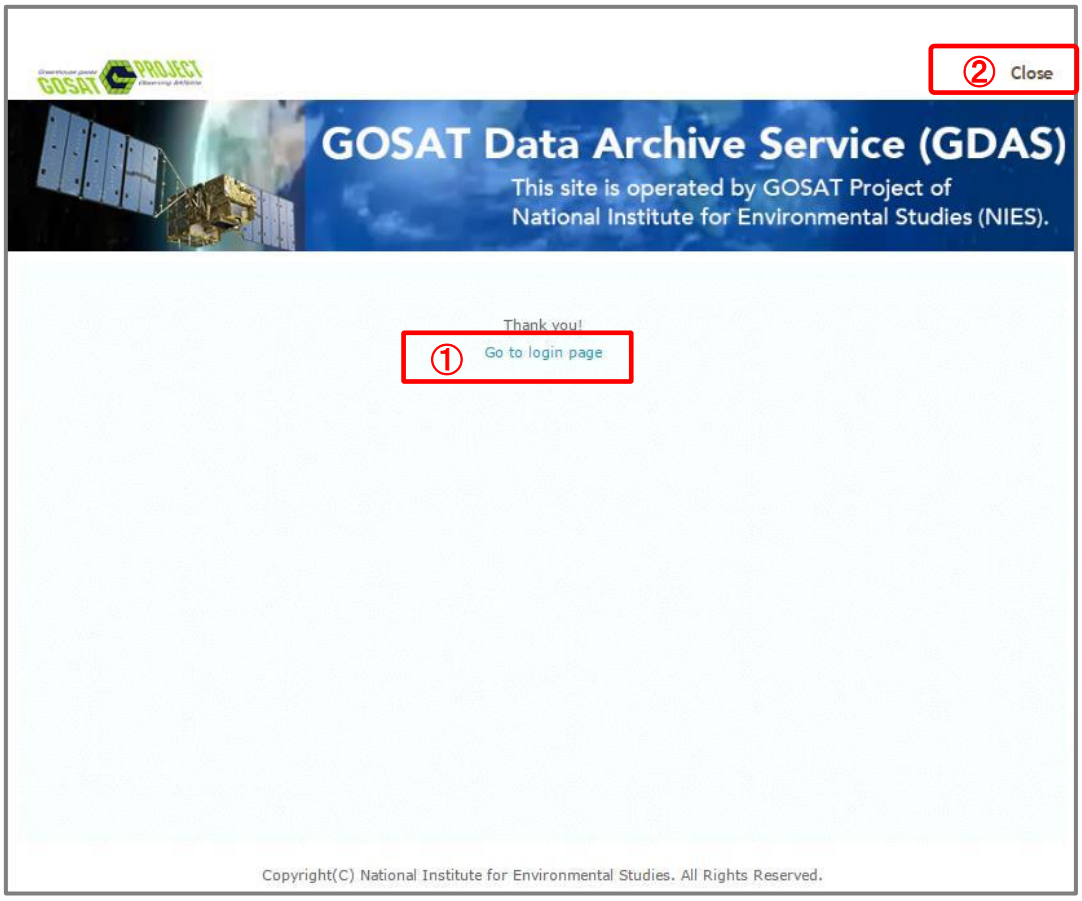


① 【OK】ボタン　：　ログアウトするためのボタンです。

② 【キャンセル】ボタン　：　ログアウトをキャンセルするためのボタンです。

⑵ 『ログアウト』画面

ログアウトが完了したことを表示します。



① 【Go to login page】リンク　：『ログイン』画面に移動するためのリンクです。

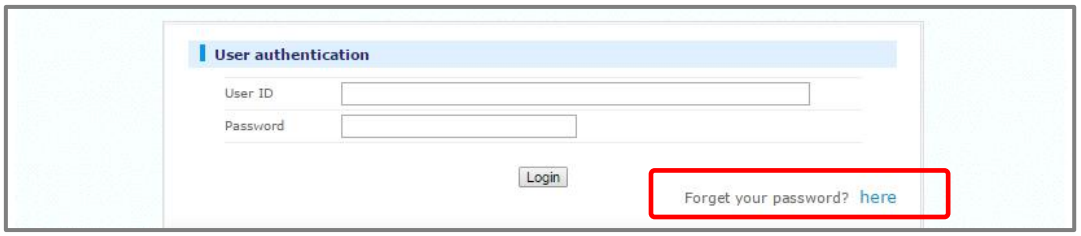
② Close リンク　：『ログアウト』画面を閉じるためのリンクです。

8.3 パスワードを再設定するときの手順

この節では、パスワードを忘れてしまったときなどに、パスワードを再設定（パスワードリセット）するための手順を説明します。

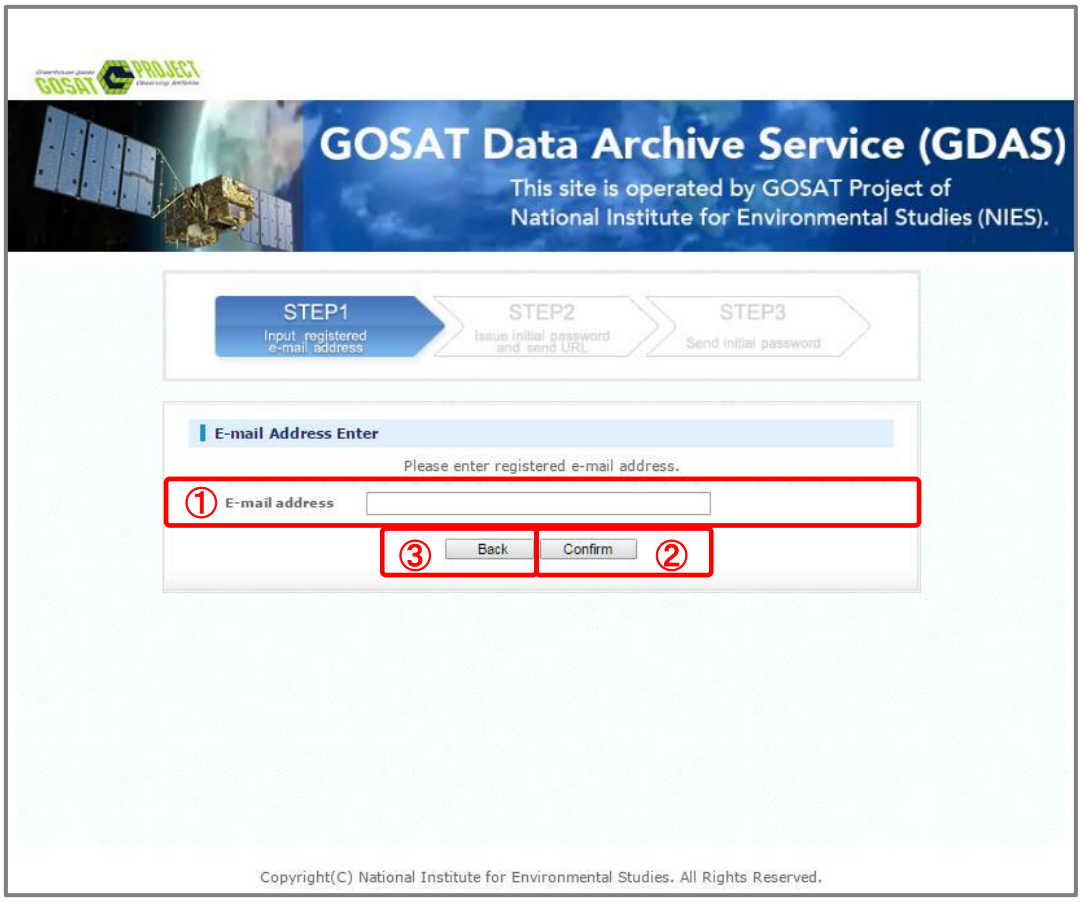
(1) 『パスワードリセット入力』画面への移動

『ログイン』画面（8.1 節(2)参照）で【here】をクリックすると、『パスワードリセット入力』画面に移動します。



(2) 『パスワードリセット入力』画面

パスワードリセットを行うメールアドレスの入力フォーム（下図①）にメールアドレスを記入します。記入完了後に【Confirm】ボタン（下図②）をクリックすると、『パスワードリセット申請』画面に移動します。



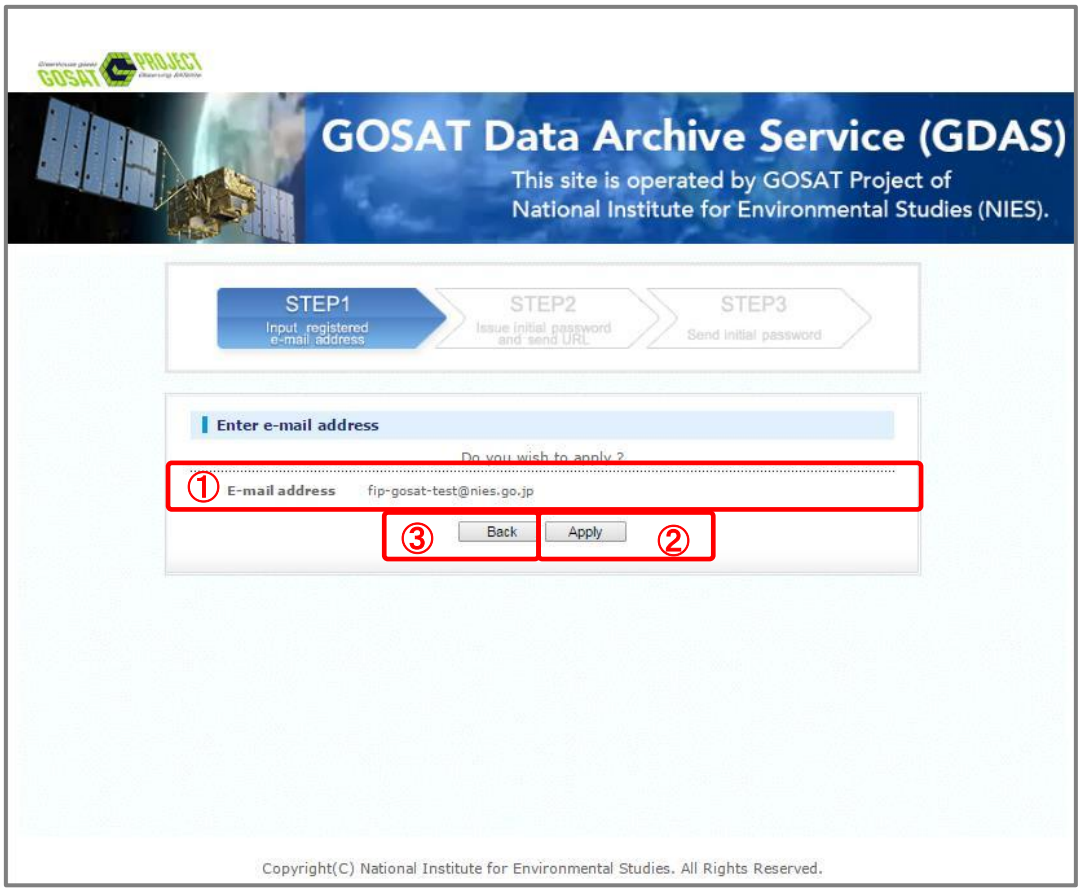
① E-mail address ： パスワードの再設定したいメールアドレスを入力します。

② 【Confirm】ボタン ： 『パスワードリセット申請』画面に移動するためのボタンです。

③ 【Back】ボタン ： 『ログイン』画面を戻るためのボタンです。

(3) 『パスワードリセット申請』画面

入力したメールアドレスが表示されます。確認後に【Apply】ボタン（下図②）をクリックすると、『パスワードリセット受付』画面に移動します。



① 登録内容　　：メールアドレスを表示します。

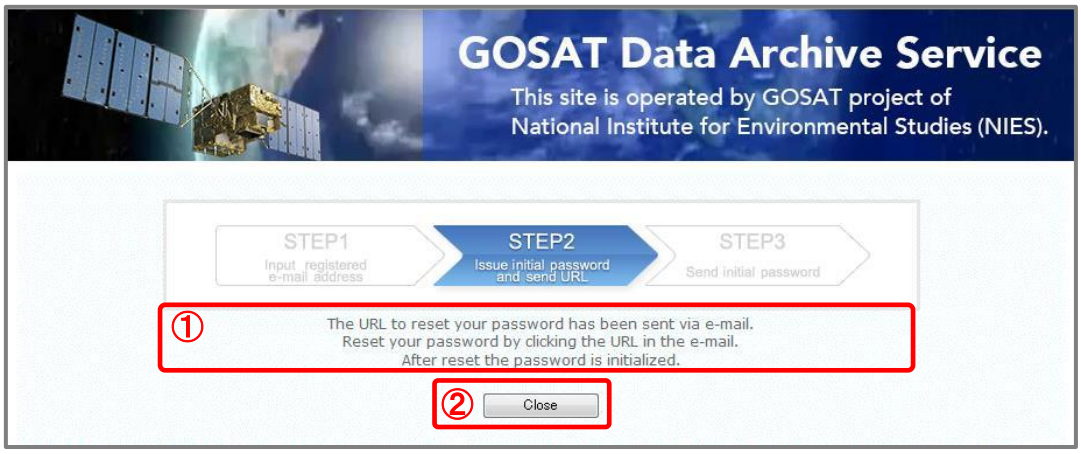
② 【Apply】ボタン　　：パスワードのリセットを申請するためのボタンです。

③ 【Back】ボタン　　：『パスワードリセット入力』画面に戻るためのボタンです。

補足事項：メールアドレスに誤りがあることが分かった場合には、上図③の【Back】ボタンで『パスワードリセット入力』画面に戻り、メールアドレスを修正して下さい。

(4) 『パスワードリセット受付』画面

パスワードリセットの受付が完了し、パスワードリセットの受付確認用メールが送付されたことを表示します。



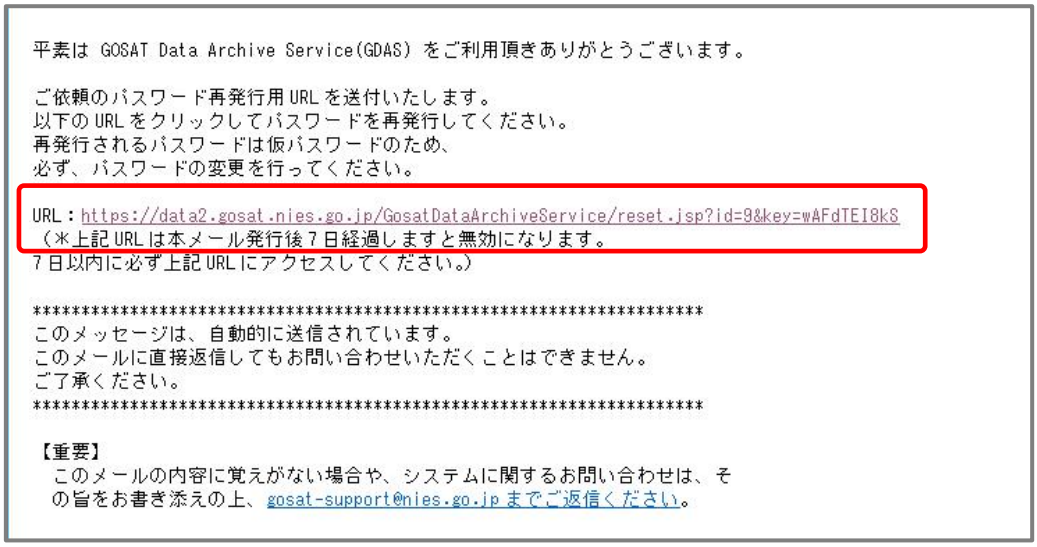
① 受付完了の説明　　：パスワードの再設定の受付完了の説明を表示します。

② 【Close】ボタン　　：『パスワードリセット受付』画面を閉じるためのボタンです。

重要事項：パスワードリセットの受付が完了すると、入力したメールアドレスに、確認用メールが送信されます。

(5) パスワードリセット確認用受信メール

確認用受信メールに記載された URL にアクセスして下さい。次のページに示す『パスワードリセット完了』画面が表示されます。



平素は GOSAT Data Archive Service(GDAS) をご利用頂きありがとうございます。

ご依頼のパスワード再発行用 URL を送付いたします。
以下の URL をクリックしてパスワードを再発行してください。
再発行されるパスワードは仮パスワードのため、
必ず、パスワードの変更を行ってください。

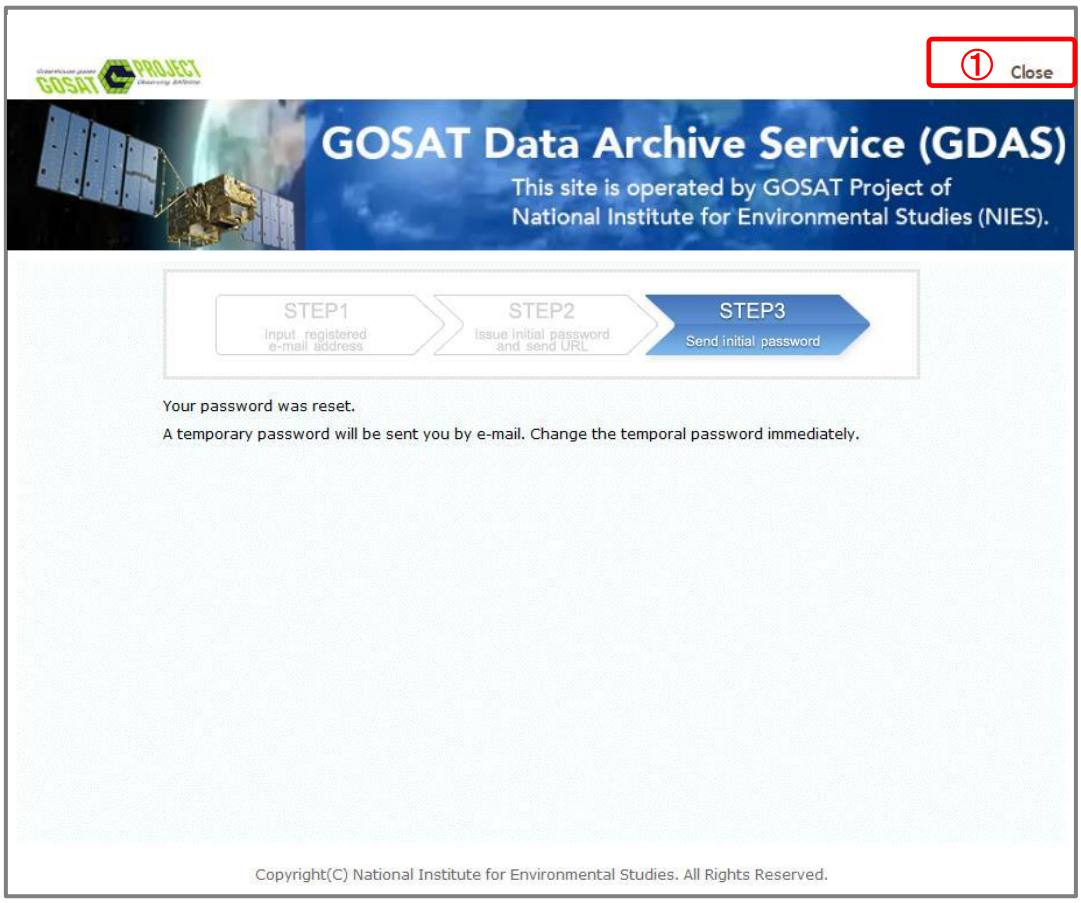
URL：https://data2.gosat.nies.go.jp/GosatDataArchiveService/reset.jsp?id=9&key=wAFdTEI8kS
（＊上記 URL は本メール発行後 7 日経過しますと無効になります。
7 日以内に必ず上記 URL にアクセスしてください。）

****
このメッセージは、自動的に送信されています。
このメールに直接返信してもお問い合わせいただくことはできません。
ご了承ください。
****

【重要】
このメールの内容に覚えがない場合や、システムに関するお問い合わせは、その旨をお書き添えの上、gosat-support@nies.go.jp までご返信ください。

(6) 『パスワードリセット完了』画面

パスワードリセットが完了し、再設定したパスワードが記述されたメールを送付したことを表示します。



① 【Close】ボタン　　：『パスワードリセット完了』画面を閉じるためのボタンです。

重要事項：再設定したパスワードを記述したメールを送付します。メールに記載されたパスワード変更画面にアクセスし、『パスワード変更』画面に移動します。

9　プロダクトをダウンロードするときの手順

GOSAT プロダクトをダウンロードするには、以下の 2 種類の方法があります。それぞれの方法について、この章でご説明します。

・Web サイトを使用したダウンロード
・WGET コマンドを使用したダウンロード

9.1 Web サイトを使用したダウンロード

この節では、GOSAT プロダクトの提供単位毎に、Web サイトを使用したプロダクトダウンロードの手順をご説明します。

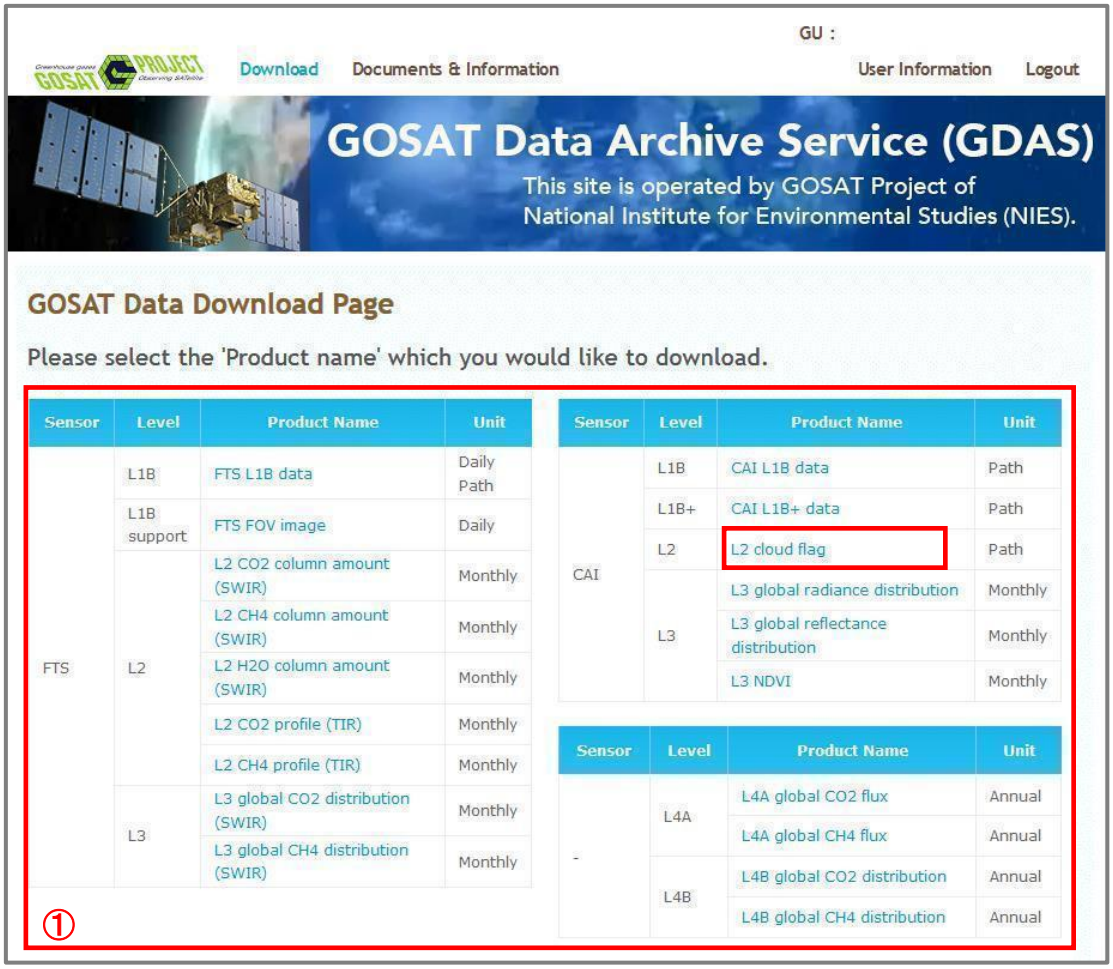
9.1.1　パス単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、パス単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L2 cloud flag プロダクトをダウンロードするための手順を示します（パス単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

(1) 『ダウンロード』画面への移動
8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。
ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。パス単位のプロダクト（例として、L2 cloud flag）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（パス単位）』画面に移動します。



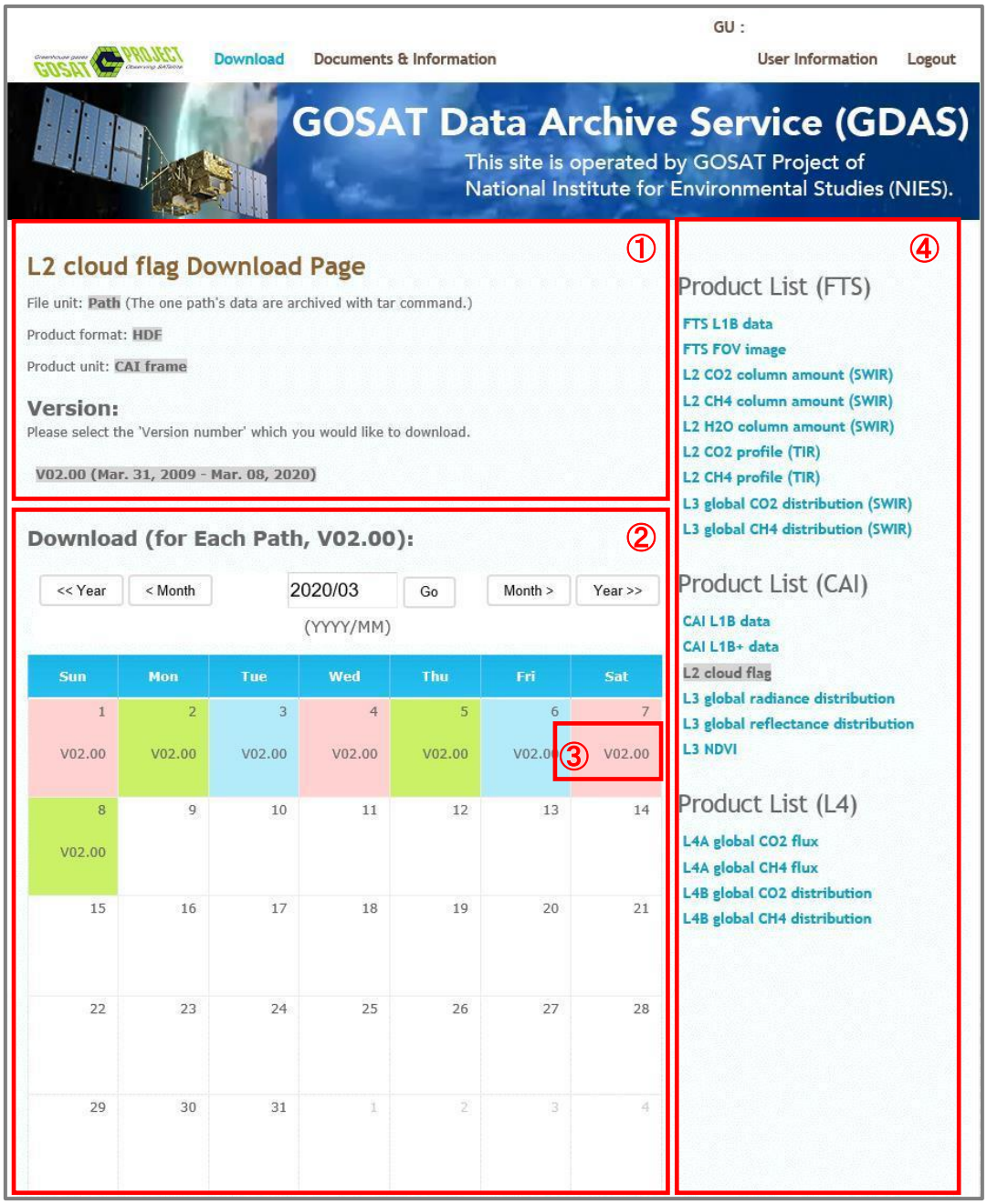
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

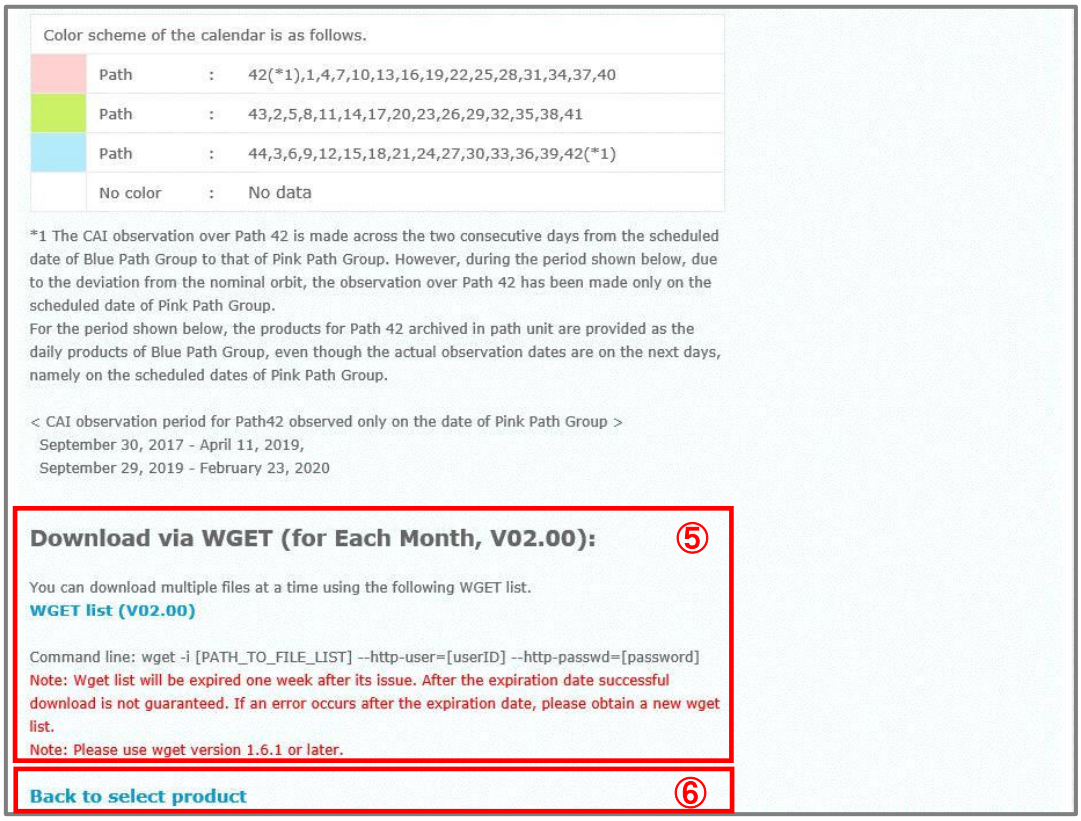
重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード （パス単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）（下図①）や観測日を示すカレンダー（下図②)、WGET リスト情報（下図⑤）を表示します。次に、カレンダーの観測日に表示されたバージョン名（下図③）をクリックすると、『プロダクトダウンロード詳細 （パス単位)』画面に移動します。





① プロダクト情報 ： 選択したプロダクト情報を表示します。
② 観測日カレンダー ： プロダクトの観測日をカレンダー形式で表示します。
③ 【バージョン番号】リンク ： 『プロダクトダウンロード詳細（パス単位）』画面へのリンクです。
④ プロダクト一覧 ： ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
⑤ 【WGET list】リンク ： WGET リストファイル（1 か月分）へのリンクです。
⑥ 【Back to select product】リンク ： 『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。

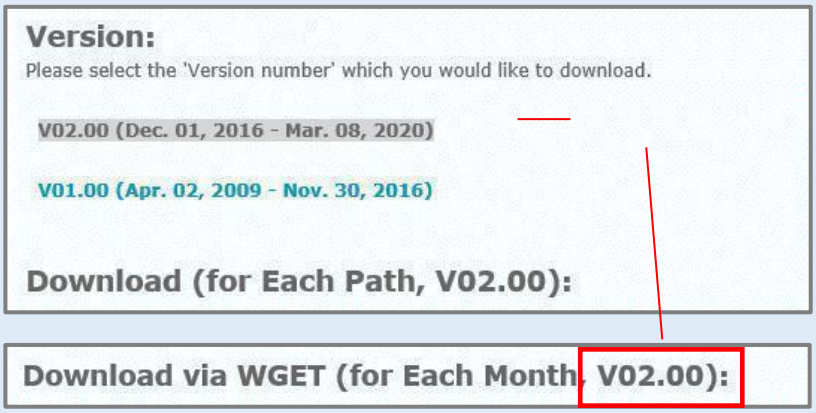
補足事項：カレンダーの背景色は、GOSAT の観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

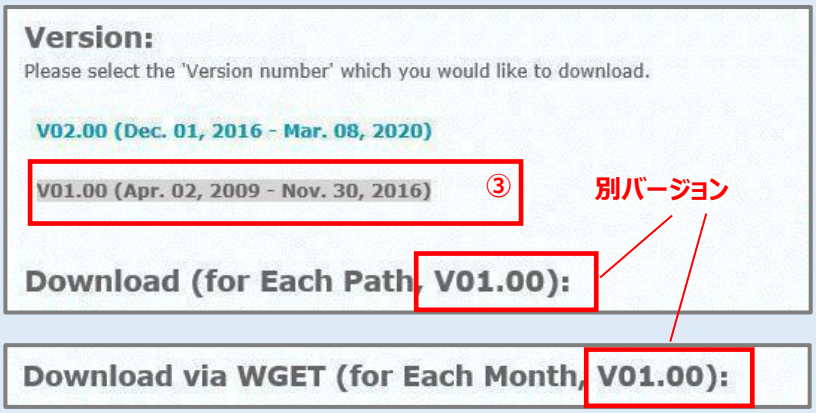
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



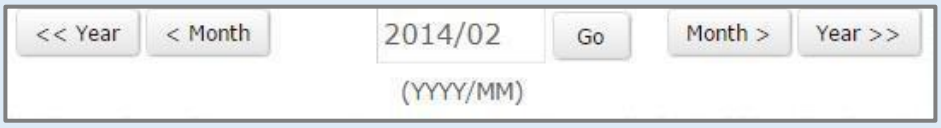
【別バージョン】をクリック後



補足事項：カレンダーの利用方法

カレンダーに表示する観測年月は複数の方法で変更出来ます。

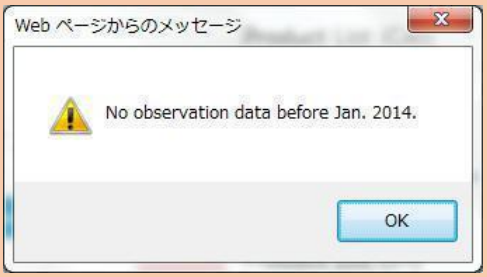
① 「Go」　　：入力した年月に移動します。
② 「<< Year」　：表示した月から 1 年前の同月に移動します。
③ 「< Month」　：表示した月の前の月に移動します。
④ 「Month >」　：表示した月の前の月に移動します。
⑤ 「Year >>」　：表示した月から 1 年後の同月に移動します。



注意事項：カレンダーに表示したい観測年月が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

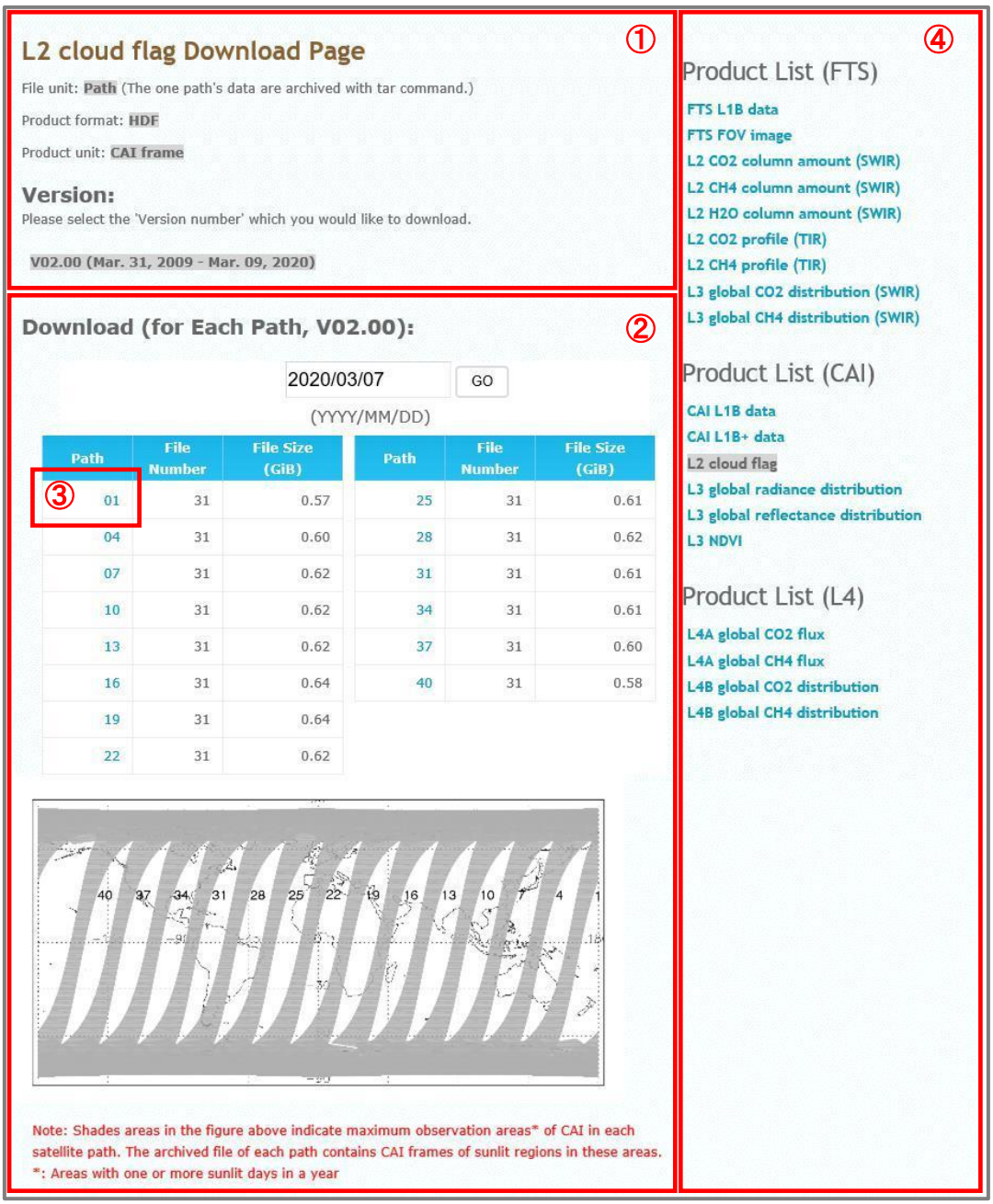
① 提供期間より先を指定した場合

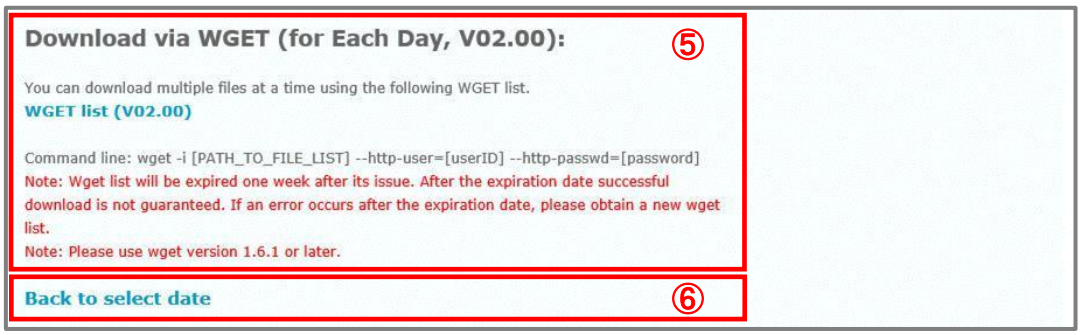
②提供期間より前を指定した場合



(4) 『プロダクトダウンロード詳細　(パス単位)』画面

プロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）（下図①）や選択した観測日のパス一覧（下図②）、WGET リスト情報（下図⑤）を表示します。次に、各パス番号のリンク（下図③）をクリックすると、プロダクトをダウンロードします。

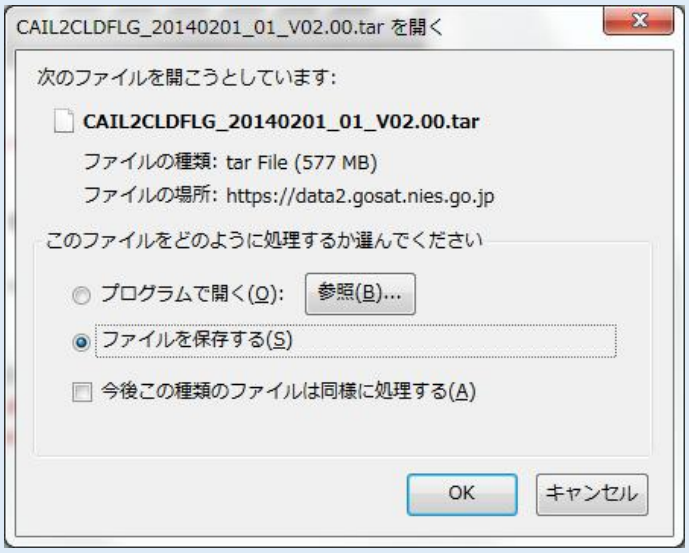




① プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
② パス一覧	：	選択した観測日のパス一覧を示します。
③ 【パス番号】リンク	：	パス単位にアーカイブされたファイルへのリンクです。
④ プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
⑤ 【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（1 日分）へのリンクです。
⑥ 【Back to select date】リンク	：	『プロダクトダウンロード（パス単位）』画面に戻るためのリンクです。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

補足事項：パス単位にアーカイブされたファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

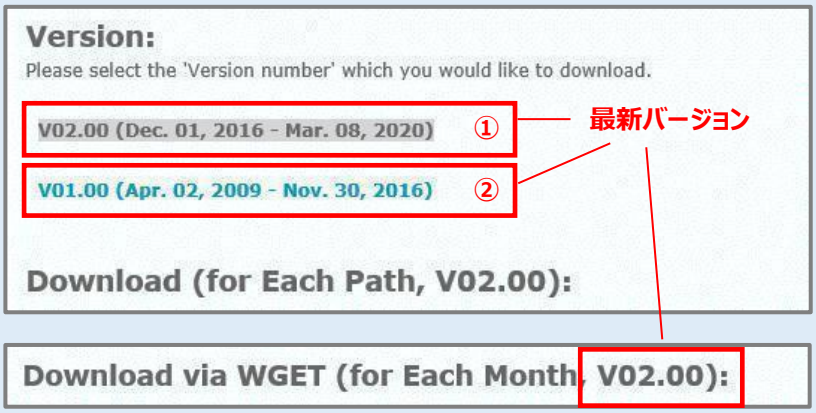


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

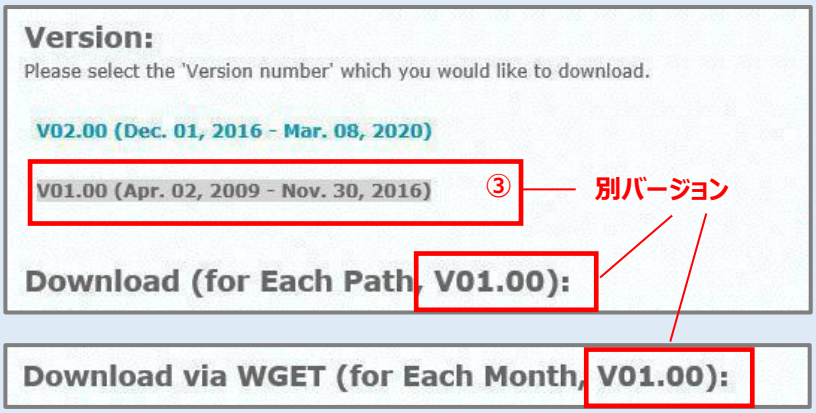
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



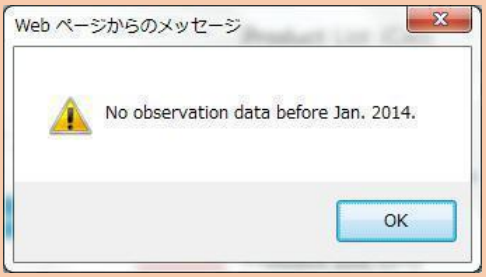
補足事項：パス一覧の観測日は以下の方法で変更出来ます。

①「Go」：入力した年月日に移動します。

注意事項：パス一覧に表示したい観測日が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

①提供期間より先を指定した場合

②提供期間より前を指定した場合



9.1.2 日単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、日単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、FTS L1B data プロダクトをダウンロードするための手順を示します（日単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

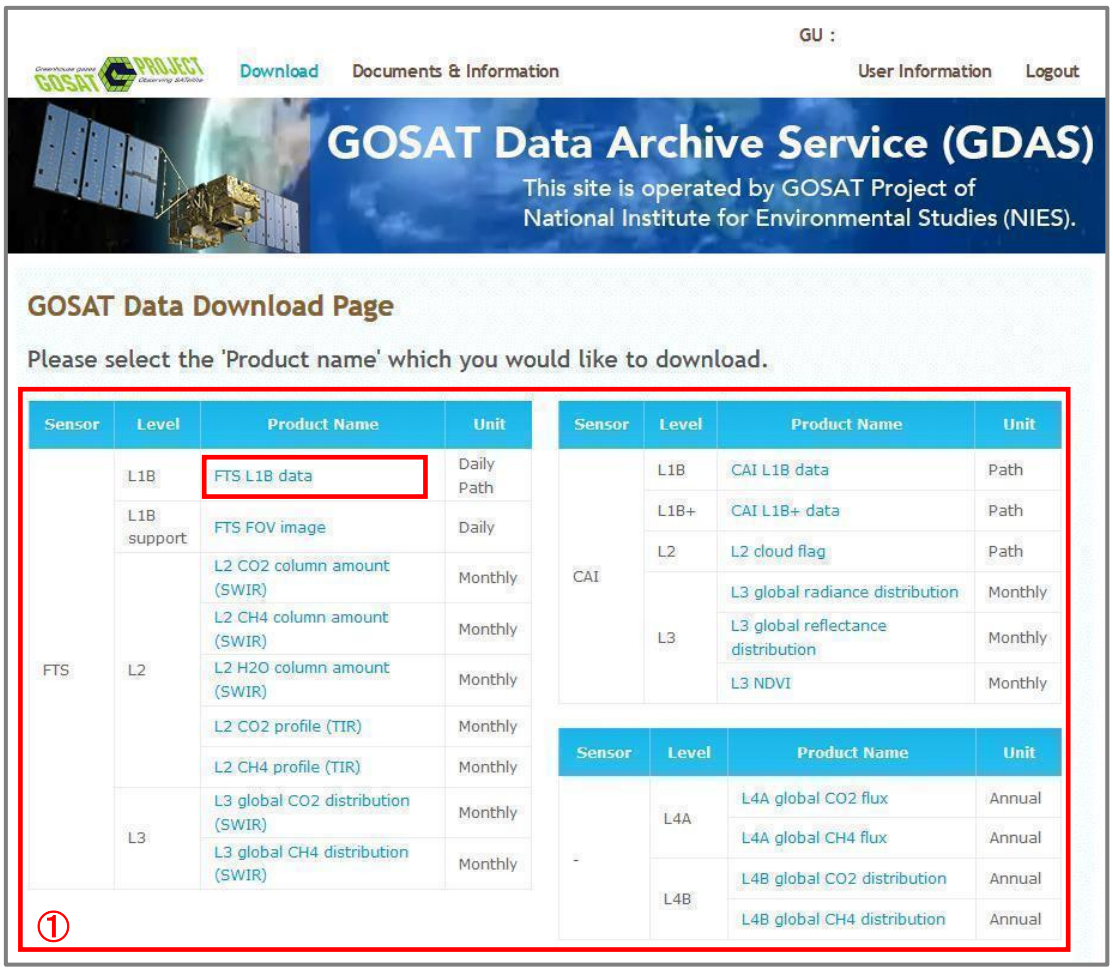
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。日単位のプロダクト（例として、FTS L1B data）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（日単位）』画面に移動します。



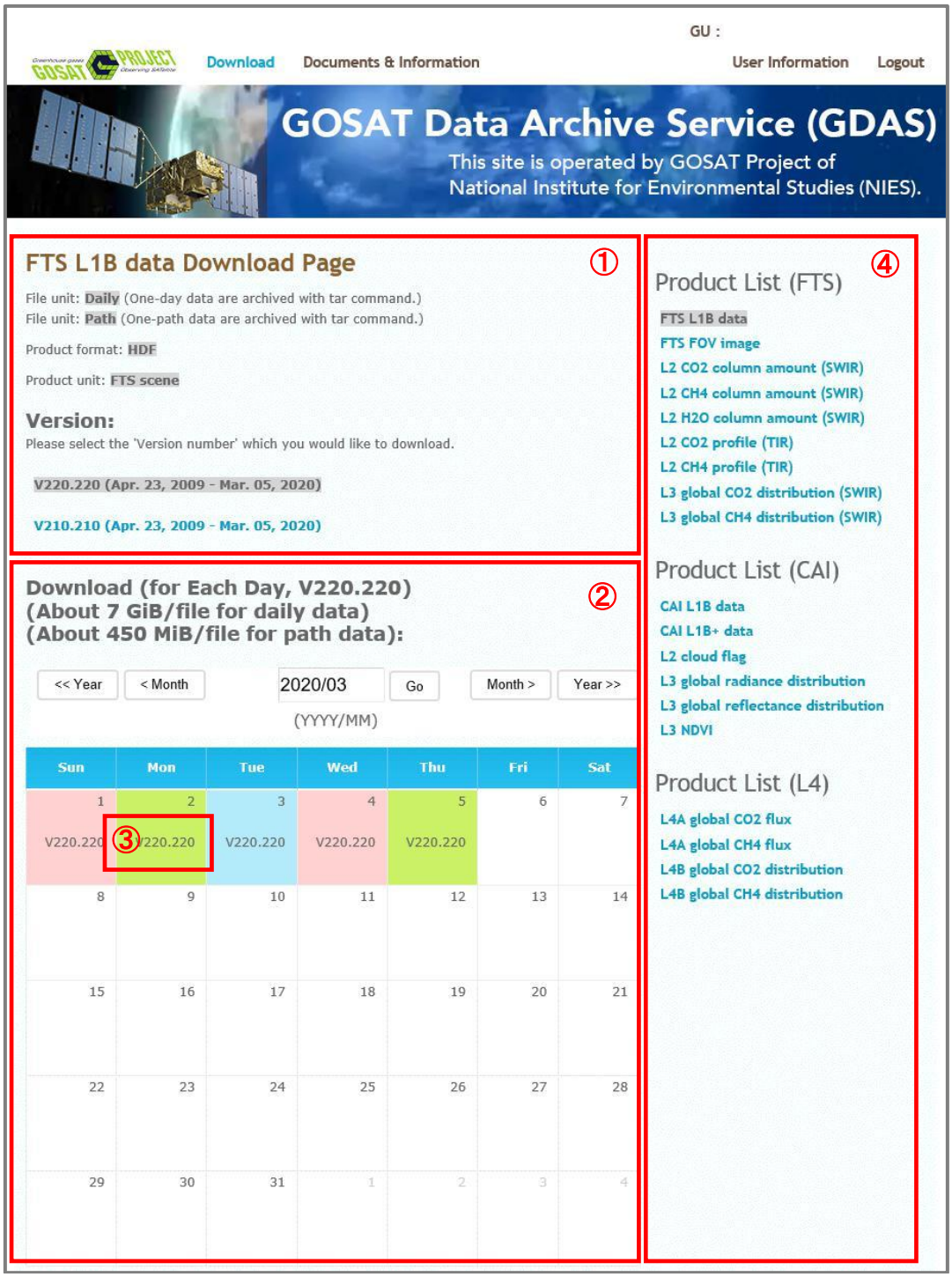
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

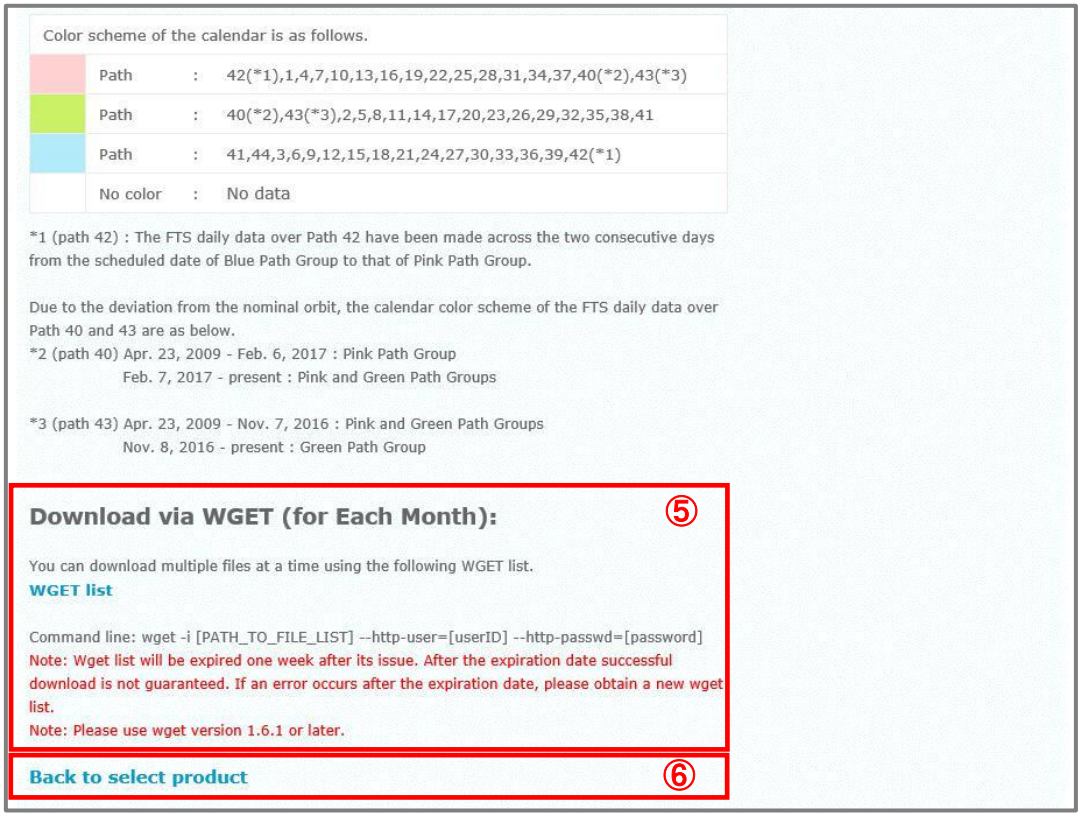
重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

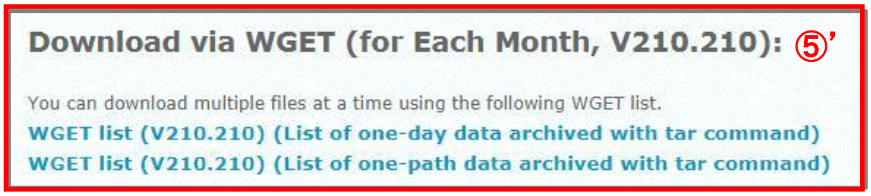
補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード（日単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）（下図①）や観測日を示すカレンダー（下図②)、WGET リスト情報（下図⑤）を表示します。次に、カレンダー内のバージョン名（下図③）をクリックすると、プロダクトをダウンロードします。







① プロダクト情報 ： 選択したプロダクト情報を表示します。

② 観測日カレンダー ： プロダクトの観測日をカレンダー形式で表示します。

③ 【バージョン番号】リンク ： 日単位にアーカイブされたファイルへのリンクです。FTS L1B の場合、パス単位にアーカイブされたファイルを選択するダイアログを表示します。

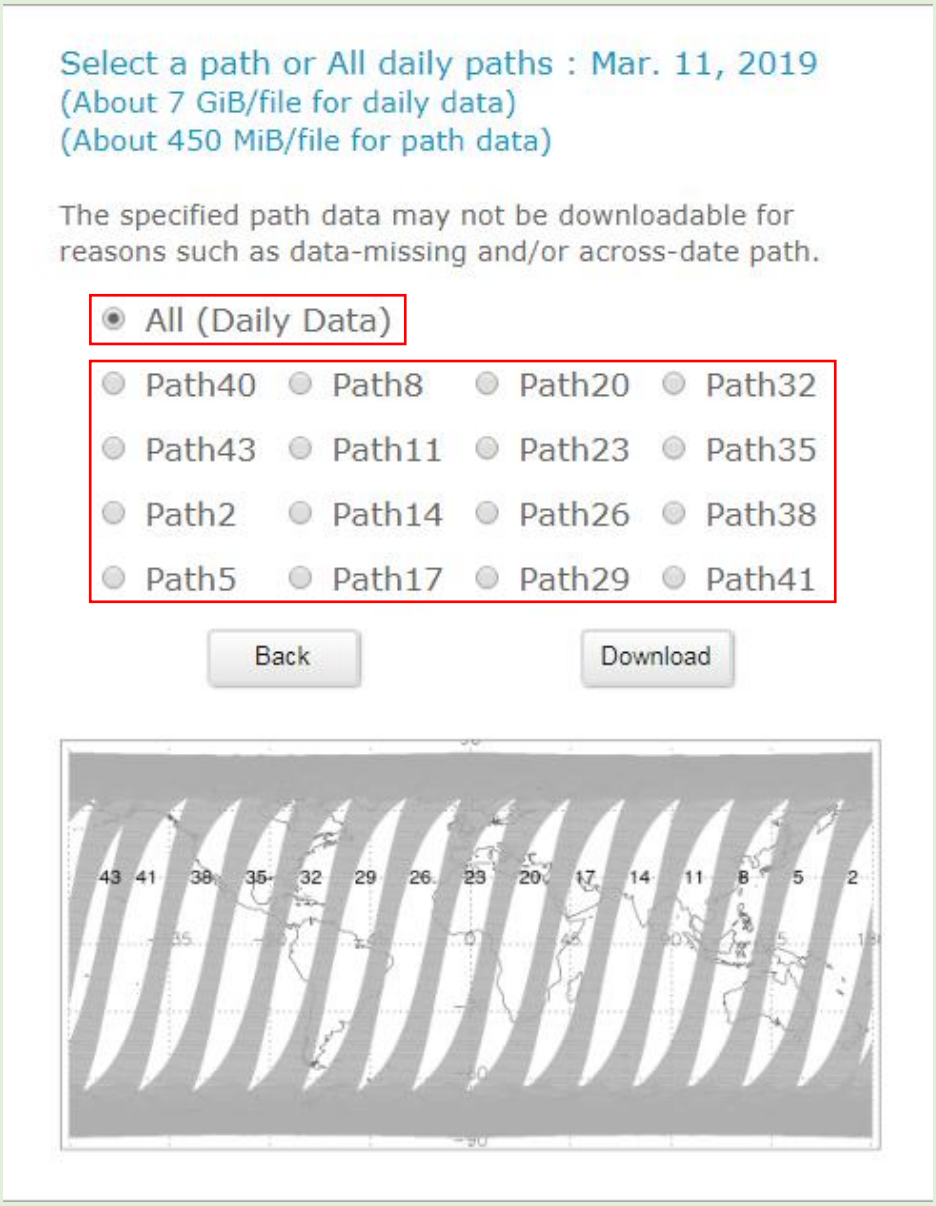
④ プロダクト一覧 ： ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。

⑤ 【WGET list】リンク ： WGET リストファイル（1 か月分）へのリンクです。
⑤'：FTS L1B の場合、WGET リストは、日単位アーカイブファイル用とパス単位アーカイブファイル用の 2 種類あります。

⑥ 【Back to select product】リンク ： 『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。

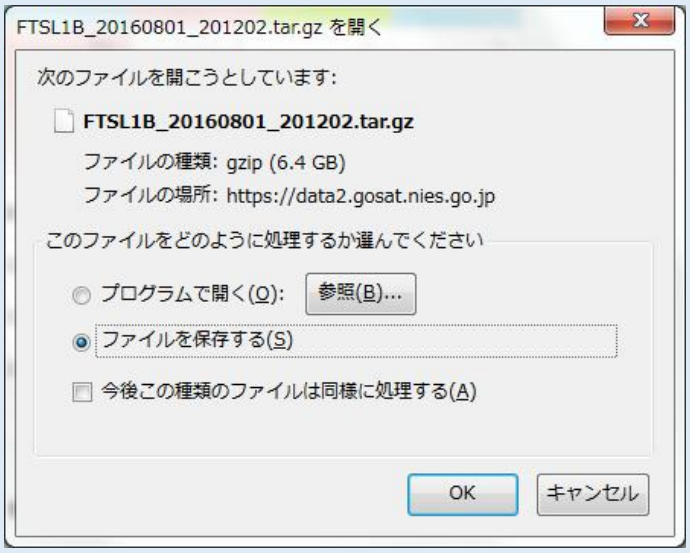
重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

重要事項：FTS L1B では、③【バージョン番号】リンク クリック時に、パス単位アーカイブファイルダウンロード用ダイアログを表示します。パス単位アーカイブファイルダウンロード用ダイアログにて、日単位アーカイブファイルまたはパス単位アーカイブファイルを選択して、Download ボタンをクリックすると、ダウンロードを開始します。



欠測や日を跨ぐパスがないなどの理由で、選択したパスのアーカイブファイルが存在しない場合があります。

補足事項：日単位にアーカイブされたファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

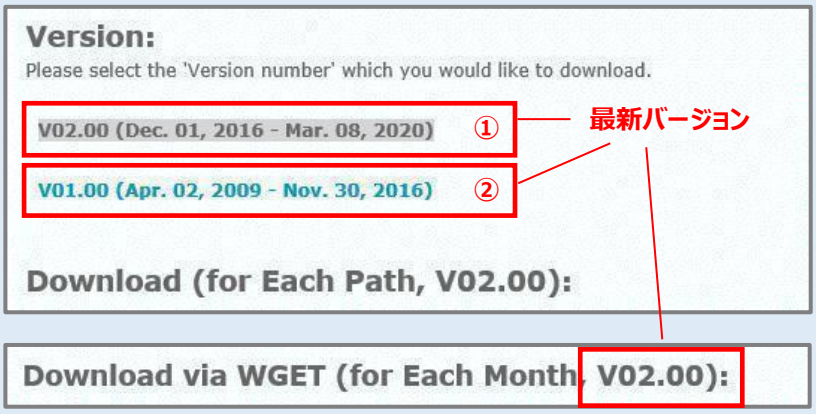


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

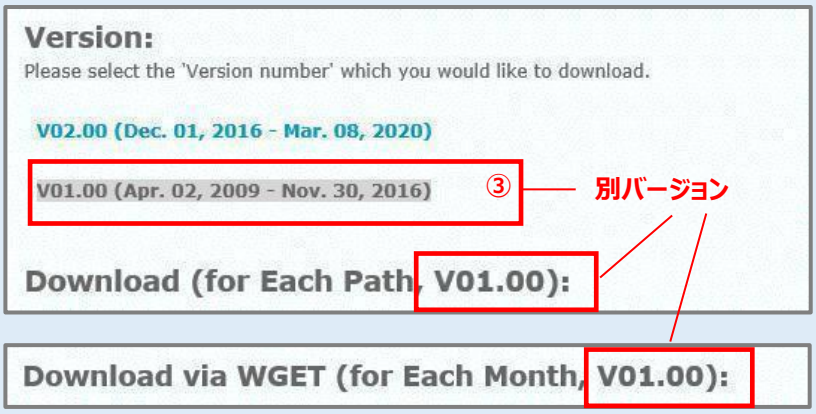
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後

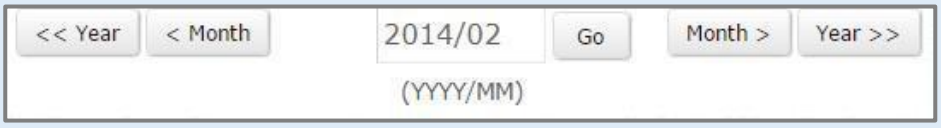


補足事項：カレンダーの背景色は、GOSAT の観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

補足事項：カレンダーの利用方法

カレンダーに表示する観測年月は複数の方法で変更出来ます。

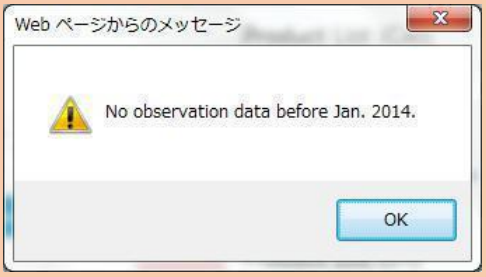
① 「Go」　　：入力した年月に移動します。
② 「<< Year」　：表示した月から 1 年前の同月に移動します。
③ 「< Month」　：表示した月の前の月に移動します。
④ 「Month >」　：表示した月の前の月に移動します。
⑤ 「Year >>」　：表示した月から 1 年後の同月に移動します。



注意事項：カレンダーに表示したい観測年月が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

①提供期間より先を指定した場合

②提供期間より前を指定した場合



9.1.3 月単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、月単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L2 CO2 column amount (SWIR)プロダクトをダウンロードするための手順を示します（月単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

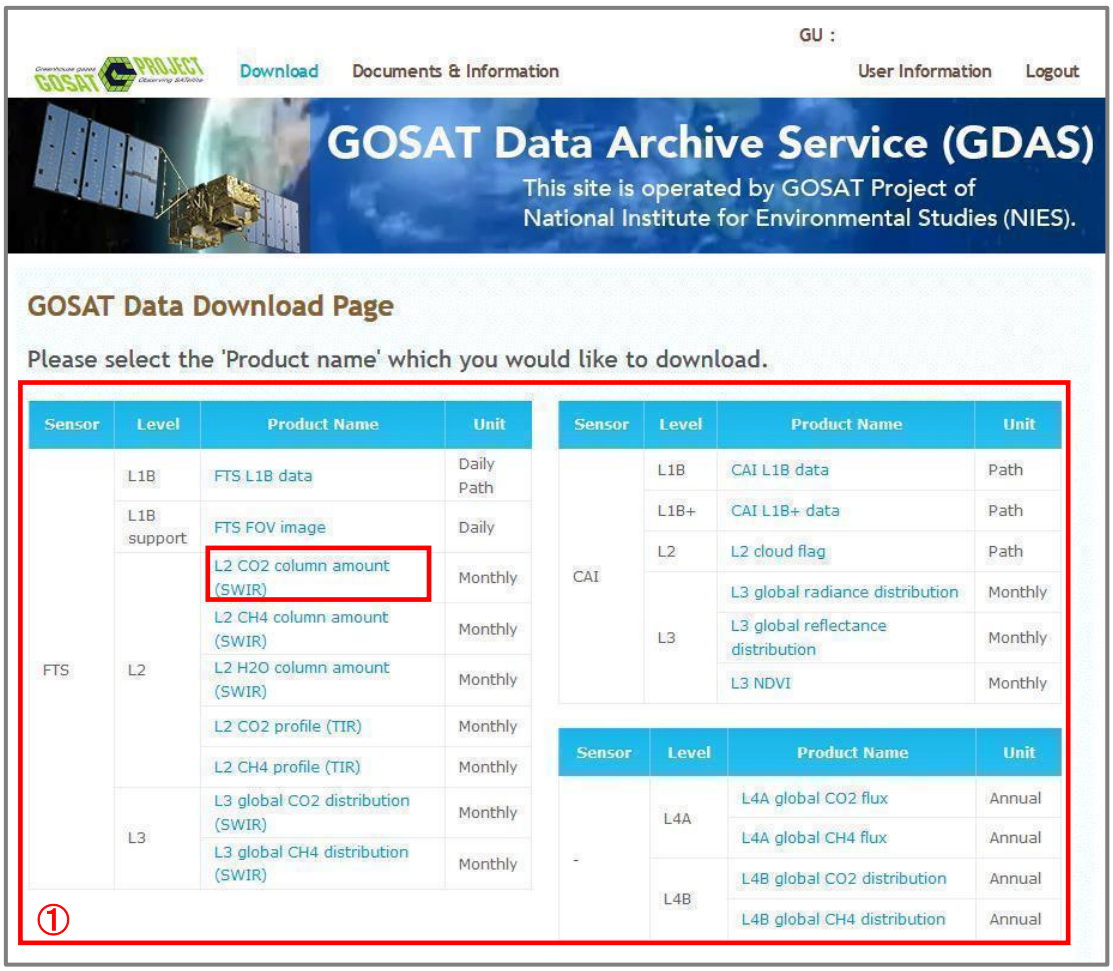
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。月単位のプロダクト（例として、L2 CO2 column amount (SWIR)）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（月単位)』画面に移動します。



Sensor	Level	Product Name	Unit
FTS	L1B	FTS L1B data	Daily Path
	L1B support	FTS FOV image	Daily
	L2	L2 CO2 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CH4 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 H2O column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CO2 profile (TIR)	Monthly
		L2 CH4 profile (TIR)	Monthly
	L3	L3 global CO2 distribution (SWIR)	Monthly
		L3 global CH4 distribution (SWIR)	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
CAI	L1B	CAI L1B data	Path
	L1B+	CAI L1B+ data	Path
	L2	L2 cloud flag	Path
	L3	L3 global radiance distribution	Monthly
		L3 global reflectance distribution	Monthly
		L3 NDVI	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
-	L4A	L4A global CO2 flux	Annual
		L4A global CH4 flux	Annual
	L4B	L4B global CO2 distribution	Annual
		L4B global CH4 distribution	Annual

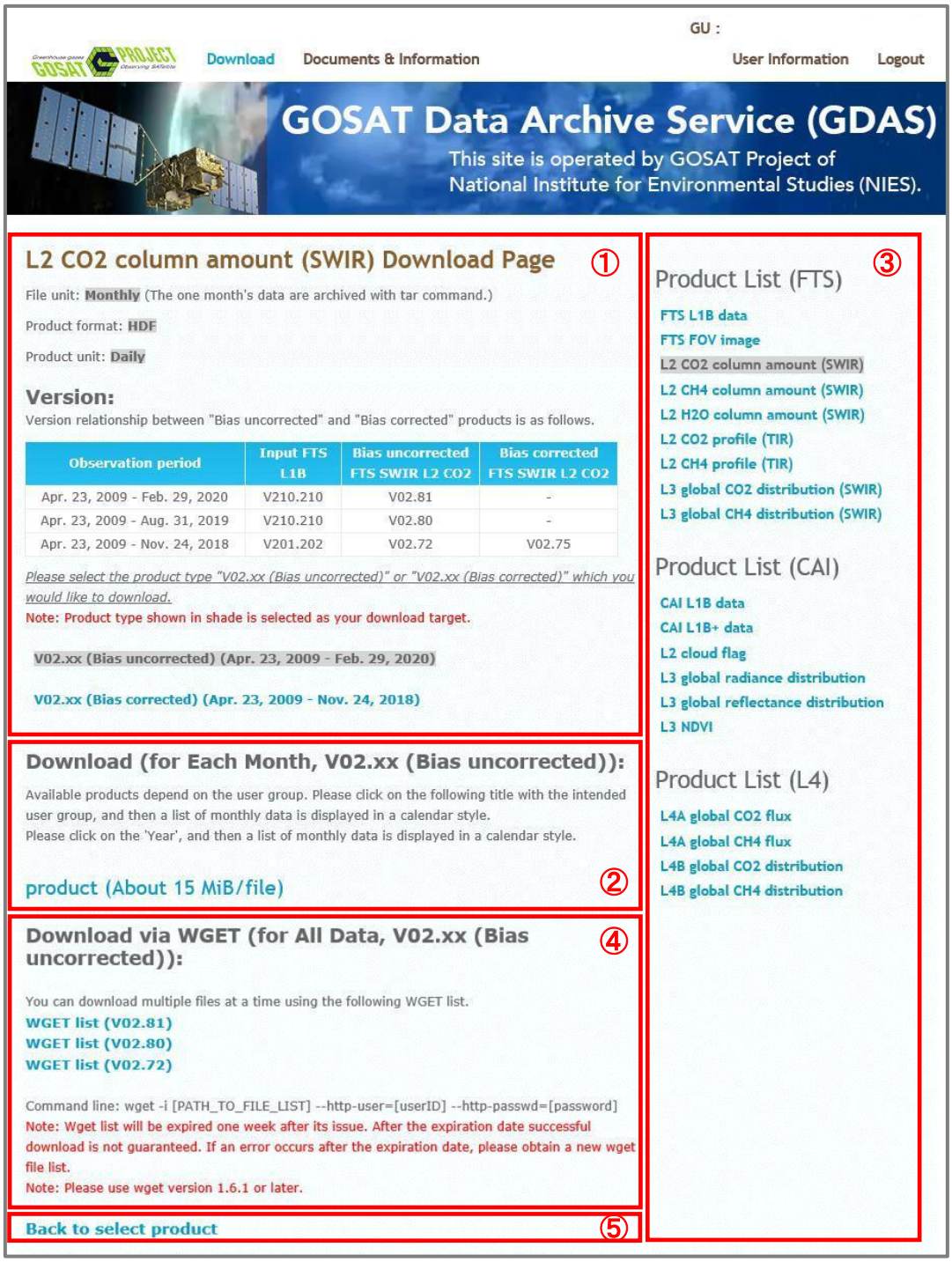
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード （月単位)』画面

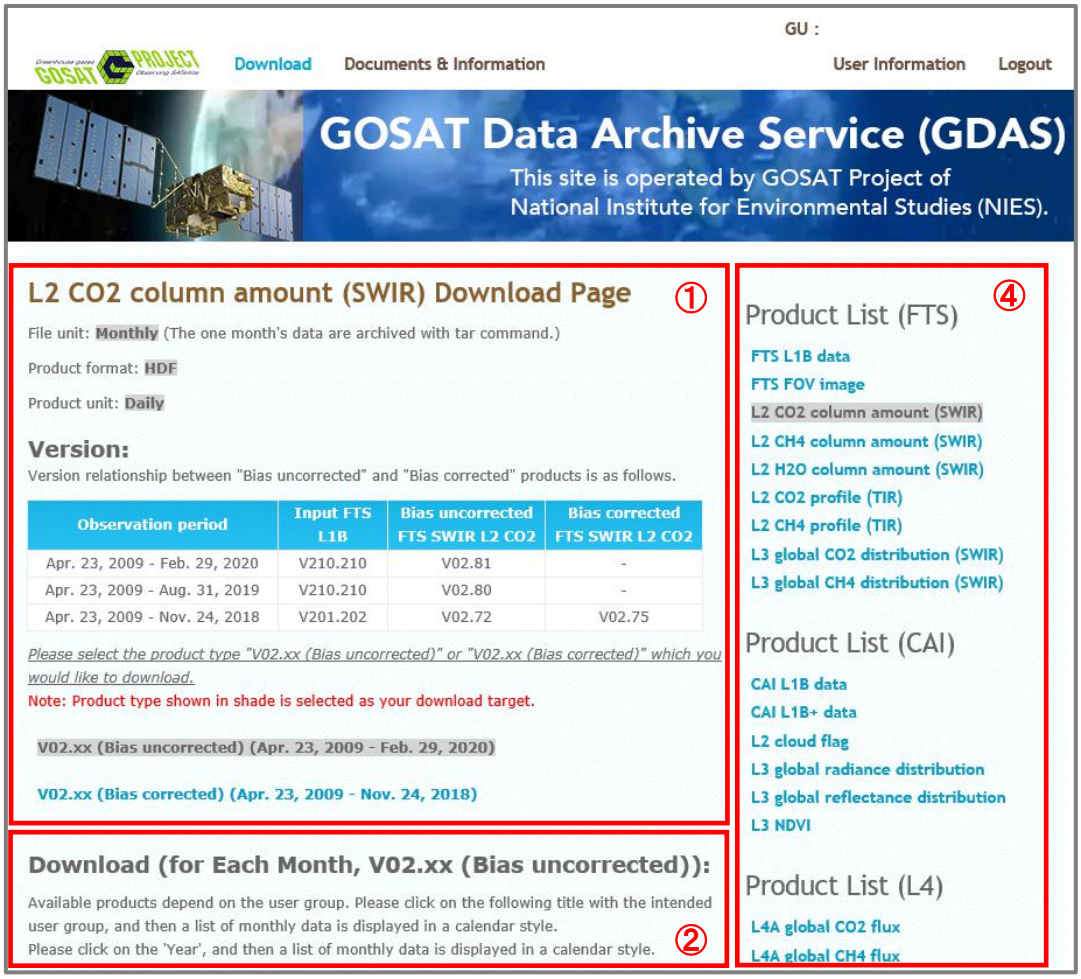
選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）（下図①）やプロダクト一覧（下図②）、WGET リスト情報（下図④）を表示します。プロダクト一覧の【バージョン】をクリックすると、プロダクト一覧を表示します。

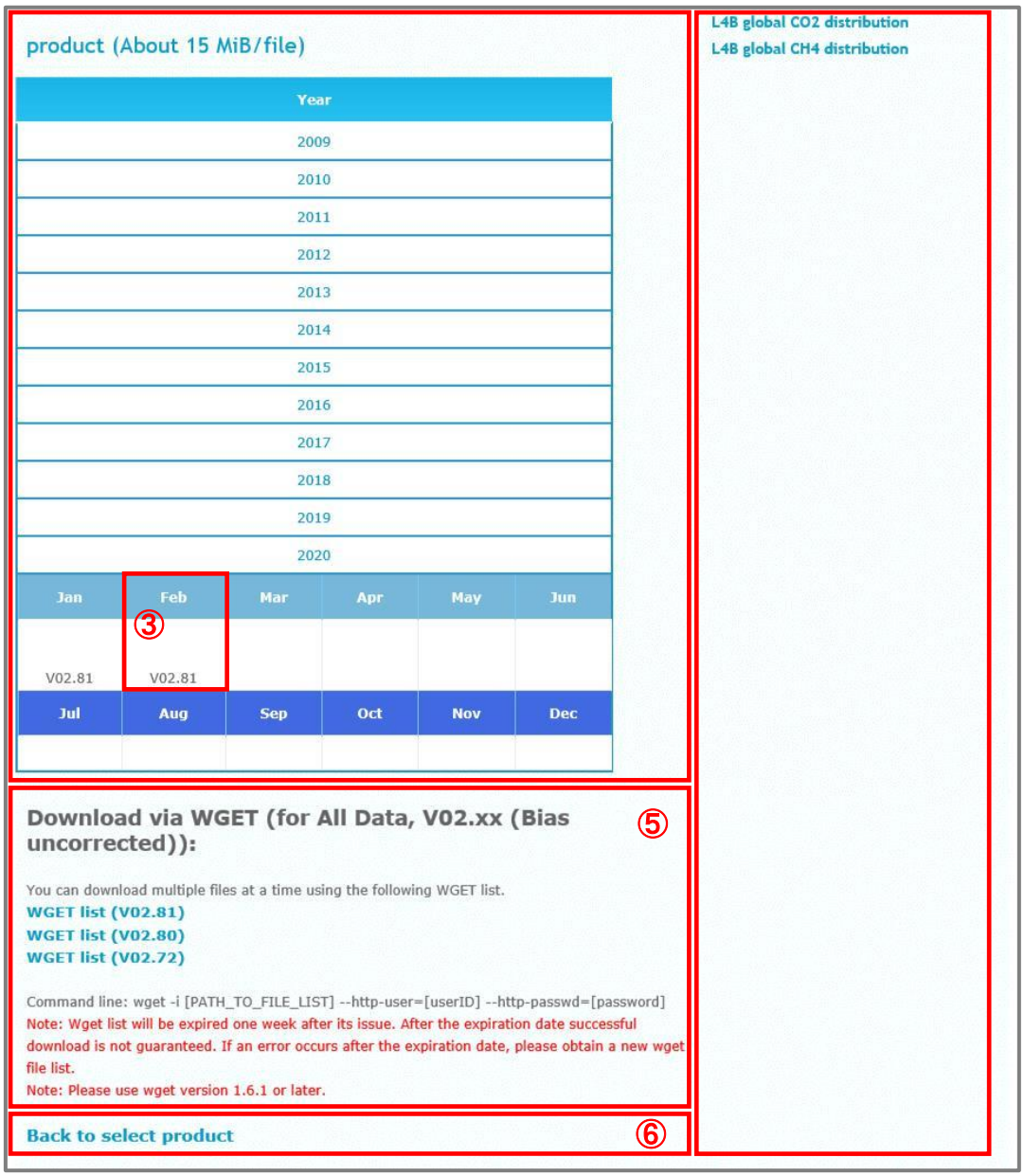


①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	【プロダクト】リンク	：	月単位にアーカイブされたファイル一覧を表示します。
③	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
④	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（全期間）へのリンクです。
⑤	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。

(4) 『プロダクトダウンロード （月単位）』画面（プロダクト一覧を表示）

プロダクト一覧の【バージョン】（下図③）をクリックすると、プロダクトをダウンロードします。





① プロダクト情報 ： 選択したプロダクト情報を表示します。

② 【プロダクト】リンク ： 月単位にアーカイブされたファイル一覧を表示します。

③ 【バージョン番号】リンク ： 月単位にアーカイブされたファイルへのリンクです。

④ プロダクト一覧 ： ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。

⑤ 【WGET list】リンク ： WGET リストファイル（全期間）へのリンクです。

⑥ 【Back to select product】リンク ： 『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開･解凍して下さい。

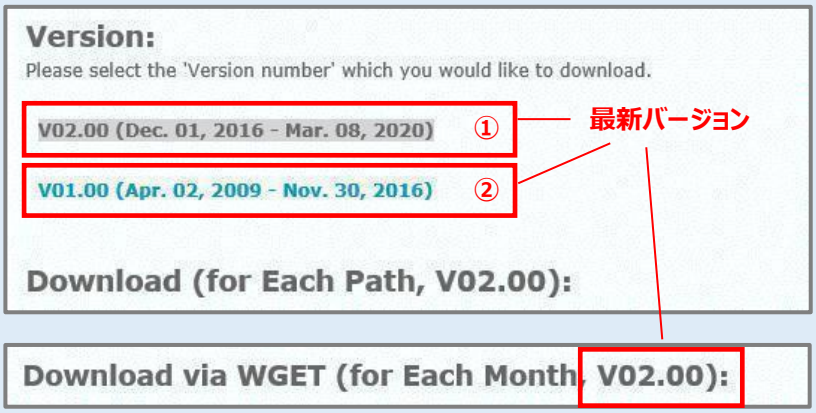
補足事項：月単位にアーカイブされたファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

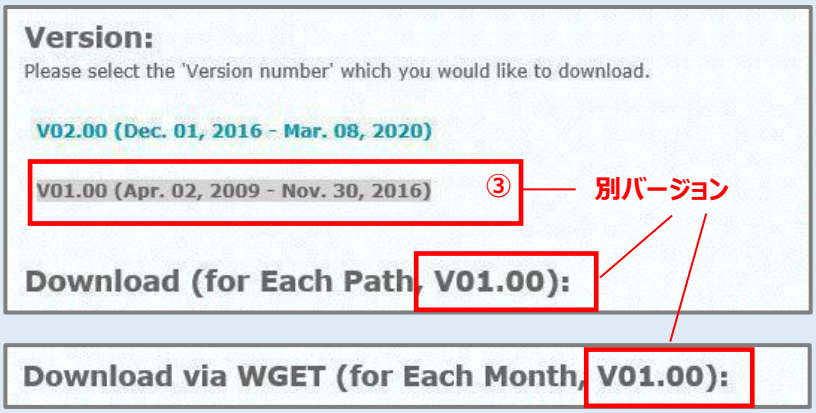
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



9.1.4 年単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、年単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L4A global CO2 flux プロダクトをダウンロードするための手順を示します（年単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

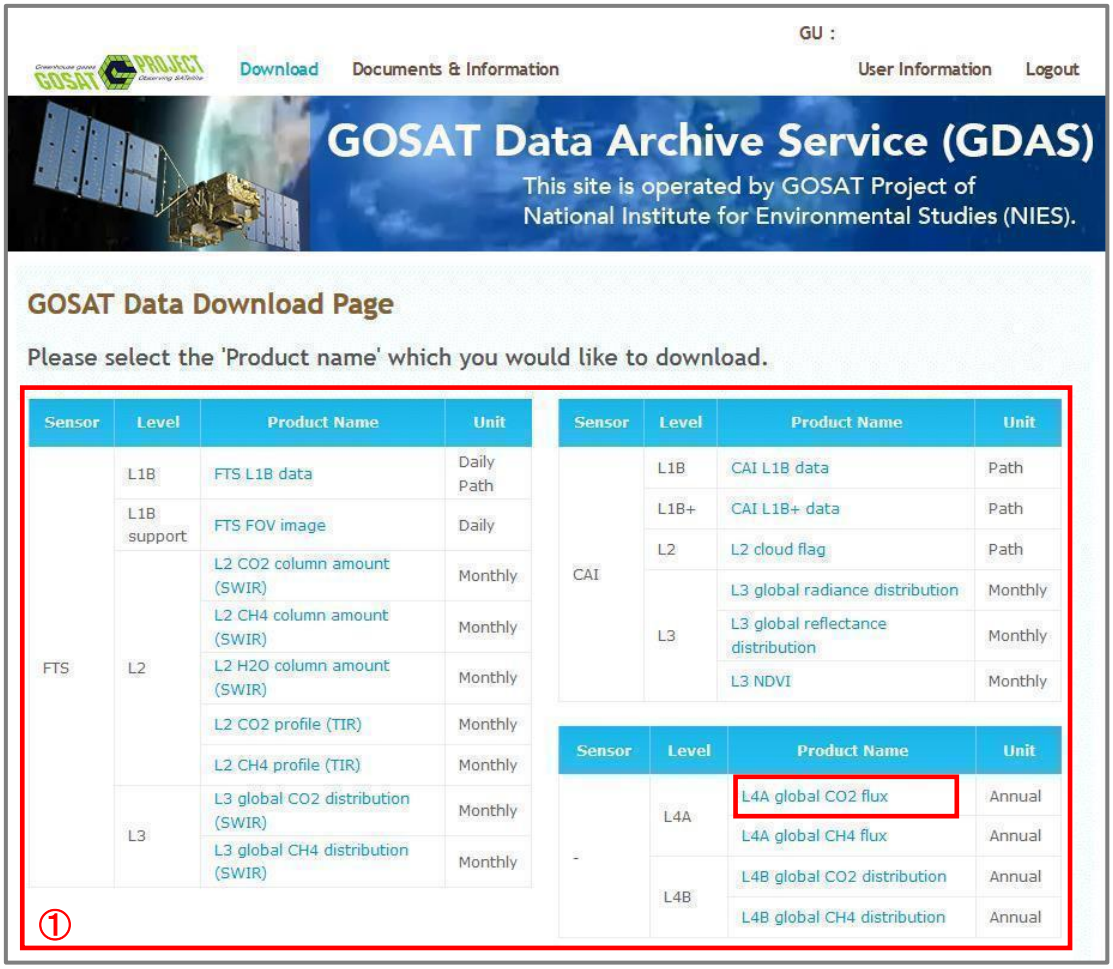
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。年単位のプロダクト（例として、L4A global CO2 flux）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（年単位)』画面に移動します。



Sensor	Level	Product Name	Unit
FTS	L1B	FTS L1B data	Daily Path
	L1B support	FTS FOV image	Daily
	L2	L2 CO2 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CH4 column amount (SWIR)	Monthly
		L2 H2O column amount (SWIR)	Monthly
		L2 CO2 profile (TIR)	Monthly
		L2 CH4 profile (TIR)	Monthly
	L3	L3 global CO2 distribution (SWIR)	Monthly
		L3 global CH4 distribution (SWIR)	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
CAI	L1B	CAI L1B data	Path
	L1B+	CAI L1B+ data	Path
	L2	L2 cloud flag	Path
	L3	L3 global radiance distribution	Monthly
		L3 global reflectance distribution	Monthly
		L3 NDVI	Monthly

Sensor	Level	Product Name	Unit
-	L4A	L4A global CO2 flux	Annual
		L4A global CH4 flux	Annual
	L4B	L4B global CO2 distribution	Annual
		L4B global CH4 distribution	Annual

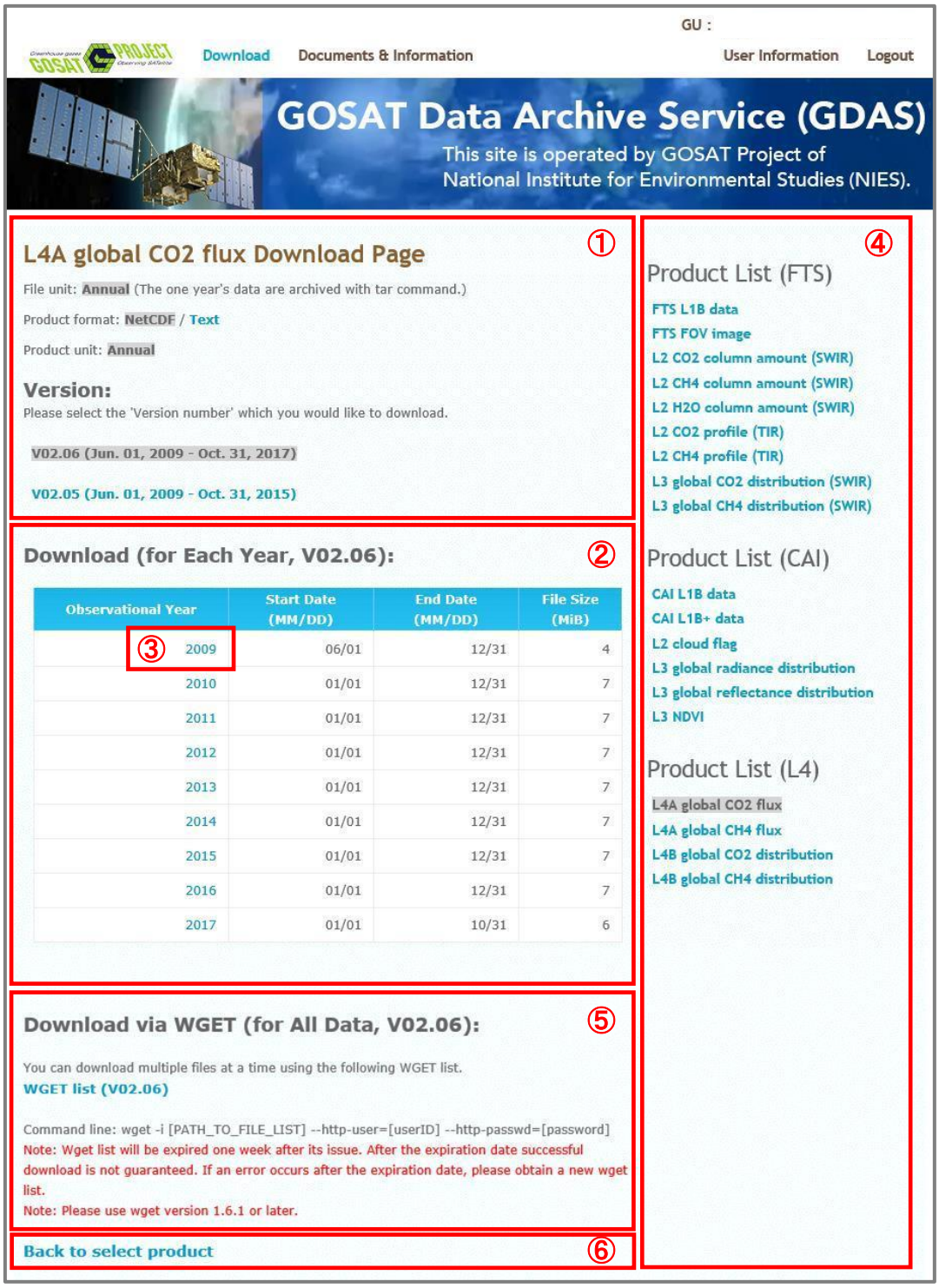
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード （年単位)』画面

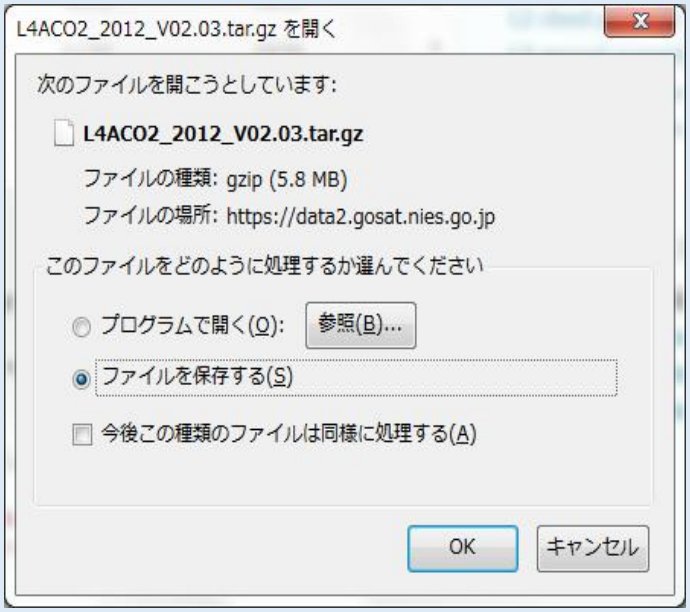
選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）（下図①）や WGET リスト情報（下図⑤）を表示します。次に、プロダクトの【観測年】（下図③）をクリックすると、プロダクトをダウンロードします。



①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	プロダクト一覧	：	年単位にアーカイブされたファイルの一覧を表示します。
③	【観測年】リンク	：	年単位にアーカイブされたファイルへのリンクです。
④	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
⑤	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（全期間）へのリンクです。
⑥	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

補足事項：年単位にアーカイブされたファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。



補足事項：プロダクトフォーマットを切り替える方法

初期画面では「netCDF（下図①）」が表示されます。

「テキスト」を表示する場合は、【Text】リンク（下図②）をクリックします。

【初期画面】

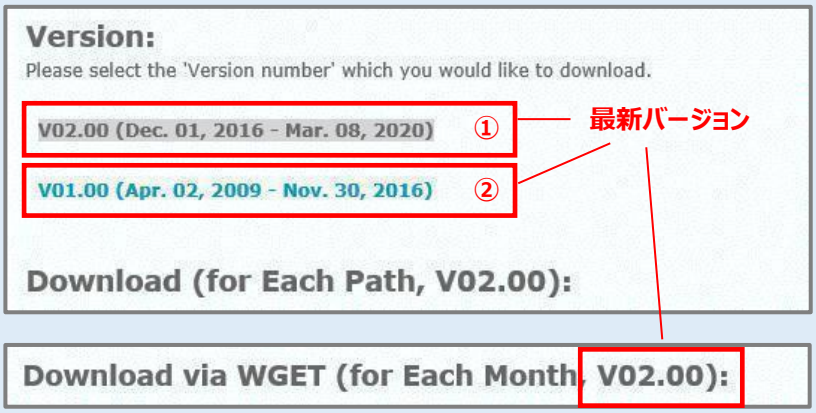
【Text】をクリック後

補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

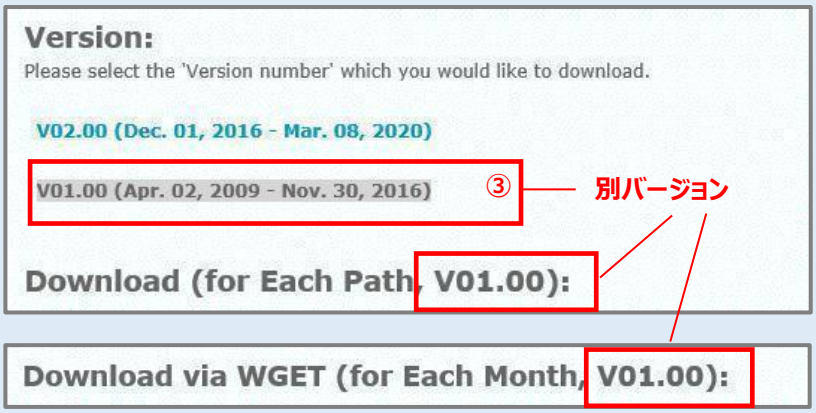
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



9.2 WGET コマンドを使用したダウンロード

この節では、GOSAT プロダクトの提供単位毎に、WGET コマンドを使用したプロダクトダウンロードの手順をご説明します。

9.2.1 パス単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、WGET コマンドを使用してパス単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L2 cloud flag プロダクトをダウンロードするための手順を示します（パス単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

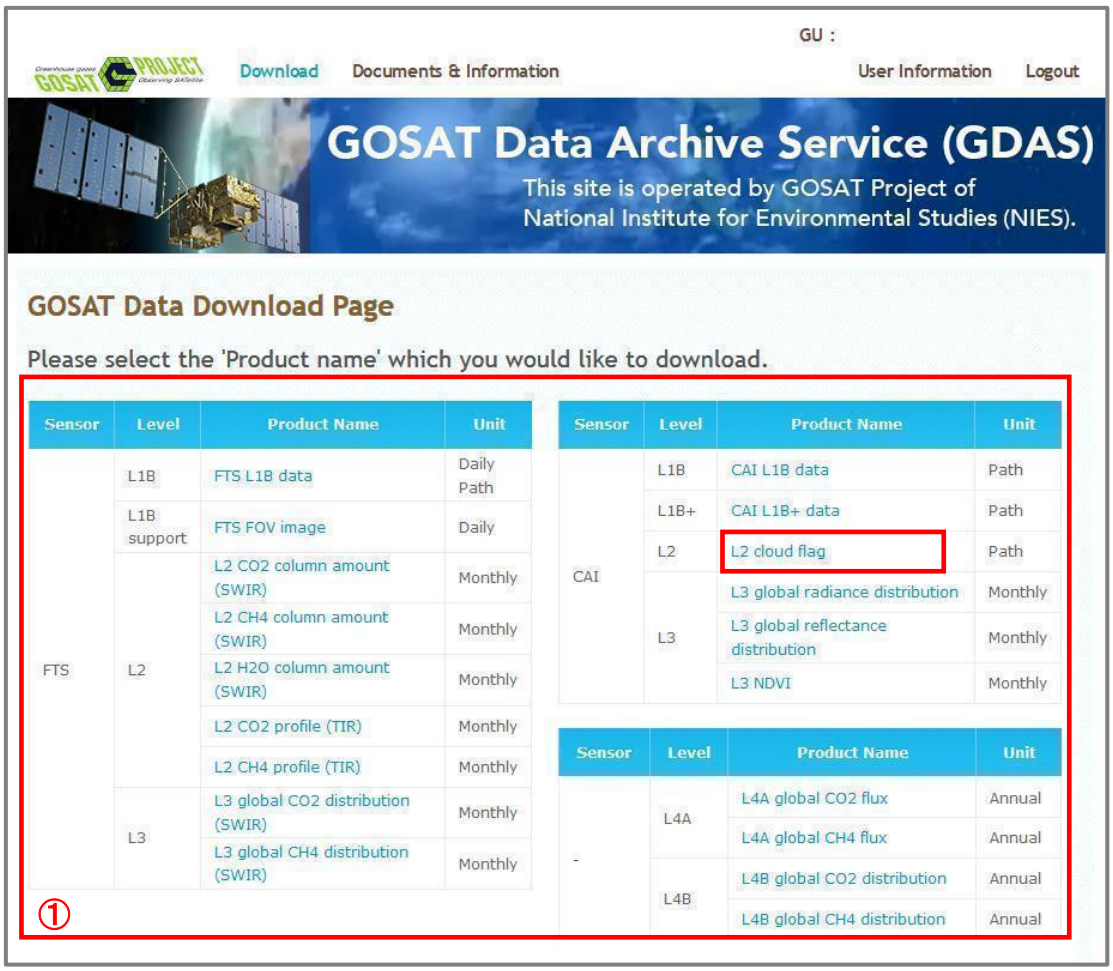
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。パス単位のプロダクト（例として、L2 cloud flag）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（パス単位）』画面に移動します。



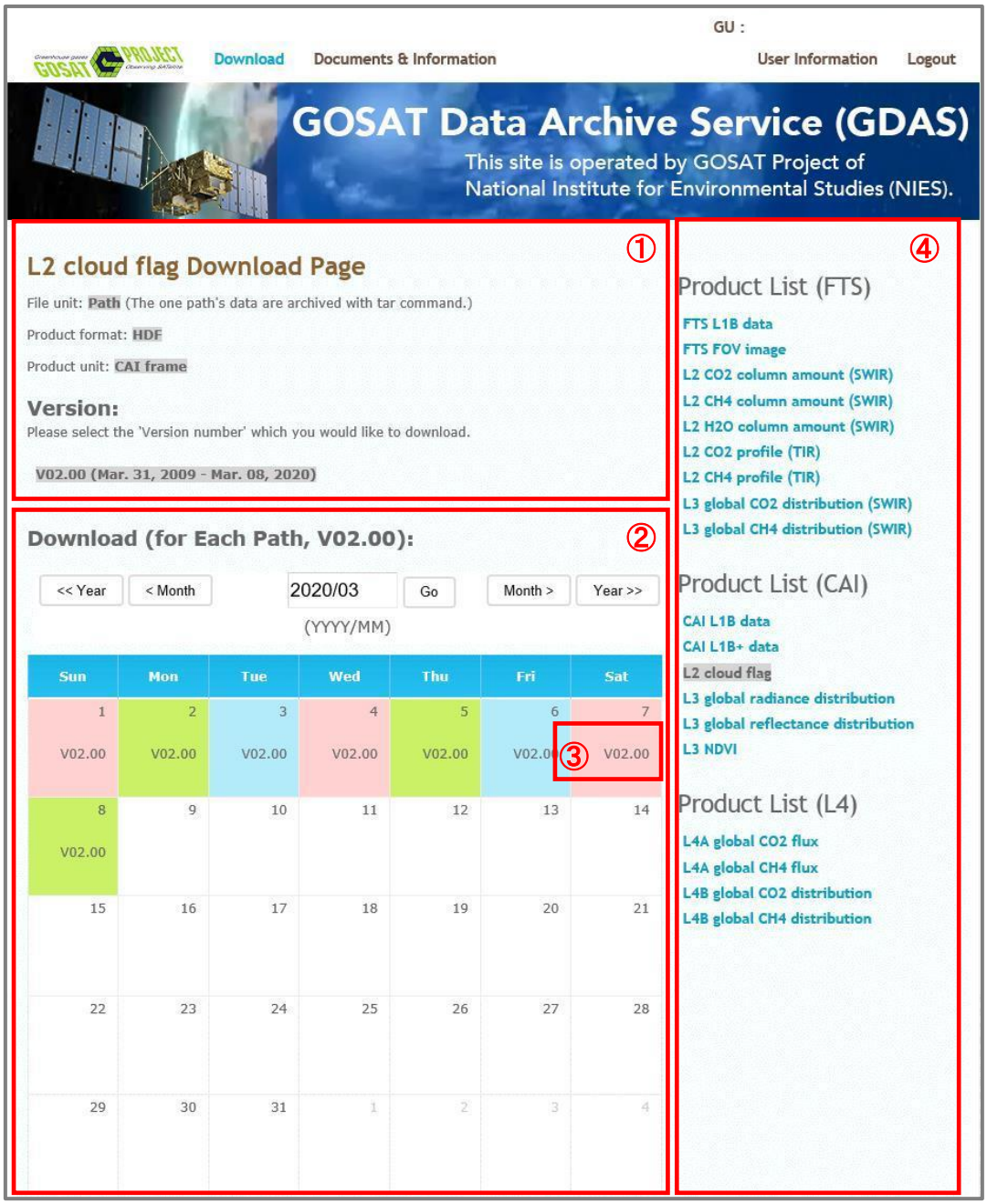
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

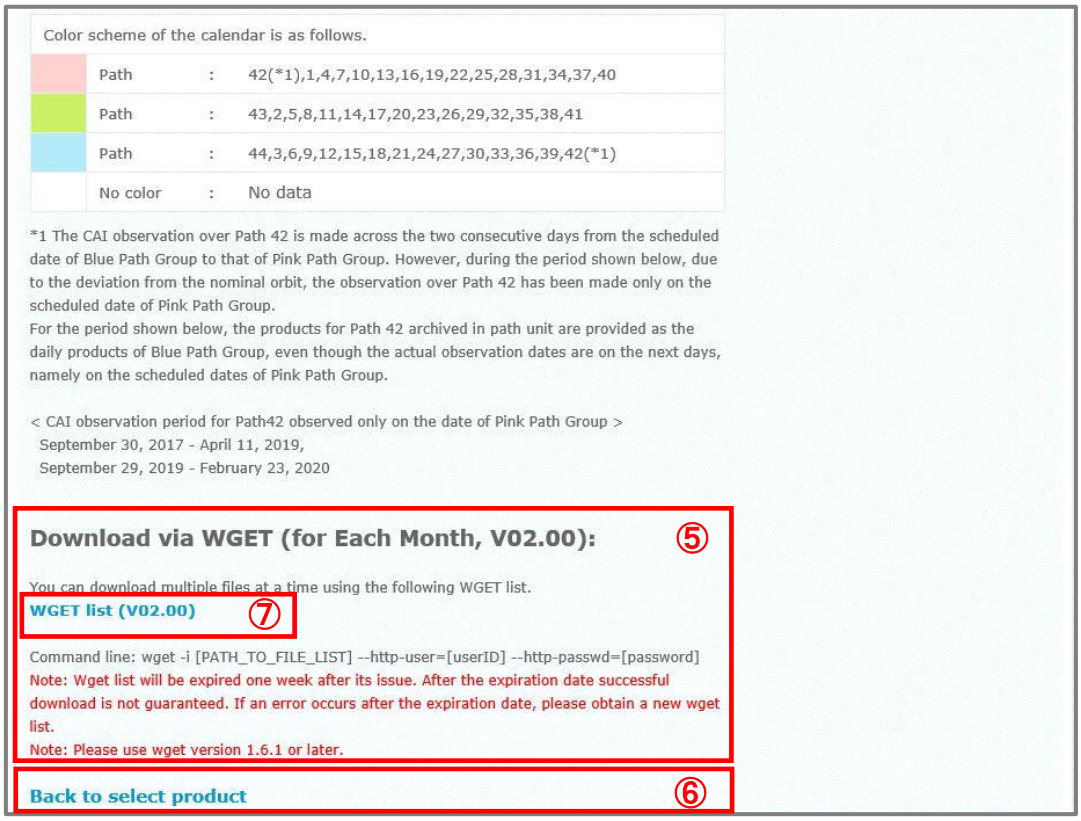
重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード （パス単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）や観測日を示すカレンダー、WGET リスト情報を表示します。1 か月単位の WGET リストを取得する場合には、WGET リストへのリンク（下図⑦）をクリックすると、WGET リストをダウンロードします。次の月や年の WGET リストを取得する場合には、カレンダーに表示する観測年月を変更します。1 日単位の WGET リストを取得する場合には、カレンダーの観測日に表示されたバージョン名（下図③）をクリックすると、『プロダクトダウンロード詳細（パス単位)』画面に移動します。

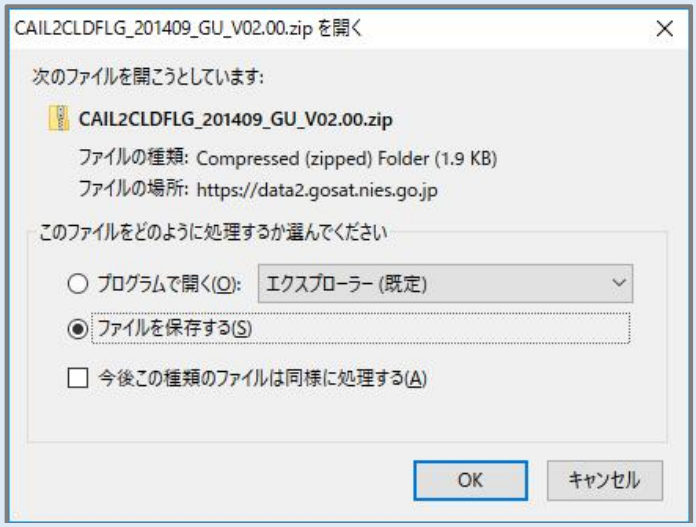




①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	観測日カレンダー	：	プロダクトの観測日をカレンダー形式で表示します。
③	【バージョン番号】リンク	：	『プロダクトダウンロード詳細（パス単位）』画面へのリンクです。
④	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
⑤	WGET 取得方法	：	WGET リストファイルを使用したプロダクトダウンロードの方法を表示します。
⑥	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。
⑦	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（1 か月分）へのリンクです。

補足事項：カレンダーの背景色は、GOSAT の観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

補足事項：WGET リストファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

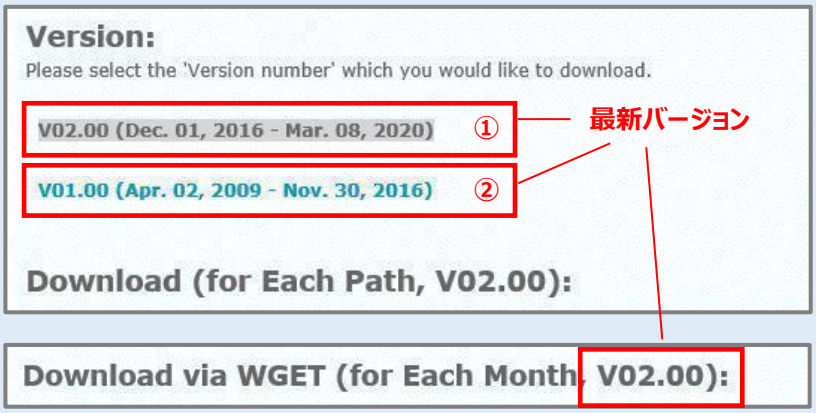


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

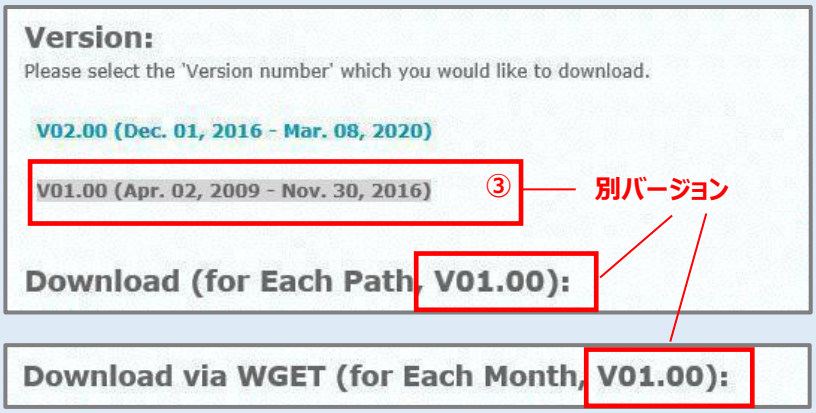
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



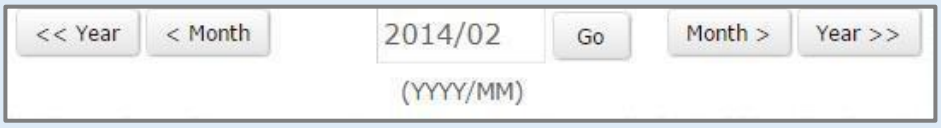
【別バージョン】をクリック後



補足事項：カレンダーの利用方法

カレンダーに表示する観測年月は複数の方法で変更出来ます。

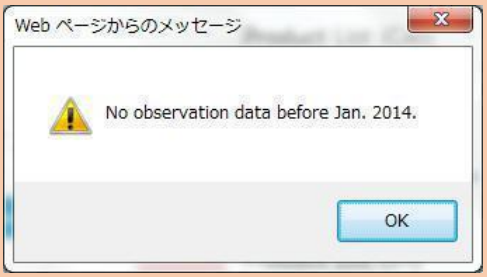
① 「Go」　　：入力した年月に移動します。
② 「<< Year」　：表示した月から 1 年前の同月に移動します。
③ 「< Month」　：表示した月の前の月に移動します。
④ 「Month >」　：表示した月の前の月に移動します。
⑤ 「Year >>」　：表示した月から 1 年後の同月に移動します。



注意事項：カレンダーに表示したい観測年月が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

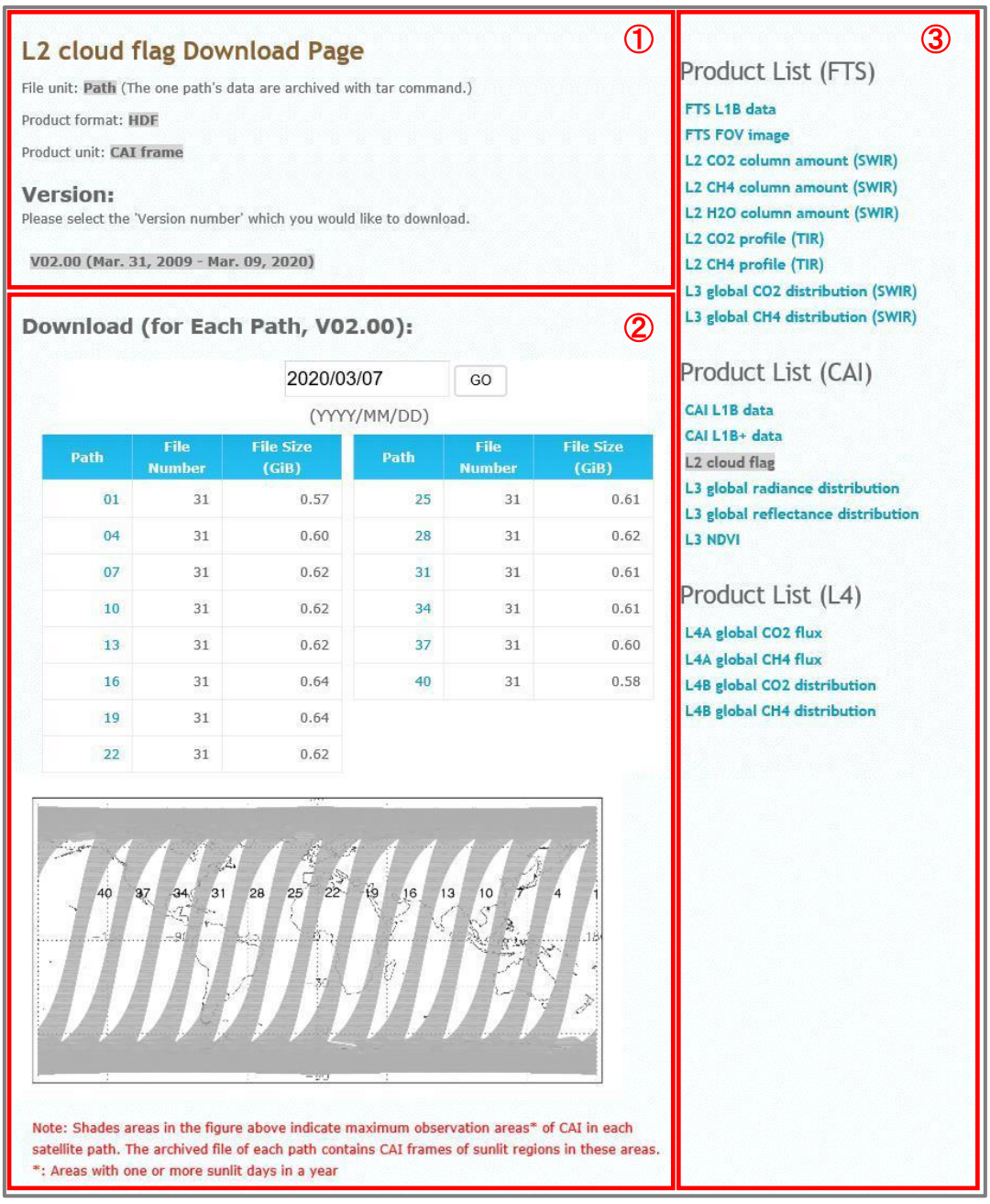
①提供期間より先を指定した場合

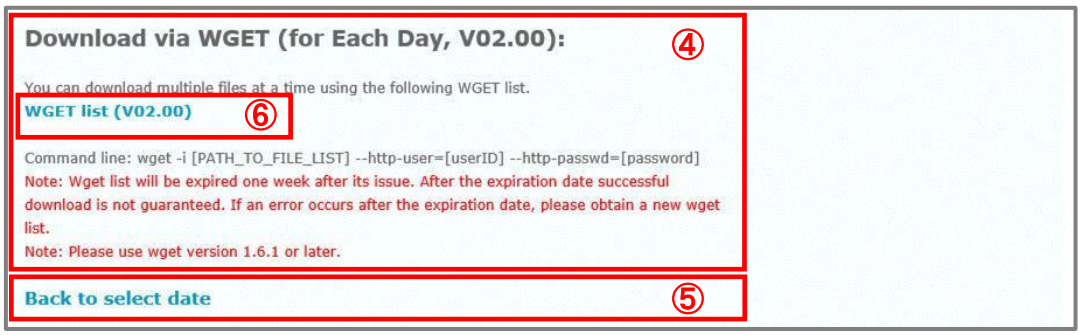
②提供期間より前を指定した場合



(4) 『プロダクトダウンロード詳細　(パス単位)』画面

プロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）や選択した観測日のパス一覧、WGET リスト情報を表示します。次に、WGET リストへのリンク（下図⑥）をクリックすると、WGET リストをダウンロードします。

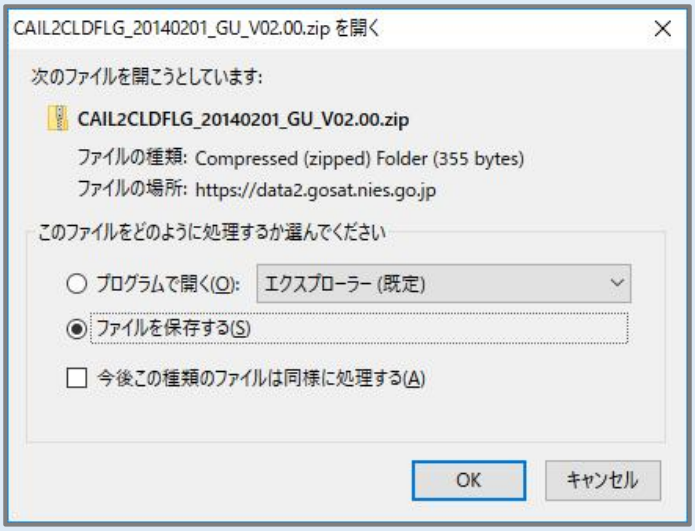




① プロダクト情報 ： 選択したプロダクト情報を表示します。
② パス一覧 ： 選択した観測日のパス一覧を示します。
③ プロダクト一覧 ： ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
④ WGET 取得方法 ： WGET リストファイルを使用したプロダクトダウンロードの方法を表示します。
⑤ 【Back to select date】リンク ： 『プロダクトダウンロード（パス単位）』画面に戻るためのリンクです。
⑥ 【WGET list】リンク ： WGET リストファイル（1 日分）へのリンクです。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

補足事項：WGET リストファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

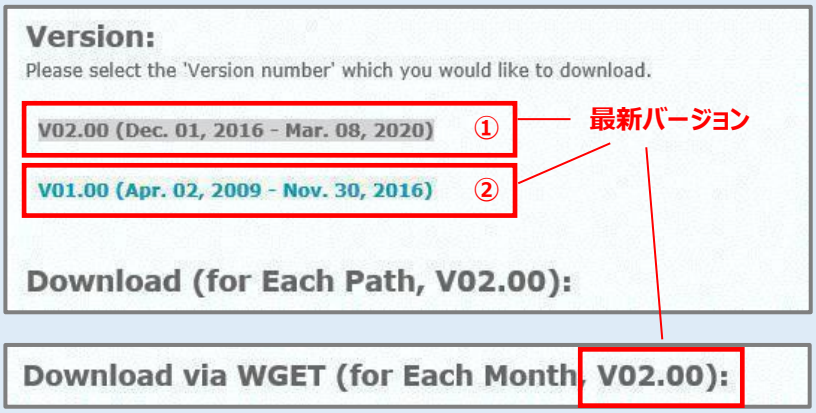


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

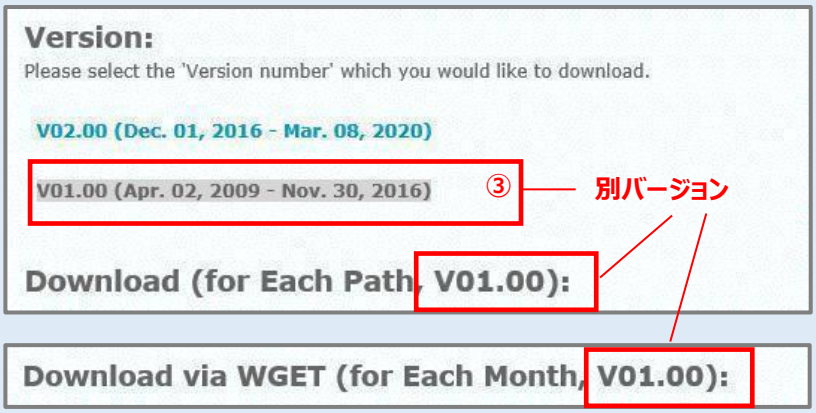
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



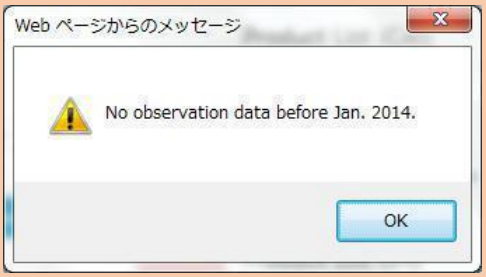
補足事項：パス一覧の観測日は以下の方法で変更出来ます。

①「Go」：入力した年月日に移動します。

注意事項：パス一覧に表示したい観測日が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

①提供期間より先を指定した場合

②提供期間より前を指定した場合



(5) WGET リストファイルの解凍

(3)(4)で、ダウンロードした WGET リストファイル（Zip 形式）を解凍します。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

(6) WGET コマンドの実行

以下の WGET コマンドを実行し、複数のファイルを一括してダウンロードします。

```
$wget   -i [(5)で解凍した wget リストファイル]
        --http-user=[ログイン時のメールアドレス]
        --http-passwd=[ログイン時のパスワード]
```

(7) 圧縮ファイルの解凍

(6)でダウンロードしたプロダクトアーカイブファイル（tar、もしくは tar.gz 形式）を解凍します。

9.2.2 日単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、WGET コマンドを使用して日単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、FTS L1B data プロダクトをダウンロードするための手順を示します（日単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

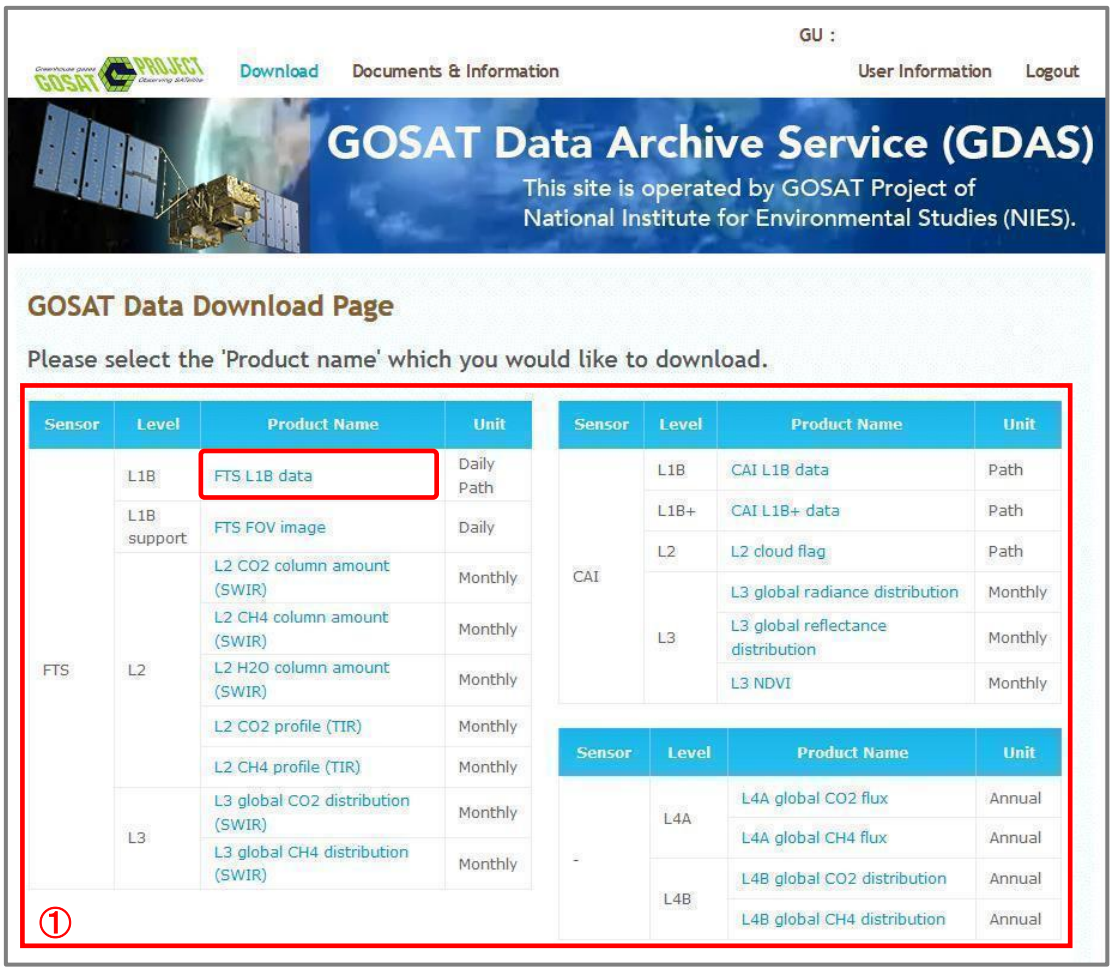
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。日単位のプロダクト（例として、FTS L1B data）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（日単位）』画面に移動します。



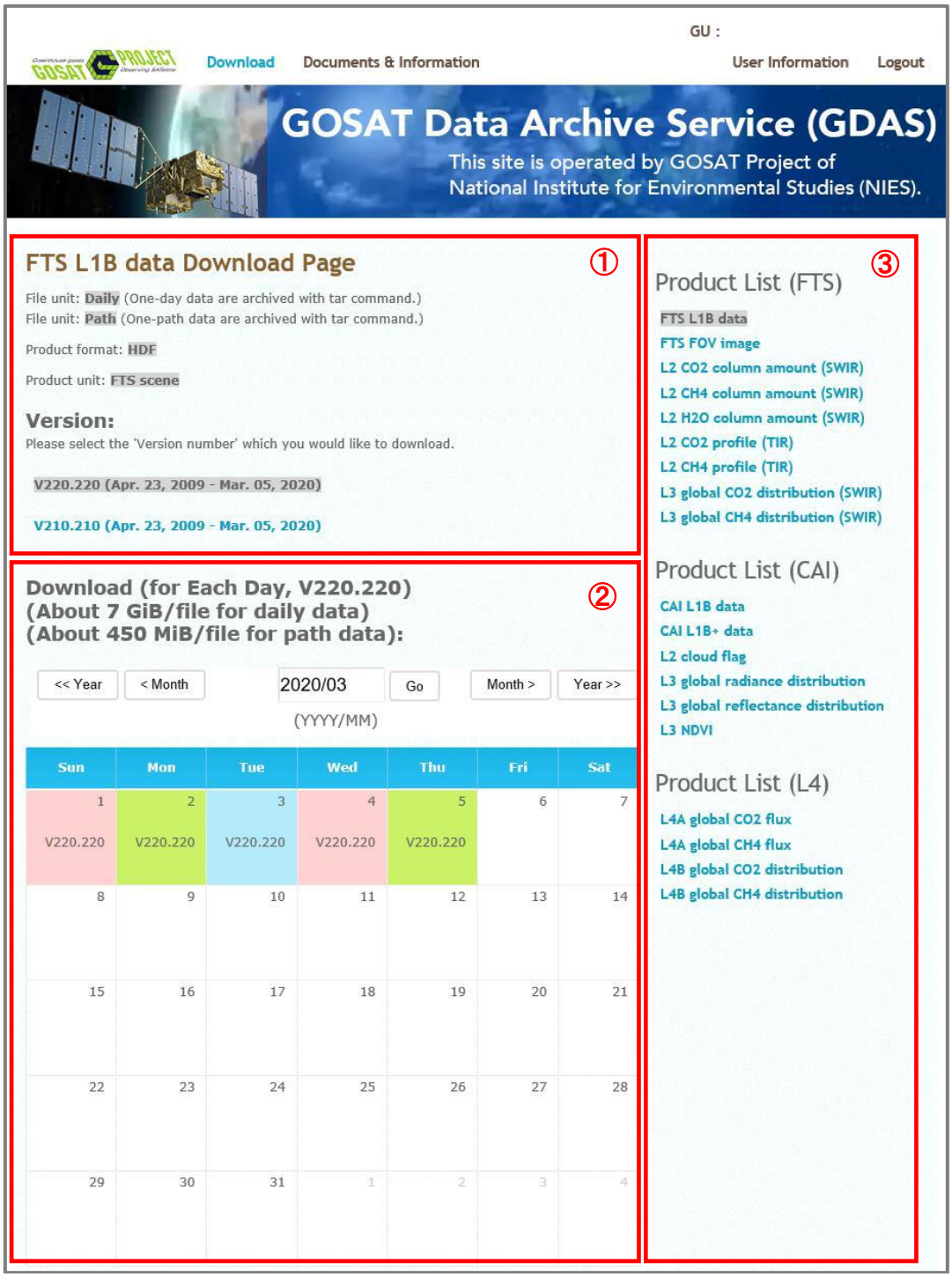
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

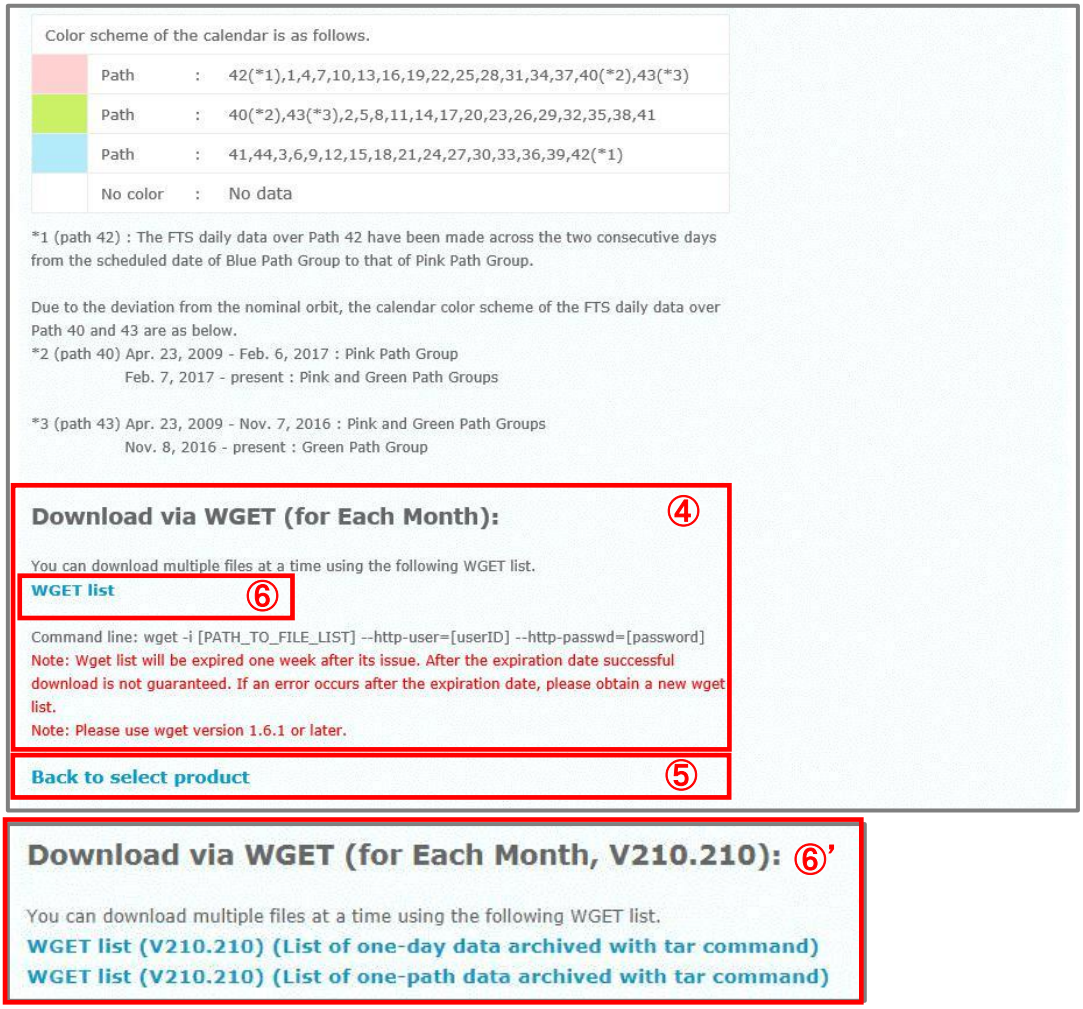
重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

(3) 『プロダクトダウンロード （日単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）や観測日を示すカレンダー、WGET リスト情報を表示します。次に、WGET リストへのリンク（下図⑥）をクリックすると、WGET リストをダウンロードします。次の月や年の WGET リストを取得する場合には、カレンダーに表示する観測年月を変更します。

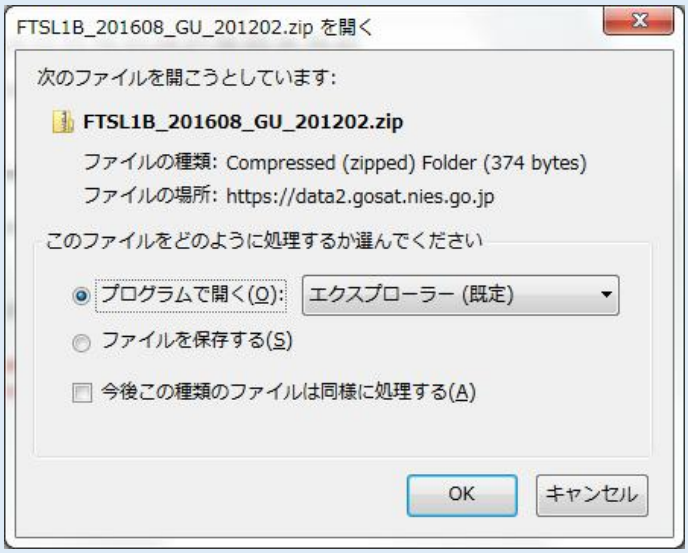




①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	観測日カレンダー	：	プロダクトの観測日をカレンダー形式で表示します。
③	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
④	WGET 取得方法	：	WGET リストファイルを使用したプロダクトダウンロードの方法を表示します。
⑤	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。
⑥	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（1 か月分）へのリンクです。 ⑥'：FTS L1B の場合、WGETリストは、日単位アーカイブファイル用とパス単位アーカイブファイル用の 2 種類あります。

補足事項：カレンダーの背景色は、GOSAT の観測の３日回帰に合わせて、パス番号を３つのグループで色分けしています。

補足事項：WGET リストファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

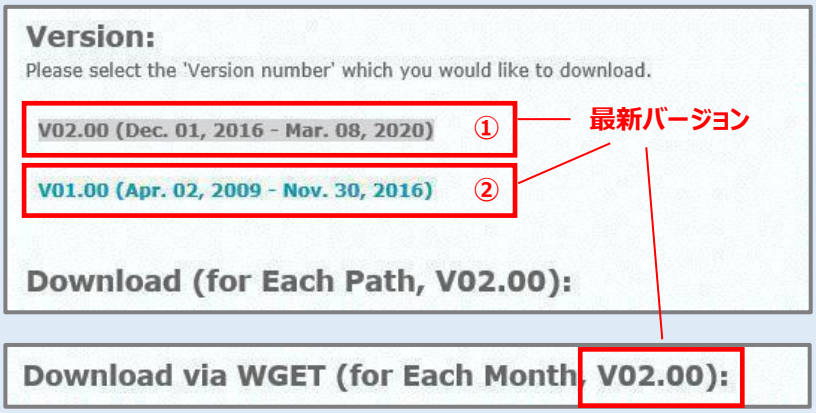


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

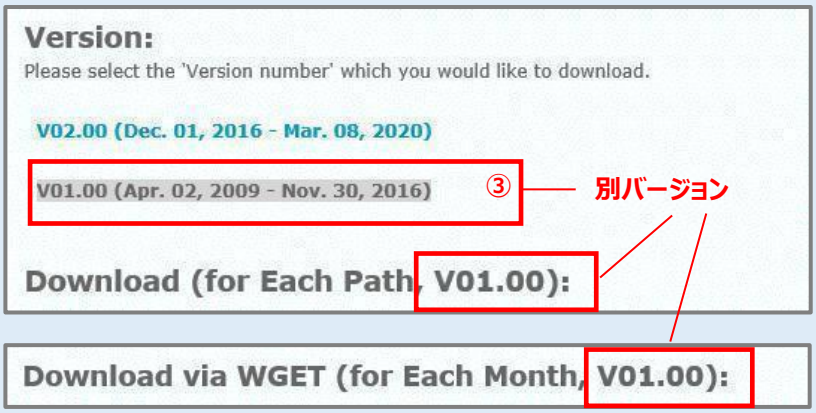
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



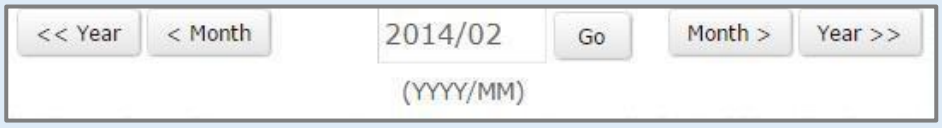
【別バージョン】をクリック後



補足事項：カレンダーの利用方法

カレンダーに表示する観測年月は複数の方法で変更出来ます。

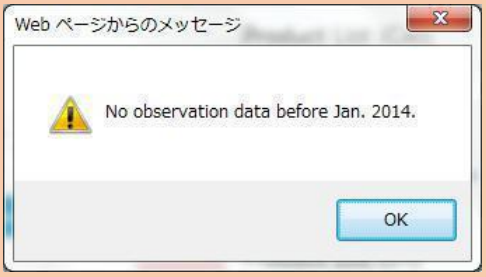
① 「Go」　　：入力した年月に移動します。
② 「<< Year」　：表示した月から 1 年前の同月に移動します。
③ 「< Month」　：表示した月の前の月に移動します。
④ 「Month >」　：表示した月の前の月に移動します。
⑤ 「Year >>」　：表示した月から 1 年後の同月に移動します。



注意事項：カレンダーに表示したい観測年月が提供期間から外れた場合は、ポップアップ画面にて通知します。

①提供期間より先を指定した場合

②提供期間より前を指定した場合



(4) WGET リストファイルの解凍

(3)で、ダウンロードした WGET リストファイル（Zip 形式）を解凍します。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

(5) WGET コマンドの実行

以下の WGET コマンドを実行し、複数のファイルを一括してダウンロードします。

```
$wget   -i [(4)で解凍した wget リストファイル]
        --http-user=[ログイン時のメールアドレス]
        --http-passwd=[ログイン時のパスワード]
```

(6) 圧縮ファイルの解凍

(5)でダウンロードしたプロダクトアーカイブファイル（tar、もしくは tar.gz 形式）を解凍します。

9.2.3 月単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、WGET コマンドを使用して月単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L2 CO2 column amount (SWIR)プロダクトをダウンロードするための手順を示します（月単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

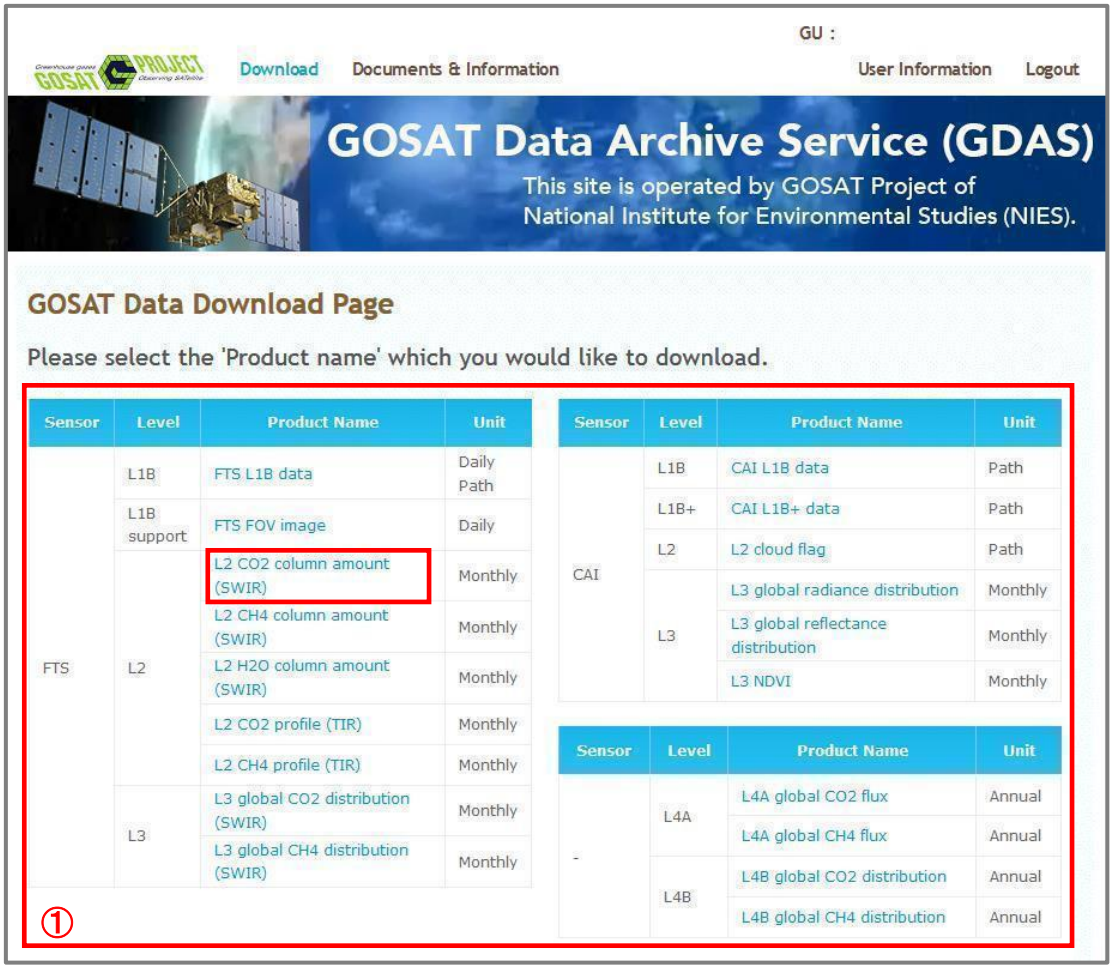
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。月単位のプロダクト（例として、L2 CO2 column amount (SWIR)）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（月単位）』画面に移動します。



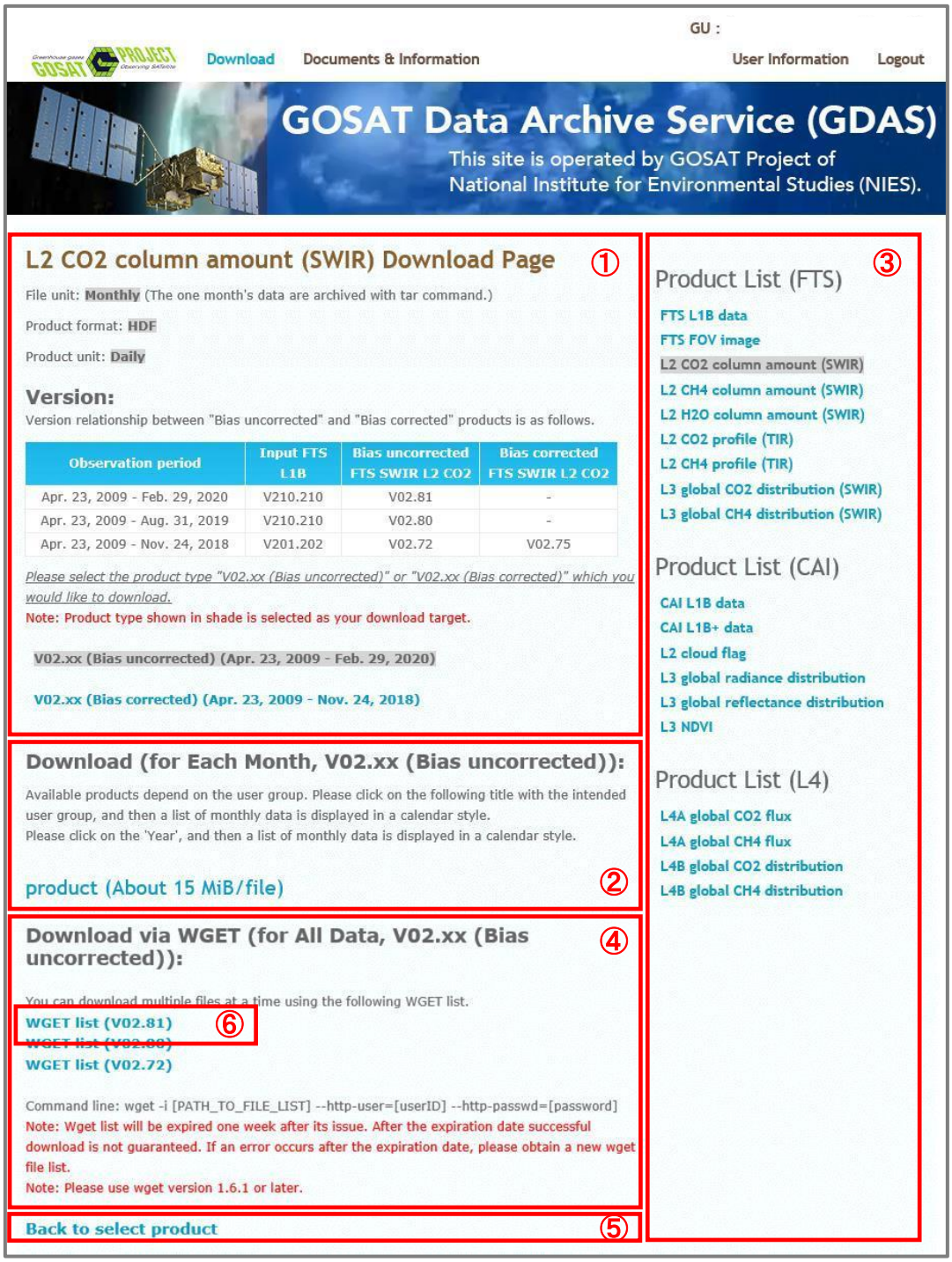
① プロダクト一覧 ： ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

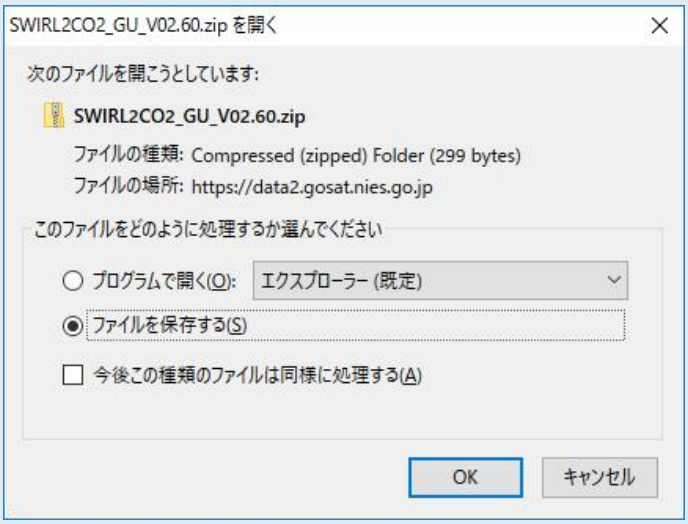
(3) 『プロダクトダウンロード （月単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）やプロダクト一覧）、WGET リスト情報を表示します。次に、WGET リストへのリンク（下図⑥）をクリックすると、WGET リストをダウンロードします。



①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	【プロダクト】リンク	：	月単位にアーカイブされたファイル一覧を表示します。
③	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
④	WGET 取得方法	：	WGET リストファイルを使用したプロダクトダウンロードの方法を表示します。
⑤	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。
⑥	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（全期間）へのリンクです。

補足事項：WGET リストファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。

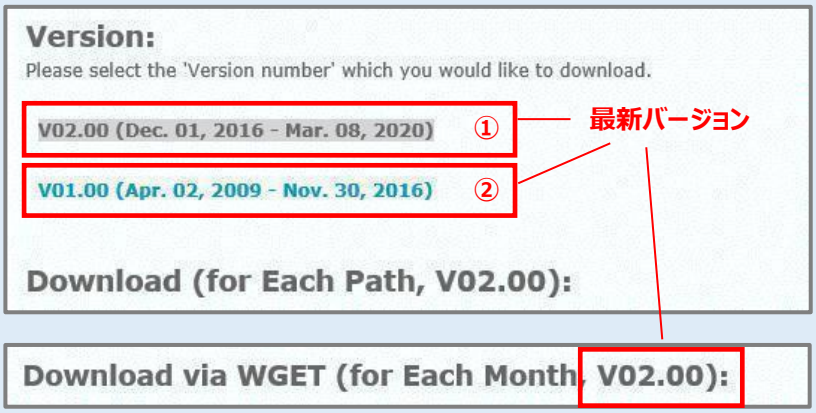


補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

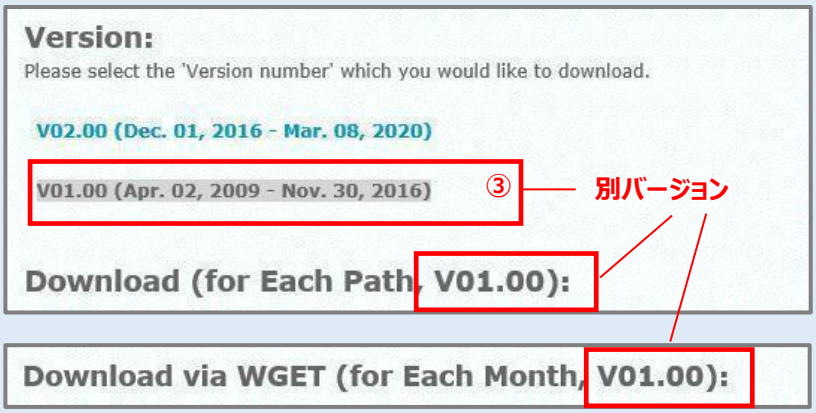
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



(4) WGET リストファイルの解凍

(3)で、ダウンロードした WGET リストファイル（Zip 形式）を解凍します。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

(5) WGET コマンドの実行

以下の WGET コマンドを実行し、複数のファイルを一括してダウンロードします。

$wget　-i [(4)で解凍した wget リストファイル]
　　--http-user=[ログイン時のメールアドレス]
　　--http-passwd=[ログイン時のパスワード]

(6) 圧縮ファイルの解凍
(5)でダウンロードしたプロダクトアーカイブファイル（tar、もしくは tar.gz 形式）を解凍します。

9.2.4 年単位にアーカイブされたプロダクトのダウンロード

この節では、WGET コマンドを使用して年単位にアーカイブされたプロダクトをダウンロードするための手順をご説明します。例として、L4A global CO2 flux プロダクトをダウンロードするための手順を示します（年単位にアーカイブされた他のプロダクトも同様の手順でダウンロード出来ます。）。

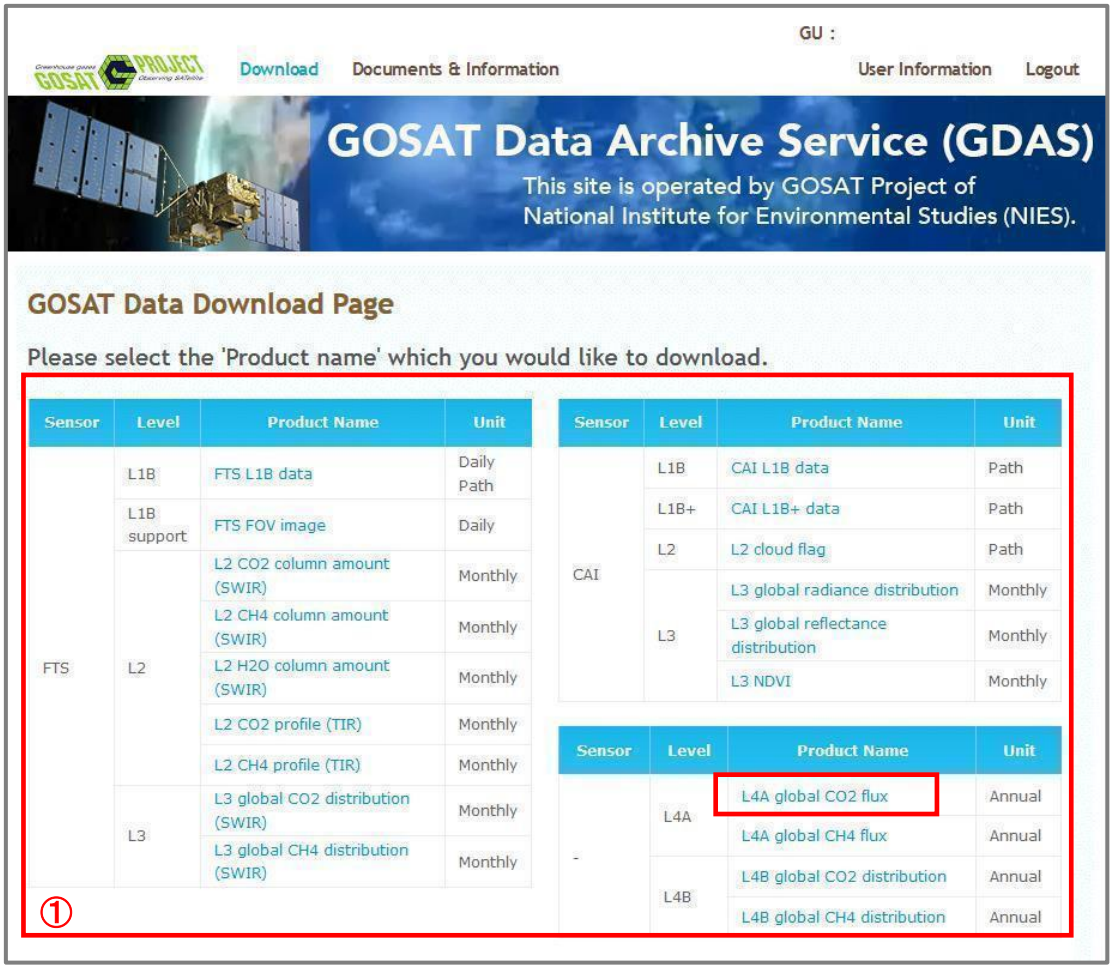
(1) 『ダウンロード』画面への移動

8.1 節に示したログインの手順に従い、『ダウンロード』画面に移動します。

ログイン済みの場合には、メニューから 『Download』をクリックすると、『ダウンロード』画面に移動します。

(2) 『ダウンロード』画面

ログインしたユーザが取得可能なプロダクトの一覧を表示します。年単位のプロダクト（例として、L4A global CO2 flux）をクリックすると、『プロダクトダウンロード（年単位）』画面に移動します。



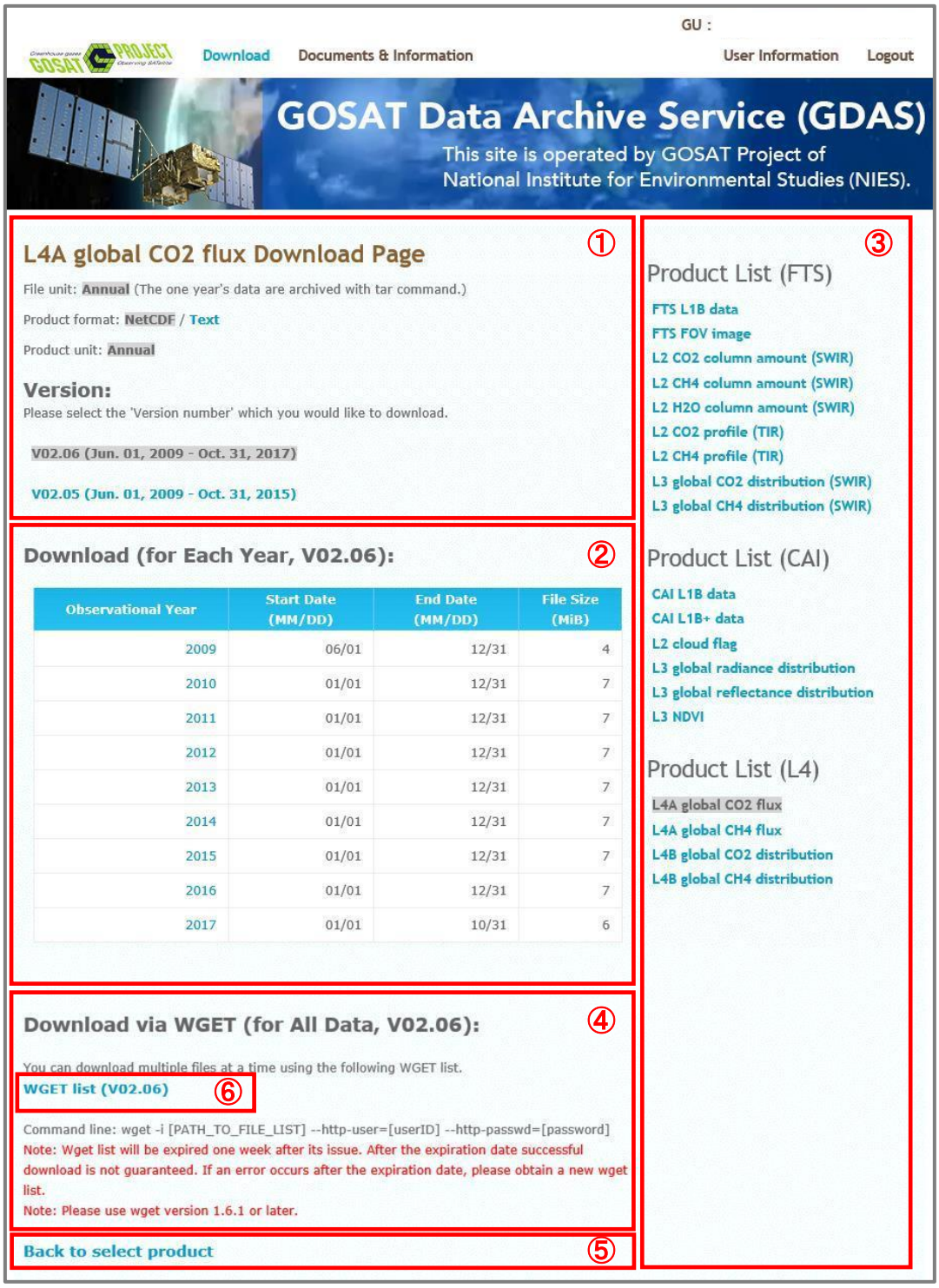
① プロダクト一覧　　：　ユーザがダウンロード出来るプロダクトの一覧を表示します。

重要事項：ログインユーザのユーザ区分に合わせて、取得可能なプロダクトは異なります。詳細は、「13.2 提供プロダクト毎の提供形式」を参照して下さい。

補足事項：Unit は提供単位を示します。

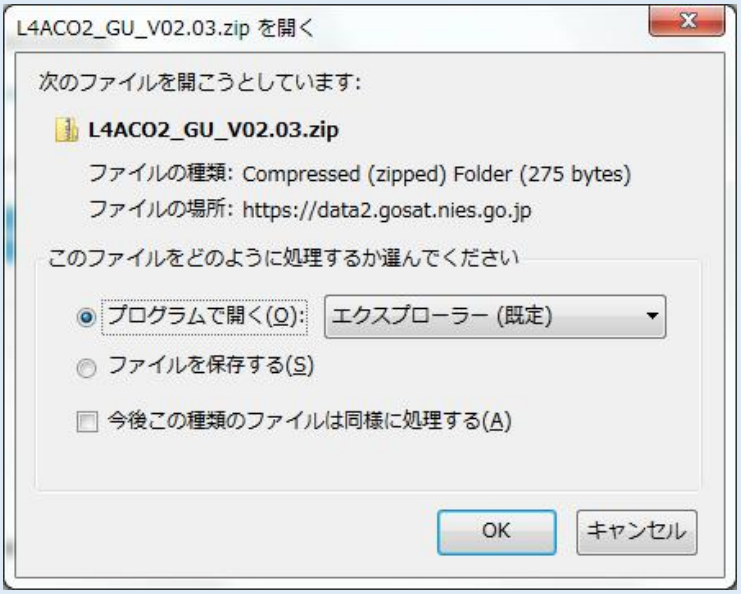
(3) 『プロダクトダウンロード （年単位)』画面

選択したプロダクトの情報（提供単位、プロダクトフォーマット、バージョン）や WGET リスト情報を表示します。次に、WGET リストへのリンク（下図⑥）をクリックすると、WGET リストをダウンロードします。



①	プロダクト情報	：	選択したプロダクト情報を表示します。
②	プロダクト一覧	：	年単位にアーカイブされたファイルの一覧を表示します。
③	プロダクト一覧	：	ユーザが取得出来る『プロダクトダウンロード』画面へのリンクです。
④	WGET 取得方法	：	WGET リストファイルを使用したプロダクトダウンロードの方法を表示します。
⑤	【Back to select product】リンク	：	『ダウンロード』画面に戻るためのリンクです。
⑥	【WGET list】リンク	：	WGET リストファイル（全期間）へのリンクです。

補足事項：WGET リストファイルのダウンロード例（Firefox）を以下に示します。



補足事項：プロダクトフォーマットを切り替える方法

初期画面では「netCDF（下図①）」が表示されます。

「テキスト」を表示する場合は、【Text】リンク（下図②）をクリックします。

【初期画面】

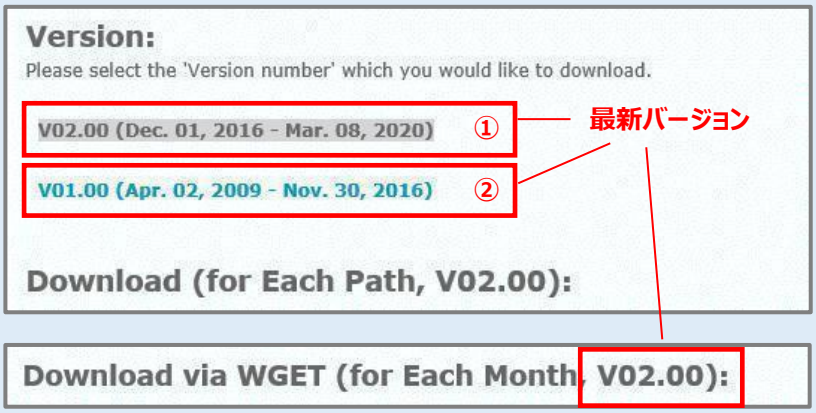
【Text】をクリック後

補足事項：複数バージョンを保有するプロダクトで別バージョンを表示する方法

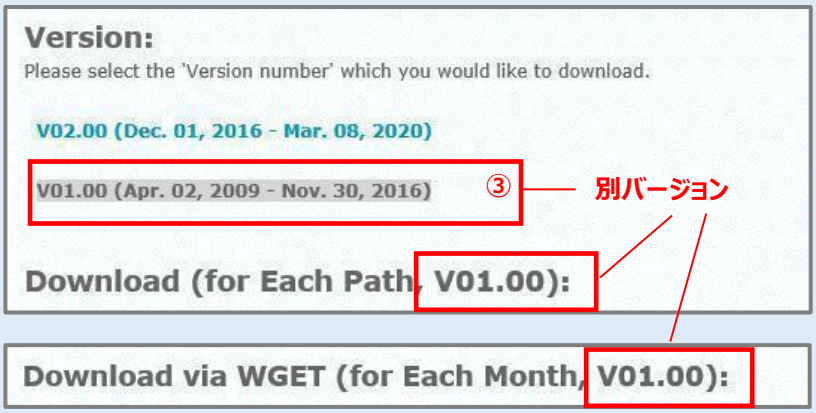
初期画面では「最新バージョン（下図①）」が表示されます。

「別バージョン」を表示する場合は、表示したい「別バージョン（下図②）」をクリックすると、「別バージョン（下図③）」が表示されます。

【初期画面】



【別バージョン】をクリック後



(4) WGET リストファイルの解凍

(3)で、ダウンロードした WGET リストファイル（Zip 形式）を解凍します。

重要事項：ダウンロードしたプロダクトは圧縮ファイル解凍ツールを用いて展開・解凍して下さい。

(5) WGET コマンドの実行

以下の WGET コマンドを実行し、複数のファイルを一括してダウンロードします。

$wget　-i [(4)で解凍した wget リストファイル]
　　--http-user=[ログイン時のメールアドレス]
　　--http-passwd=[ログイン時のパスワード]

(6) 圧縮ファイルの解凍
(5)でダウンロードしたプロダクトアーカイブファイル（tar、もしくは tar.gz 形式）を解凍します。

10 GOSAT プロダクトに関する情報を取得するための手順

この章では、GOSAT プロダクトに関する情報を取得するための手順についてご説明します。一般ユーザと特定ユーザでは提供する情報の種類は異なります。このため、本章では、特定ユーザ向けに提供する情報については、(特定ユーザ向け)と記載します。

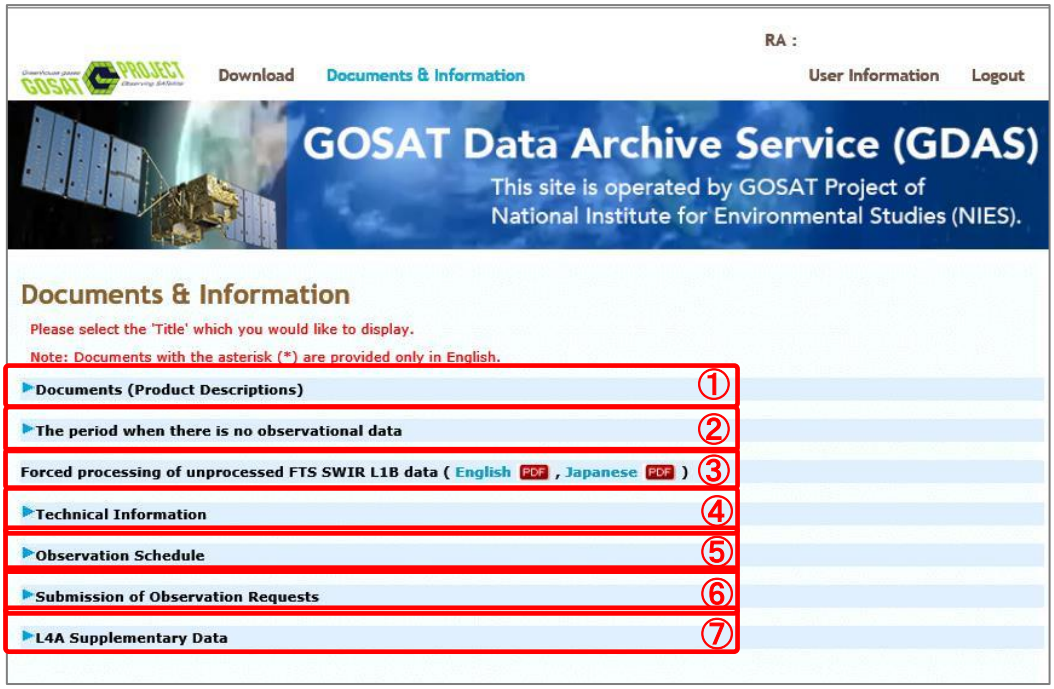
10.1 Documents & Information 画面

(1) 『Documents & Information』画面への移動

『ダウンロード』画面（8.1 節(3)参照）のメニューから 【Documents & Information】をクリックすると、 『Documents & Information』画面に移動します。

(2) 『Documents & Information』画面

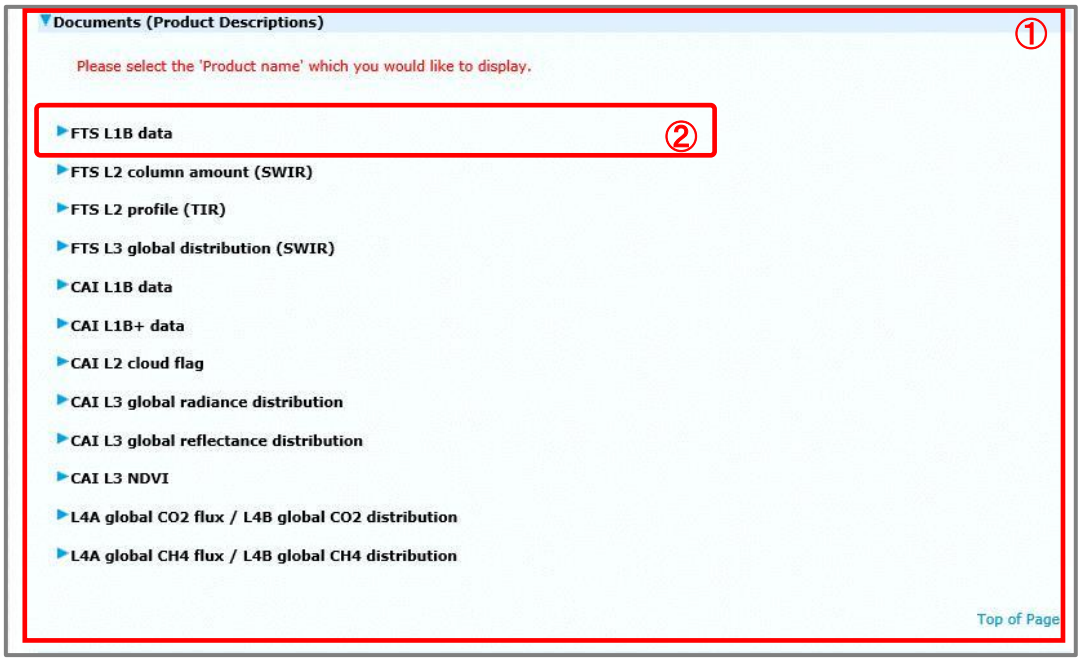
GOSAT のドキュメントやプロダクトに関する情報が表示されます。また、各項目をクリックすると、各項目の情報を表示します。



① 【Documents】 : 『プロダクト関連情報』を表示します。
② 【The period when there is no observational data】 : 『データ欠損の観測期間リスト』を表示します。
③ 【Forced processing of unprocessed FTS SWIR L1B data】 : 『未算出スキャンに対する強制処理の依頼方法』を表示します。（特定ユーザのみ）
④ 【Technical Information】 : 『センサーの技術情報』を表示します。
⑤ 【Observational Schedule】 : 『観測運用状況』を表示します。
⑥ 【Observational Request Submission】 : 『観測要求の依頼方法』を表示します。（特定ユーザのみ）
⑦ 【L4A Supplementary Data】 : 『L4A プロダクト補助データ』を表示します。（特定ユーザのみ）

10.2　ドキュメント（プロダクト説明書）

ドキュメントを提供するプロダクト一覧（下図①）が表示されます。各プロダクト名（下図②）をクリックすると、各プロダクトの情報（下図③）を表示します。また、プロダクトの情報の各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。



① Documents (Product Descriptions)　：　ドキュメントが取得出来るプロダクトの一覧を表示します。

② プロダクト名（FTS L1B data 等）：　プロダクトのドキュメントの一覧を表示するためのリンクです。

③ プロダクト情報　：　プロダクトのドキュメントの一覧を表示します。

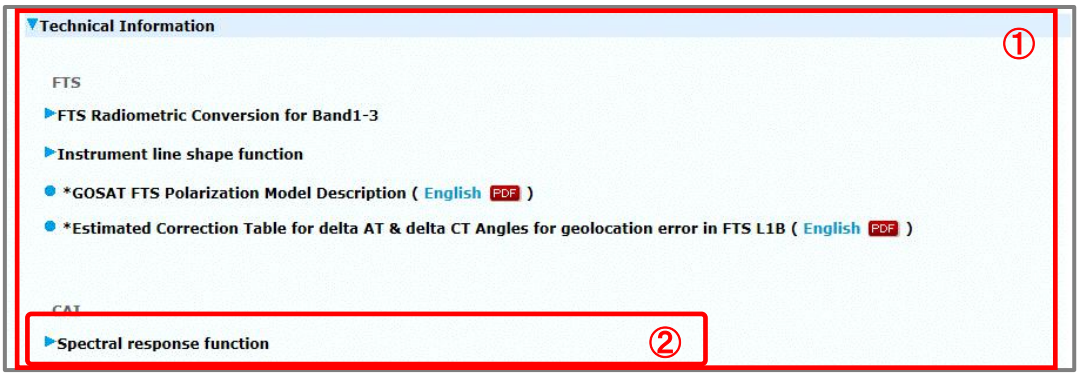
10.3　データ欠損の観測期間リスト

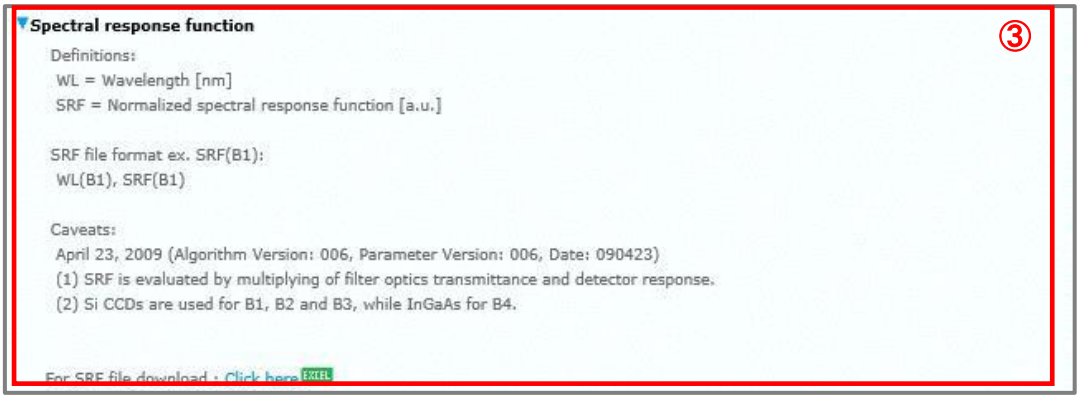
データ欠損の観測期間リストを表示します。また、リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。

① データ欠損の観測期間リスト　：　データ欠損の観測期間リストを表示します。

10.4　センサーの技術情報

センサーの技術情報（下図①）が表示されます。各技術情報のタイトル（下図②）をクリックすると、各技術情報の詳細（下図③）を表示します。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。

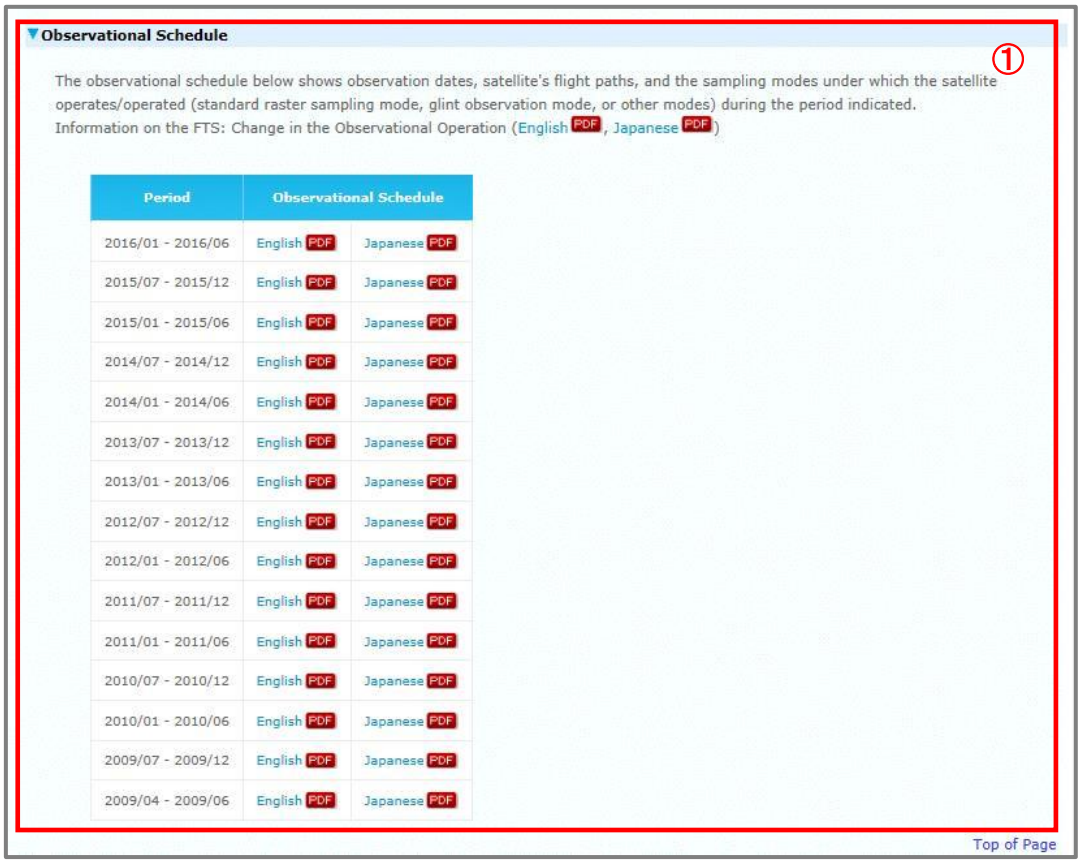




① Technical Information　：　各センサーの技術情報の一覧を表示します。
② 技術情報（タイトル）　：　センサーの技術情報の内容を表示するためのリンクです。
③ 技術情報　　センサーの技術情報の内容を表示します。

10.5　観測運用状況

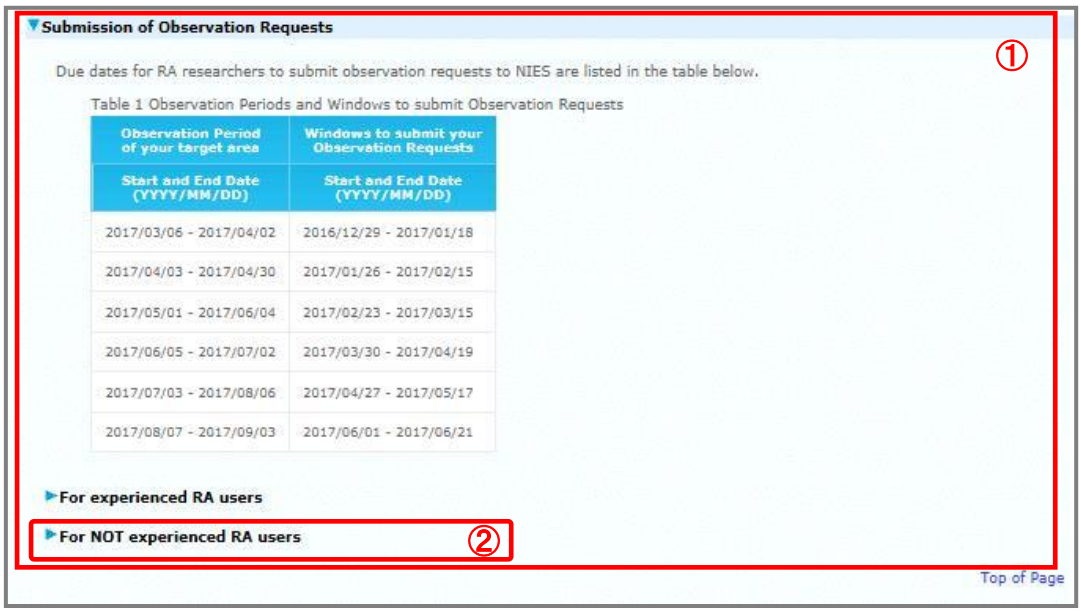
観測運用状況の一覧を表示します。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。

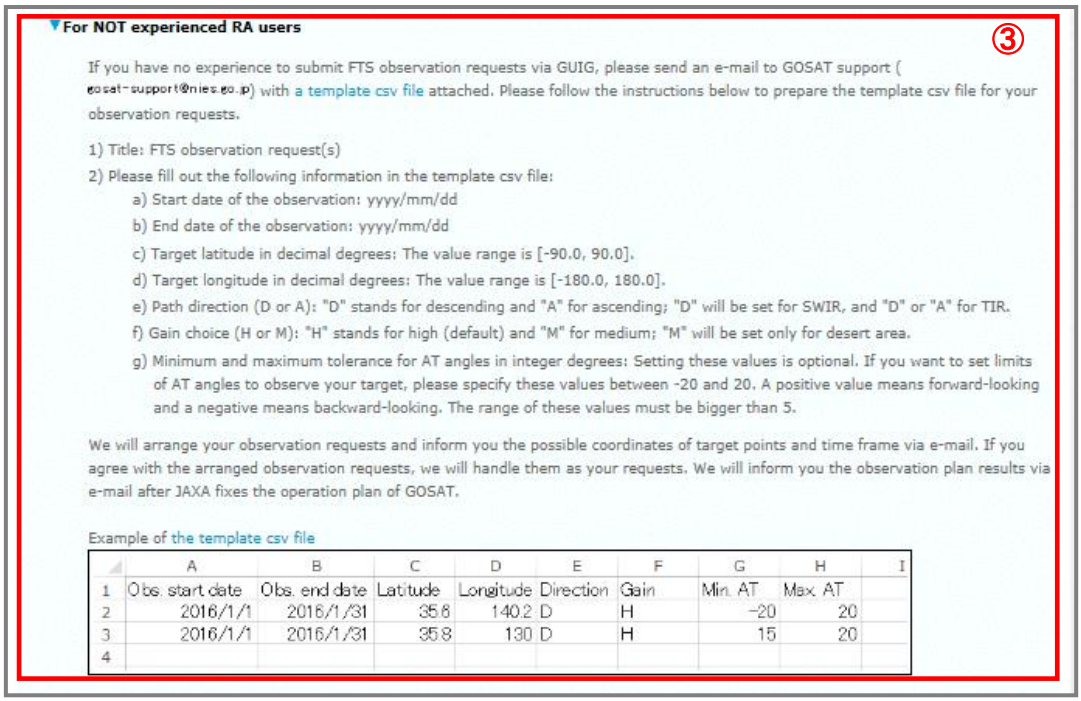


① Observational Schedule ： 観測運用状況を表示します。

10.6　観測要求の依頼方法（特定ユーザのみ）

観測要求の依頼方法（下図①）が表示されます。また、各ユーザに対する観測要求の依頼方法のタイトル（下図②）をクリックすると、各ユーザ向けの観測要求の依頼方法の詳細（下図③）を表示します。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。





① Submission of Observation Requests ： 観測要求の依頼方法を表示します。

② 各ユーザ向けの依頼方法（タイトル） ： 各ユーザに対する観測要求の依頼方法を表示するためのリンクです。

③ 各ユーザ向けの依頼方法 ： 各ユーザ向けの観測要求の依頼方法の詳細を表示します。

10.7　L4A プロダクト補助データ（特定ユーザのみ）

L4A プロダクト補助データの一覧を表示します。また、各リンクをクリックすると、ファイルをダウンロードします。

① L4A Supplementary Data　：　L4A 補助データを表示します。

11 ユーザ情報を変更するときの手順

この章では、メールアドレス（ユーザ ID）、パスワード、通知メールの言語変更等のユーザ情報を変更するための手順をご説明します。

11.1　メールアドレス（ユーザ ID）の変更

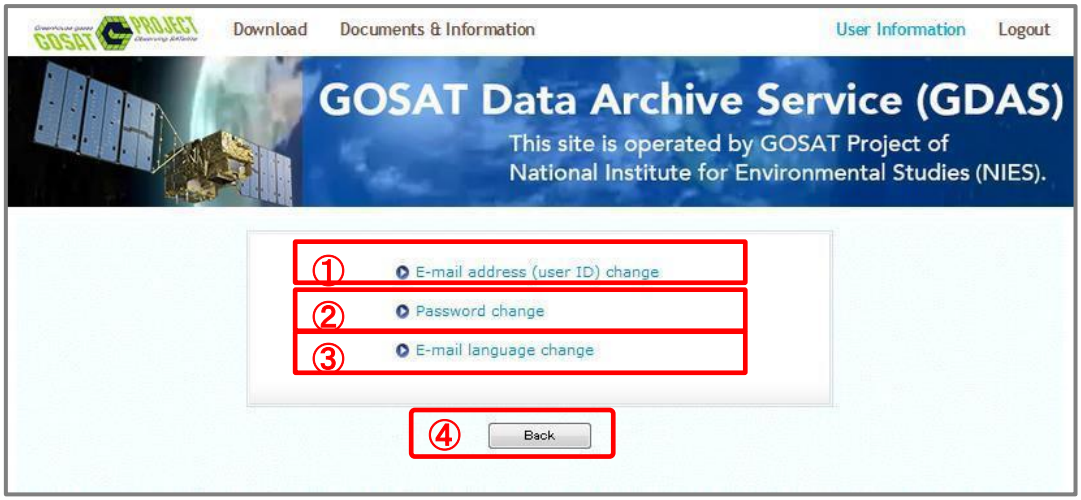
この節では、メールアドレス（ユーザ ID）を変更するための手順をご説明します。

(1) 『ユーザ情報変更』画面への移動

『ダウンロード』画面（8.1 節(3)参照）のメニューから【User Information】をクリックすると、『ユーザ情報変更』画面に移動します。

(2) 『ユーザ情報変更』画面

ユーザ情報の変更項目を表示します。【E-mail address (user ID) change】（下図①）をクリックすると、『メールアドレス変更』画面に移動します。



① 【E-mail address (user ID) change】リンク　：『メールアドレス変更』画面に移動するためのリンクです。

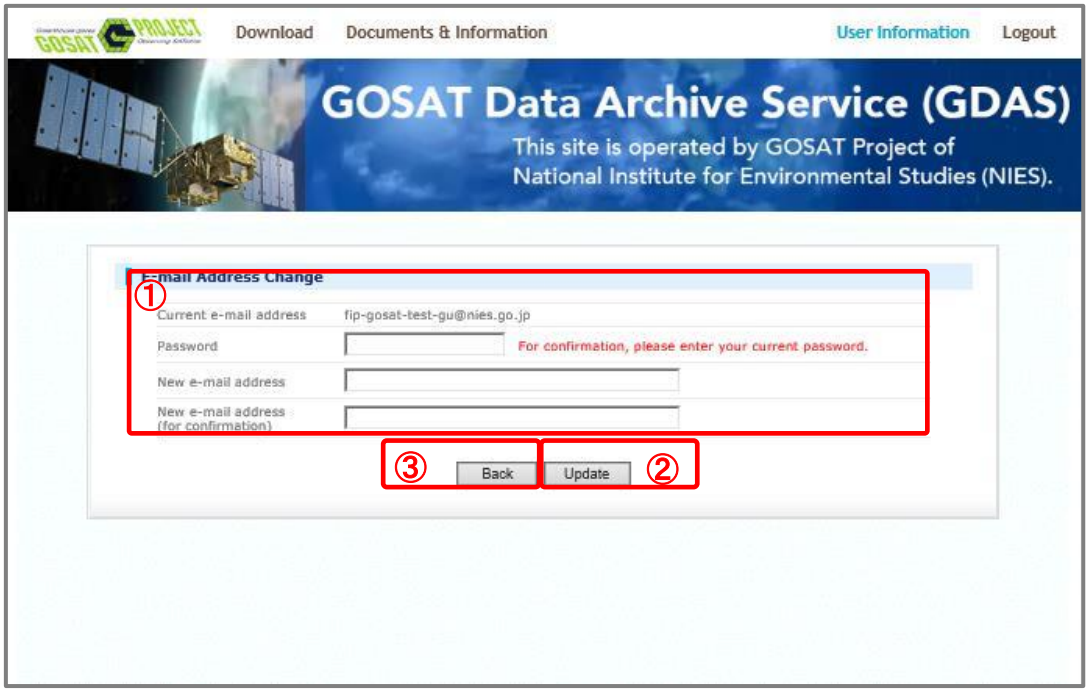
② 【Password change】リンク　：『パスワード変更』画面に移動するためのリンクです。

③ 【E-mail language change】リンク　：『通知メールの言語変更』画面に移動するためのリンクです。

④ 【Back】ボタン　：『ダウンロード』画面に戻るためのボタンです。

(3) 『メールアドレス変更』画面

メールアドレス変更の入力フォーム（下図①）にパスワードと新しいメールアドレスを記入します。記入完了後に、【Update】ボタン（下図②）をクリックすると、『メールアドレス変更完了』画面に移動します。

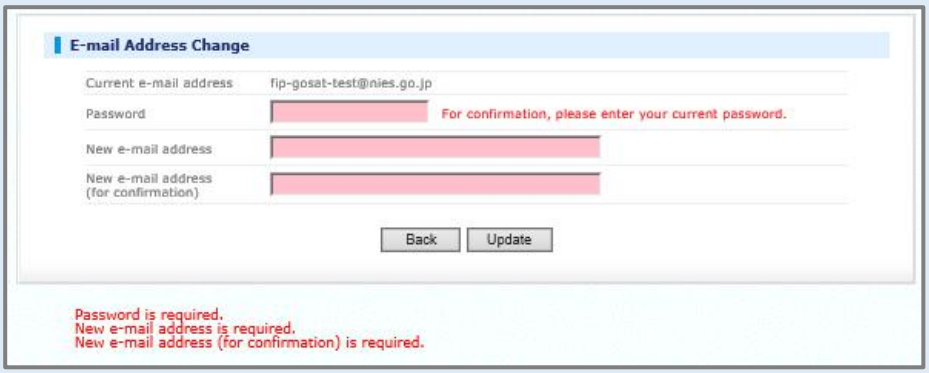


① メールアドレス変更フォーム ： パスワードと、新しいメールアドレスを入力します。

② 【Update】ボタン ： メールアドレス変更を実行するためのボタンです。

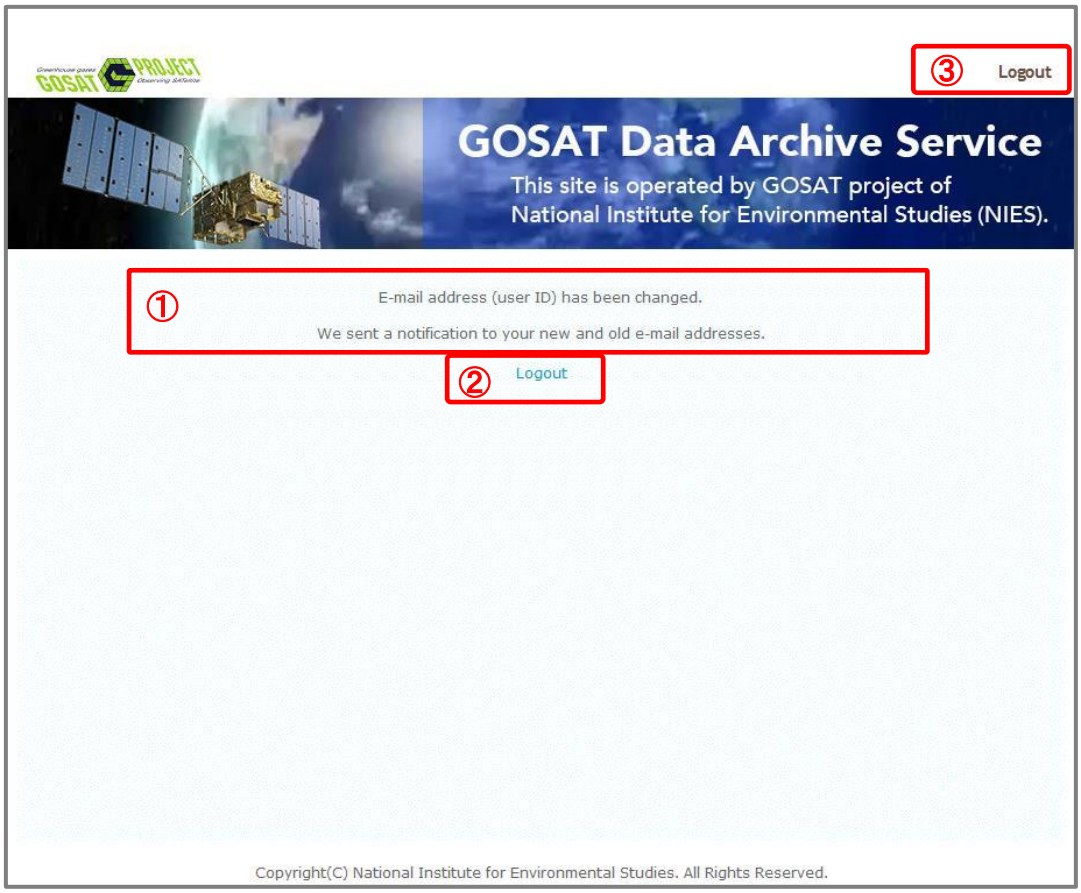
③ 【Back】ボタン ： 『ユーザ情報変更』画面に戻るためのボタンです。

補足事項：入力ミスがあった場合には、修正箇所を赤色で表示します。



(4) 『メールアドレス変更完了』画面

メールアドレスの変更手続きが完了し、新旧メールアドレスにメールアドレス変更手続き完了通知が送付されたことを確認します（下図①）。



① メールアドレス変更完了　：　メールアドレス変更が完了したことを表示します。
② 【Logout】リンク　：　ユーザ ID を変更したため、ログアウトを行うためのリンクです。
③ 【Logout】リンク　：　ユーザ ID を変更したため、ログアウトを行うためのリンクです。

重要事項：メールアドレスの変更を実行すると、変更前のメールアドレスと変更後のメールアドレスの両方に、メールアドレス変更完了の通知メールが送信されます。

注意事項：メールアドレス変更後は必ずログアウトして下さい。ログインしたユーザ ID が変更されたことにより、エラーが起きる場合があります。

11.2　パスワードの変更

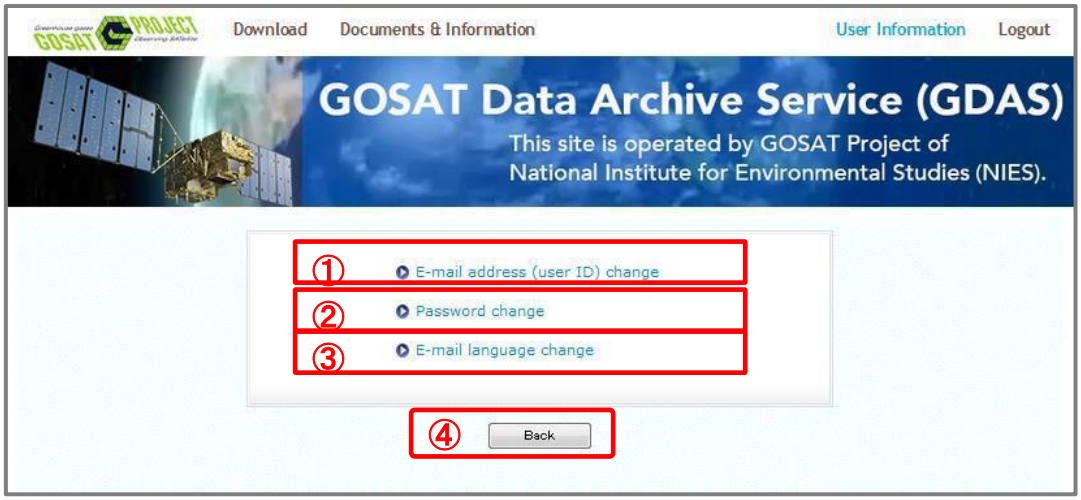
この節では、パスワードを変更するための手順をご説明します。

(1) 『ユーザ情報変更』画面への移動

『ダウンロード』画面（8.1 節(3)参照）のメニューから【User Information】をクリックすると、『ユーザ情報変更』画面に移動します。

(2) 『ユーザ情報変更』画面

ユーザ情報の変更項目を表示します。【Password change】（下図②）をクリックすると、『パスワード変更』画面に移動します。



① 【E-mail address (user ID) change】リンク　：『メールアドレス変更』画面に移動するためのリンクです。

② 【Password change】リンク　：『パスワード変更』画面に移動するためのリンクです。

③ 【E-mail language change】リンク　：『通知メールの言語変更』画面に移動するためのリンクです。

④ 【Back】ボタン　：『ダウンロード』画面に戻るためのボタンです。

(3) 『パスワード変更』画面

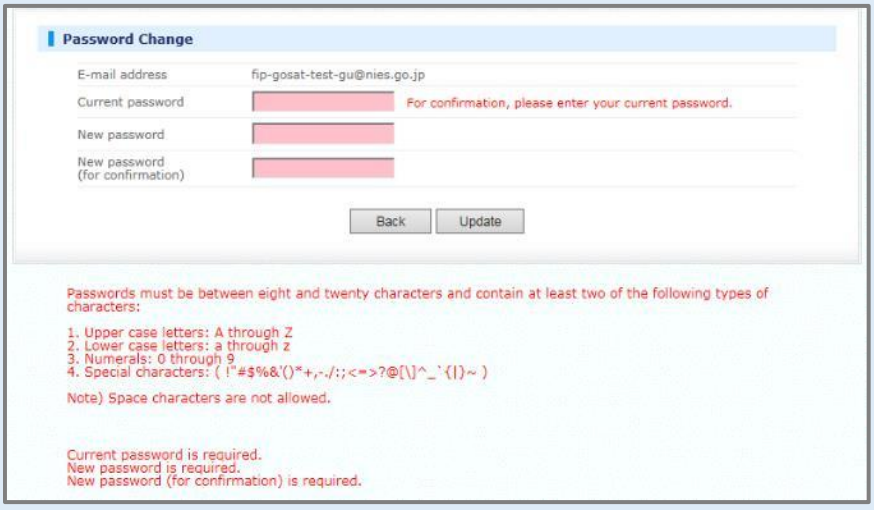
パスワード変更の入力フォーム（下図①）に現在のパスワードと新しいパスワードを記入します。記入完了後に、【Update】ボタン（下図②）をクリックすると、『パスワード変更完了』画面に移動します。

① パスワード変更フォーム　：　現在のパスワードと、新しいパスワードを入力します。

② 【Update】ボタン　：　パスワード変更を実行するためのボタンです。

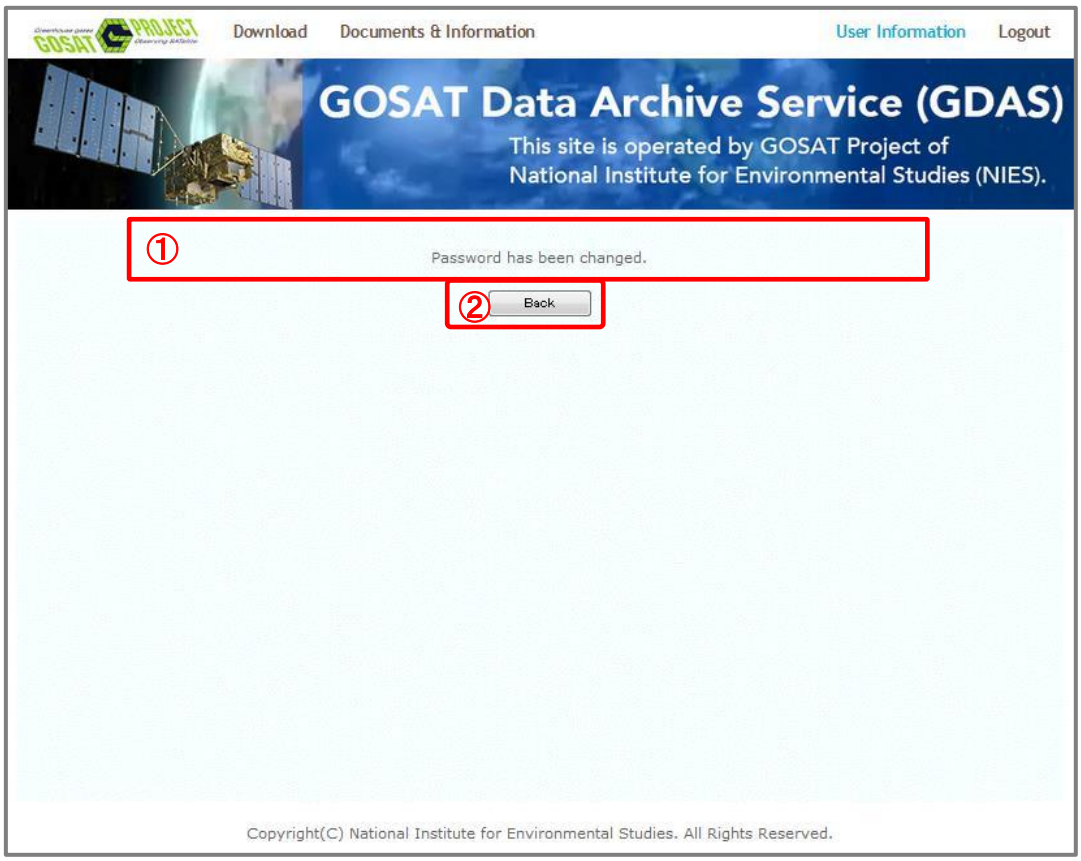
③ 【Back】ボタン　：　『ユーザ情報変更』画面に戻るためのボタンです。

補足事項：入力ミスがあった場合には、修正箇所を赤色で表示します。



(4) 『パスワード変更完了』画面

パスワードの変更手続きが完了したことを確認します（下図①）。



① パスワード変更完了　：　パスワード変更が完了したことを表示します。

② 【Back】ボタン　：　『ユーザ情報変更』画面に戻るためのボタンです。

11.3　通知メールの言語変更

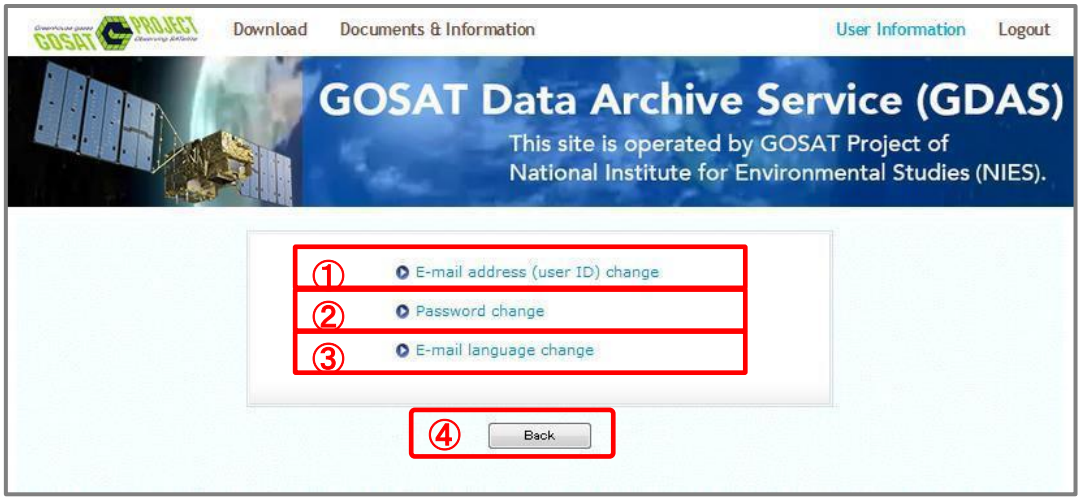
この節では、通知メールの言語を変更するための手順をご説明します。

(1) 『ユーザ情報変更』画面への移動

『ダウンロード』画面（8.1 節(3)参照）のメニューから【User Information】をクリックすると、『ユーザ情報変更』画面に移動します。

(2) 『ユーザ情報変更』画面

ユーザ情報の変更項目を表示します。【E-mail language change】（下図③）をクリックすると、『通知メールの言語変更』画面に移動します。



① 【E-mail address (user ID) change】リンク　：『メールアドレス変更』画面に移動するためのリンクです。

② 【Password change】リンク　：『パスワード変更』画面に移動するためのリンクです。

③ 【E-mail language change】リンク　：『通知メールの言語変更』画面に移動するためのリンクです。

④ 【Back】ボタン　：『ダウンロード』画面に戻るためのボタンです。

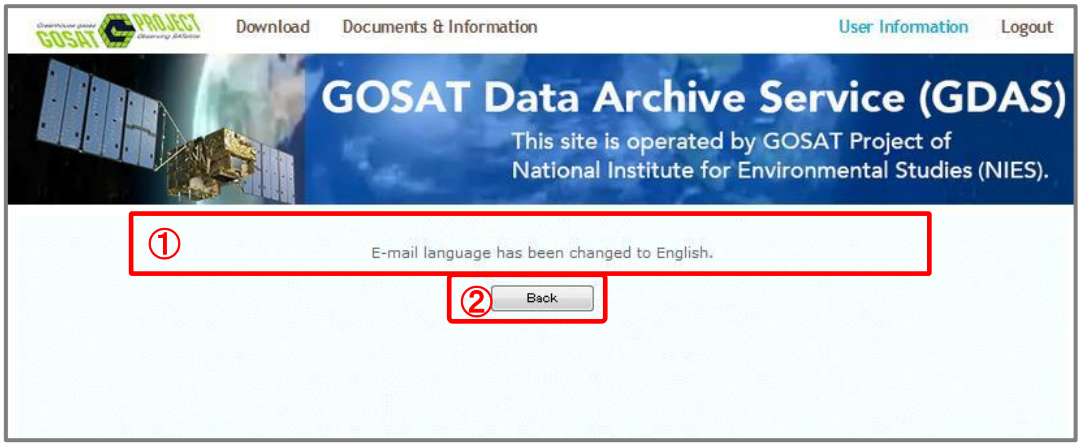
(3) 『通知メールの言語変更』画面

通知メールの言語の変更内容が表示されます。確認後に、【Update】ボタン（下図②）をクリックすると、『通知メールの言語変更完了』画面に移動します。

① 通知メールの言語変更内容 ： 通知メールの言語変更内容を表示します。
【Update】ボタン ： 通知メールの言語変更を実行するためのボタンです。
③ 【Back】ボタン ： 『ユーザ情報変更』画面に戻るためのボタンです。

(4) 『通知メールの言語変更完了』画面

通知メールの言語変更が完了したことを確認します（下図①）。



① 通知メールの言語変更完了 ： 通知メールの言語変更が完了したことを表示します。
② 【Back】ボタン ： 『ユーザ情報変更』画面に戻るためのボタンです。

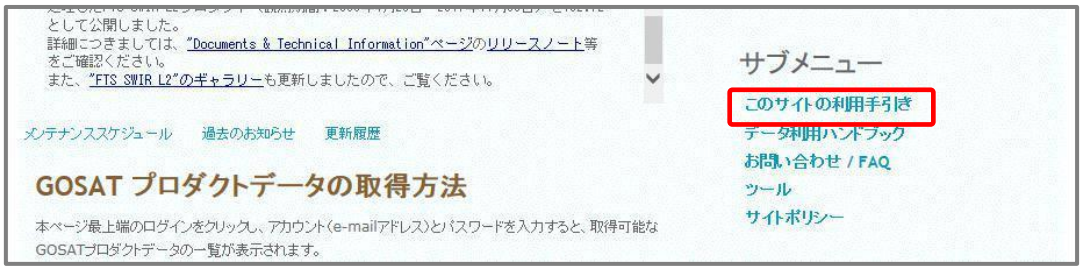
12 その他の情報を閲覧するための手順

この章では、GDAS サイトで提供されるその他の情報を閲覧するための手順をご説明します。

12.1　このサイトの利用手引き画面

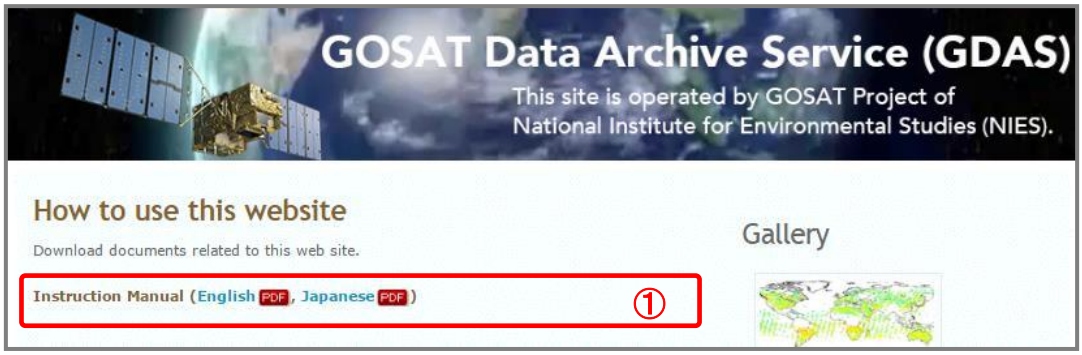
(1) 『このサイトの利用手引き』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のサブメニューで 『このサイトの利用手引き』をクリックすると、 『このサイトの利用手引き』画面に移動します。



(2) 『このサイトの利用手引き』画面

PDF ファイルのアイコンがついたリンクをクリックすると、操作マニュアルをダウンロードします。

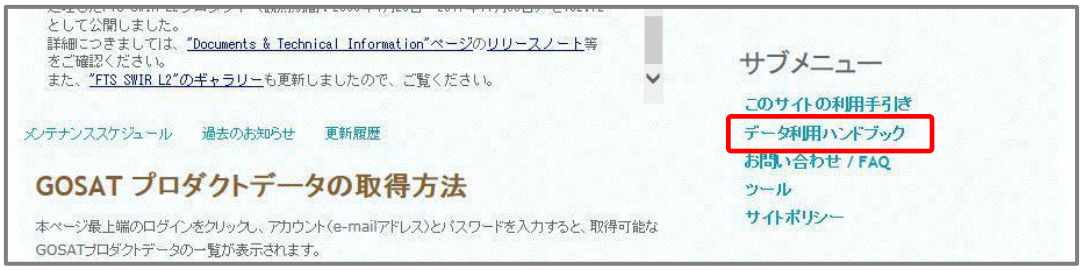


① 【Instruction Manual】リンク ： 操作マニュアル（PDF ファイル）へのリンクです。

12.2　データ利用ハンドブック画面

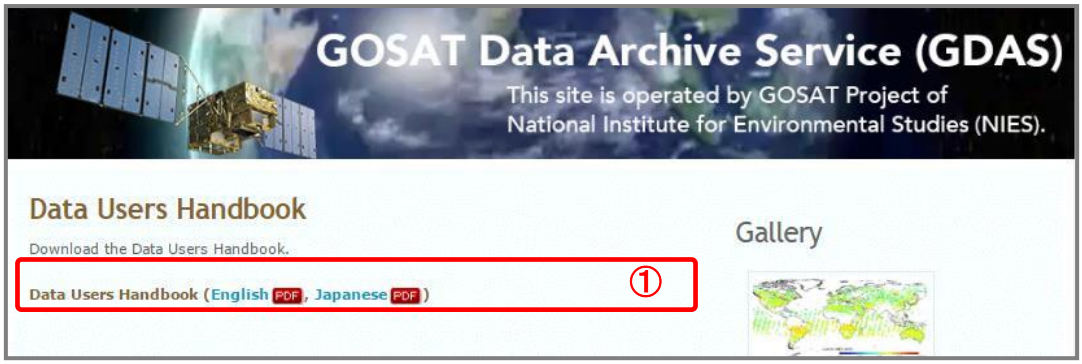
(1) 『データ利用ハンドブック』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のサブメニューで『データ利用ハンドブック』をクリックすると、『データ利用ハンドブック』画面に移動します。



(2) 『データ利用ハンドブック』画面

PDF ファイルのアイコンがついたリンクをクリックすると、データ利用ハンドブックをダウンロードします。

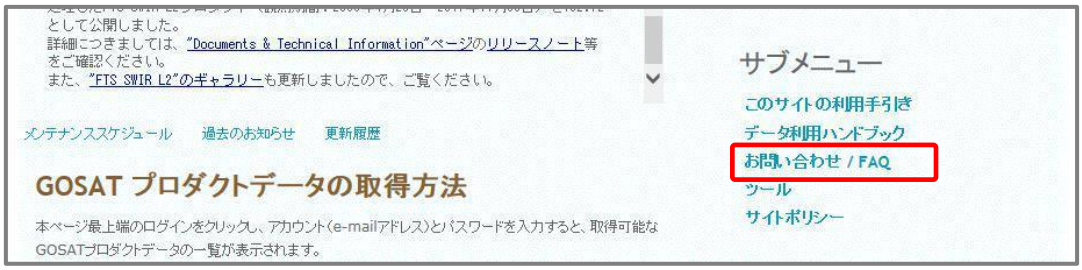


① 【Data Users Handbook】リンク ： データ利用ハンドブック（PDF ファイル）へのリンクです。

12.3　お問い合わせ / FAQ 画面

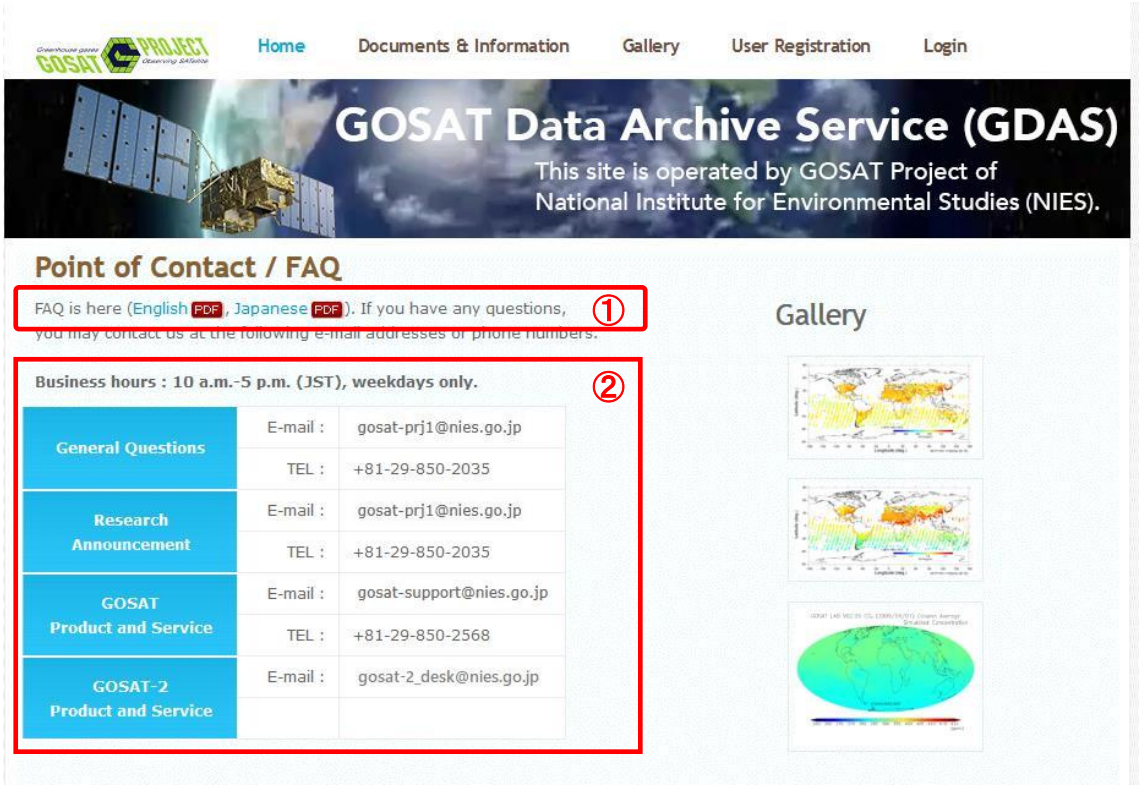
(1) 『お問い合わせ / FAQ』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のサブメニューで『お問い合わせ / FAQ』をクリックすると、 『お問い合わせ / FAQ』画面に移動します。



(2) 『お問い合わせ / FAQ』画面

PDF ファイルのアイコンがついたリンクをクリックすると、FAQ ファイルをダウンロードします。また、画面上に問い合わせ先が表示されます。



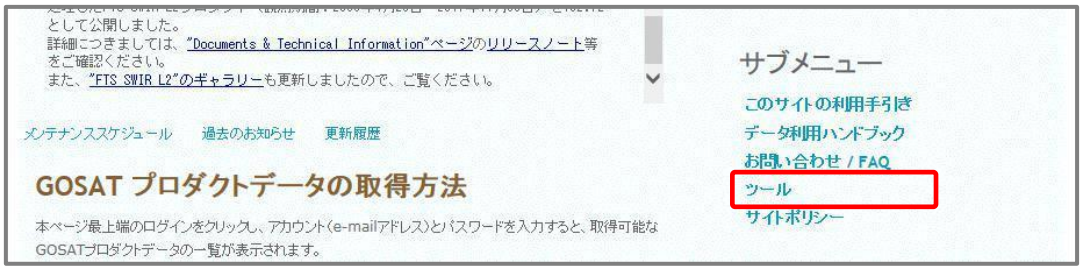
① 【FAQ】リンク　　：　FAQ（PDF ファイル）へのリンクです。

② お問い合わせ先　：　問い合わせの内容別に、問い合わせ先の連絡先を表示します。

12.4　ツール画面

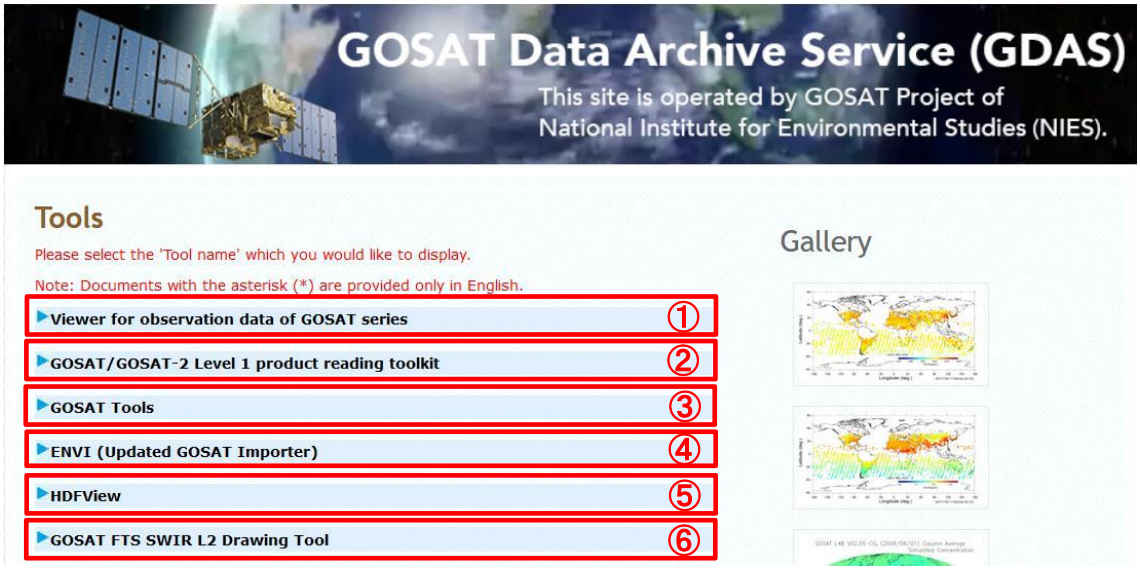
(1) 『ツール』画面への移動

『GDAS トップ』画面（4.1 節参照）のサブメニューで 『ツール』をクリックすると、『ツール』画面に移動します。



(2) 『ツール』画面

GOSAT プロダクトを利用するために有用なツールに関する説明が表示されます。また、各項目をクリックすると、各項目の情報を表示します。



①	Viewer for observation data of GOSAT series	:	GOSAT/GOSAT-2 の観測データを地図上にマッピング、あるいは簡易ビューアに表示するアプリケーションです。
②	GOSAT/GOSAT-2 Level 1 product reading toolkit	:	GOSAT/GOSAT-2 のレベル 1 プロダクトを読み込む際に用いるプログラムライブラリです。
③	GOSAT Tools	:	ユーザの PC にてダウンロード済みの FTS プロダクトからデータを抽出するツールと、ダウンロード済みの CAI プロダクトの検索・ファイル移動を行うことができるツールです。
④	ENVI	:	ENVI ソフトウェアにて、GOSAT プロダクトを表示する情報を閲覧出来ます。

⑤	HDFView	:	GOSAT プロダクトを表示するツールのダウンロード先を表示します。
⑥	GOSAT FTS SWIR L2 Drawing Tool	:	IDL の Virtual Machine を用いて、GOSAT FTS SWIR L2 プロダクトの描画を行うツールです。

13 その他、注意事項

13.1 ユーザ区分

GDAS のユーザ区分を表 13.1 に示します。

表 13.1 GDAS のユーザ区分

No.	ユーザ区分	ユーザ登録の種別	説明
1	PRJ	特定ユーザ	GOSAT プロジェクトの NIES 内関係者
2	RACal		FTS L1B 校正データを取得出来る登録研究者
3	RA		登録研究者、協力機関の研究者
4	GU	一般ユーザ	上記以外の一般ユーザ

GDAS のユーザ区分は、GUIG のユーザ区分に対応しており、GDAS のユーザ区分と GUIG のユーザ区分の対応を表 13.2 に示します。

表 13.2 GDAS のユーザ区分と GUIG のユーザ区分の対応

No.	GDAS のユーザ区分	GUIG のユーザ区分	備考
1	PRJ	OPE, PSN	
2	RACal	CalData	
3	RA	RAMo, RAplus, RAplusCoI, RAstar, RAstarCoI, AO1, AO1star, AO1starCoI, ST, PS	OPE, PSN, CalData,GU を除く全提供グループ
4	GU	GU	

GUIG で複数のアカウントを取得している場合には、GDAS のユーザ区分の最上位権限（PRJ ＞ RACal ＞ RA ＞ GU）が有効となります。
ここで、GDAS ユーザ区分が RA に含まれる GUIG の複数のアカウントを取得している場合、かつ、GDAS のユーザ区分の最上位権限が RA の場合には、最終更新日時が最新のユーザ区分が有効となります。
また、GDAS のユーザ区分の最上位権限の GUIG のアカウントを凍結にした場合には、次に上位権限をもつユーザ区分が有効となります。

13.2 提供プロダクト毎の提供形式

GDAS で配布される GOSAT のプロダクトは、ユーザ区分毎に異なります。また、提供されるプロダクトによって、アーカイブ形式やプロダクトフォーマットも異なります。プロ

ダクト別の提供単位、ユーザ区分、プロダクトフォーマット形式、アーカイブ形式を表 13.3 に示します。

表 13.3 GOSAT プロダクト毎の提供形式

No.	提供プロダクト	提供単位	提供するユーザ区分	プロダクトフォーマット	アーカイブ形式
1	FTS L1Aデータ	日	PRJ	HDF5（非圧縮）	tar.gz
2	FTS L1Bデータ	日, パス	全ユーザ区分	HDF5（非圧縮）	tar.gz
3	FTS L1B校正データ	日	PRJ, RACal	HDF5（非圧縮）	tar.gz
4	FTS FOV image	日	全ユーザ区分	png	tar.gz
5	L2 CO2 カラム量(SWIR)	月	全ユーザ区分[*1]	HDF5（圧縮）	tar
6	L2 CH4 カラム量(SWIR)	月	全ユーザ区分[*1]	HDF5（圧縮）	tar
7	L2 H2O カラム量(SWIR)	月	全ユーザ区分[*1]	HDF5（圧縮）	tar
8	PPDF-S CO2 データ	月	PRJ, RACal, RA	HDF5（圧縮）	tar
9	PPDF-S CH4 データ	月	PRJ, RACal, RA	HDF5（圧縮）	tar
10	L2 CO2 濃度プロファイル(TIR)	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
11	L2 CH4 濃度プロファイル(TIR)	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
12	L2 H2O カラム量(TIR)	月	PRJ, RACal, RA	HDF5（圧縮）	tar
13	TIR 入力データセット	日	PRJ	バイナリ	tar.gz
14	L3 全球CO2カラム平均濃度(SWIR)	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
15	L3 全球CH4カラム平均濃度(SWIR)	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
16	CAI L1Aデータ	日	PRJ	HDF5（非圧縮）	tar.gz
17	CAI L1Bデータ	パス	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
18	CAI L1B+データ	パス	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
19	CAI L2 雲フラグ	パス	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
20	CAI L2 雲特性	パス	PRJ, RACal, RA	HDF5（圧縮）	tar

No.	提供プロダクト	提供単位	提供するユーザ区分	プロダクトフォーマット	アーカイブ形式
21	CAI L2 エアロソル特性	パス	PRJ, RACal, RA	HDF5（圧縮）	tar
22	CAI L3 全球輝度	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
23	CAI L3 全球反射率	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
24	CAI L3 植生指数	月	全ユーザ区分	HDF5（圧縮）	tar
25	CAI L3 全球輝度（1日）	月	PRJ	HDF5（圧縮）	tar
26	L4A 全球CO2吸収排出量(netCDF形式)	年	全ユーザ区分	netCDF	tar.gz
27	L4A 全球CO2吸収排出量(text形式)	年	全ユーザ区分	テキスト	tar.gz
28	L4A 全球CH4吸収排出量(netCDF形式)	年	全ユーザ区分	netCDF	tar.gz
29	L4A 全球CH4吸収排出量(text形式)	年	全ユーザ区分	テキスト	tar.gz
30	L4B 全球CO2濃度	年	全ユーザ区分	netCDF	tar.gz
31	L4B 全球CH4濃度	年	全ユーザ区分	netCDF	tar.gz

*1）L2 CO2 カラム量(SWIR)、L2 CH4 カラム量(SWIR)、L2 H2O カラム量(SWIR)は、ユーザ区分別に取得出来るプロダクトが異なる。詳細は、13.3 節に示す。

13.3 ユーザ区分別の SWIR プロダクトの提供

ユーザ区分毎に入手出来る SWIR プロダクトは異なります。ユーザ区分と入手出来る SWIR プロダクトの対応を表 13.4 に示します。「GU ユーザ用(サブデータセットあり)」とは、GU ユーザ用プロダクトに付加情報を追加したプロダクトです。

表 13.4 ユーザ区分ごとに入手出来る SWIR プロダクト

ユーザ区分	プロダクトの区分
PRJ	PRJ ユーザ用
	RA ユーザ用
	GU ユーザ用(サブデータセットあり)
RACal, RA	RA ユーザ用
	GU ユーザ用(サブデータセットあり)
GU	GU ユーザ用

13.4　プロダクトのファイル命名規約

プロダクトのファイル命名規約を下記に記載します。また、プロダクト識別文字列を、表 13.5 に記載します。

○表 13.3 のアーカイブ形式が tar.gz の場合

・日単位で提供するプロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年月日(YYYYMMDD)}_{バージョン}.tar.gz

・年単位で提供するプロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年(YYYY)}_{バージョン}.tar.gz

○表 13.3 のアーカイブ形式が tar の場合

・L2 CO2 カラム量(SWIR)、L2 CH4 カラム量(SWIR)、L2 H2O カラム量(SWIR)プロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年月日(YYYYMMDD)}_{パス番号(NN)}_{バージョン}_{ユーザ区分}.tar

・パス単位で提供するプロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年月日(YYYYMMDD)}_{パス番号(NN)}_{バージョン}.tar

・日単位で提供するプロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年月日(YYYYMMDD)}_{バージョン}.tar

・月単位で提供するプロダクト(L2 カラム量(SWIR)以外)

{プロダクト識別文字列}_{観測年月(YYYYMM)}_{バージョン}.tar

・年単位で提供するプロダクト

{プロダクト識別文字列}_{観測年(YYYY)}_{バージョン}.tar

表 13.5 プロダクト識別文字列

No.	提供プロダクト	プロダクト識別文字列
1	FTS L1Aデータ	FTSL1A
2	FTS L1Bデータ	FTSL1B
3	FTS L1B校正データ	FTSL1BCAL
4	FTS FOV image	BROWSE
5	L2 CO2 カラム量(SWIR)	SWIRL2CO2
6	L2 CH4 カラム量(SWIR)	SWIRL2CH4
7	L2 H2O カラム量(SWIR)	SWIRL2H2O
8	PPDF-S CO2 データ	PPDFSCO2

No.	提供プロダクト	プロダクト識別文字列
9	PPDF-S CH4 データ	PPDFSCH4
10	L2 CO2 濃度プロファイル(TIR)	TIRL2CO2
11	L2 CH4 濃度プロファイル(TIR)	TIRL2CH4
12	L2 H2O カラム量(TIR)	TIRL2H2O
13	TIR 入力データセット	TIRIDS
14	L3 全球CO2カラム平均濃度(SWIR)	SWIRL3CO2
15	L3 全球CH4カラム平均濃度(SWIR)	SWIRL3CH4
16	CAI L1Aデータ	CAIL1A
17	CAI L1Bデータ	CAIL1B
18	CAI L1B+データ	CAIL1BP
19	CAI L2 雲フラグ	CAIL2CLDFLG
20	CAI L2 雲特性	CAIL2CLDPRO
21	CAI L2 エアロソル特性	CAIL2AERPRO
22	CAI L3 全球輝度	CAIL3RAD
23	CAI L3 全球反射率	CAIL3REF
24	CAI L3 植生指数	CAIL3NDVI
25	CAI L3 全球輝度 (1日)	CAIL3TRCD
26	L4A 全球CO2吸収排出量 (netCDF形式)	L4ACO2
27	L4A 全球CO2吸収排出量 (text形式)	L4ACO2TXT
28	L4A 全球CH4吸収排出量 (netCDF形式)	L4ACH4
29	L4A 全球CH4吸収排出量 (text形式)	L4ACH4TXT
30	L4B 全球CO2濃度	L4BCO2
31	L4B 全球CH4濃度	L4BCH4